



ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

HP Compaq ノートブック シリーズ

製品番号 : 367186-291

2005年3月

このガイドでは、外付けデバイスのコネクタを含む、ノートブック コンピュータのハードウェア機能を確認および使用する方法や、コンピュータの電源およびセキュリティを管理する際の設定と手順について説明します。また、コンピュータを持ち運ぶ際に役立つ電力および環境要件や、トラブルを検出、解決、および防止するためにシステムの情報を入手する方法と診断用ユーティリティを使用する方法についても説明します。

© 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SDロゴは、その所有者の商標です。

Bluetoothは、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいてHewlett-Packard Companyが使用しています。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェアおよびソフトウェア ガイド

HP Compaqノートブック シリーズ

初版 2005年3月

参照番号：nc4200

参照番号：367186-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 各部の名称

表面の各部	1-1
ランプ	1-1
ポインティング デバイス	1-3
ボタン	1-4
キー	1-5
前面の各部	1-6
背面の各部	1-7
右側面の各部	1-8
左側面の各部	1-9
裏面の各部	1-11
無線アンテナ	1-12
磁石	1-13
その他のハードウェア コンポーネント	1-14

2 電源

電源ボタン類とランプの位置	2-1
電力の供給	2-3
スタンバイおよびハイバネーション	2-4
スタンバイ	2-4
ハイバネーション	2-4
スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行 ..	2-6
デフォルトの電源設定	2-8
ノートブック コンピュータまたはディスプレイの オン/オフ	2-8
ハイバネーションからの復帰または起動	2-9
スタンバイからの復帰または起動	2-10
緊急停止手順の使用	2-11

電源オプション	2-11
[電源オプション]ウィンドウへのアクセス	2-12
[電源メーター]アイコンの表示	2-12
電源設定の指定または変更	2-13
セキュリティ パスワードの使用	2-13
プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ)	2-14
バッテリー パック	2-16
バッテリー パックの概要	2-17
メインバッテリー パックの装着と取り外し	2-18
バッテリー パックの充電	2-20
バッテリー パックの充電の監視	2-21
ローバッテリー状態の対処	2-23
バッテリー ゲージの調整	2-25
バッテリーの節電	2-28
バッテリー パックの保管	2-30
使用済みのバッテリー パックの処理	2-31
3 ポインティング デバイスおよびキーボード	
ポインティング デバイス	3-1
タッチパッドの使用	3-2
ポインティング スティックの使用	3-3
マウスのプロパティのカスタマイズ	3-4
ホットキー	3-5
ホットキーのクイック リファレンス	3-5
ホットキー コマンドの使用	3-6
外付けキーボードでのホットキーの使用	3-8
Quick Launch Buttons	3-9
Quick Launch Buttonsの位置	3-9
Quick Launch Buttonsソフトウェア	3-10
テンキー	3-19
内蔵テンキーの使用	3-19
外付けテンキーの使用	3-21

4 マルチメディア

オーディオ機能	4-1
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用	4-2
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用	4-2
音量の調整	4-3
ビデオ機能	4-4
Sビデオ出力コネクタの使用	4-5
モニタ、プロジェクタ、またはテレビの接続	4-6
マルチメディア ソフトウェア	4-7
著作権に関する警告について	4-8
ソフトウェアのインストール	4-9
自動再生の有効化	4-10
DVDの地域設定の変更	4-10

5 ドライブ

ドライブの取り扱い上の注意	5-1
IDEドライブ ランプ	5-3
メイン ハードドライブ	5-4
外付けドライブ	5-8
別売の外付けデバイス	5-9
別売の外付けマルチベイおよび外付けマルチベイII	5-10

6 PCカード

PCカードとは	6-1
挿入	6-2
取り出し	6-3

7 デジタル メモリ カード

デジタル メモリ カードとは	7-1
挿入	7-2
取り出し	7-3

8 メモリ モジュール

メモリ モジュールとは	8-1
拡張メモリ モジュール スロット	8-2
メイン メモリ モジュール スロット	8-6
ハイパネーション ファイル	8-12

9 USBデバイス

USBとは.....	9-1
USBデバイスの接続.....	9-2
オペレーティング システムおよびソフトウェア.....	9-3
USBレガシー サポート.....	9-3

10 モデムおよびネットワーク接続

内蔵モデム.....	10-1
モデム ケーブル.....	10-1
モデムの使用国の選択.....	10-5
プリインストールされている通信ソフトウェア.....	10-8
ネットワーク.....	10-9

11 無線（一部のモデルのみ）

無線ローカル エリア ネットワーク デバイス （一部のモデルのみ）.....	11-3
社内無線LANへの無線ノートブック コンピュータの接続.....	11-4
公共の無線LANへの無線ノートブック コンピュータの 接続.....	11-4
自宅での無線LANの設定.....	11-5
無線LAN接続の使用.....	11-6
無線セキュリティ機能の使用.....	11-7
無線ソフトウェアのインストール（オプション）.....	11-7
デバイスのトラブルシューティング.....	11-9
Bluetooth無線デバイス（一部のモデルのみ）.....	11-10
デバイスの電源状態.....	11-12
デバイスの電源投入.....	11-14
デバイスの電源切断および無効化.....	11-15
赤外線通信.....	11-16
赤外線転送の設定.....	11-17
赤外線転送中のスタンバイの使用.....	11-17
Mobile Printing（一部のモデルのみ）.....	11-18

12 セキュリティ

セキュリティの機能	12-1
[Computer Setup]でのセキュリティ設定	12-3
パスワード	12-3
HPパスワードとWindowsのパスワード	12-4
HP管理者パスワード	12-6
電源投入時パスワード (Power-On Password)	12-8
DriveLock (ドライブロック)	12-10
デバイス セキュリティ	12-16
システム情報	12-17
[システム情報]オプションの設定	12-17
ファイアウォール ソフトウェア	12-18
Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	12-20
HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)	12-21
Embedded Security for ProtectTools	12-22
Credential Manager for ProtectTools	12-23
BIOS Configuration for ProtectTools	12-23
別売のセキュリティ ロック ケーブル	12-24

13 [Computer Setup]

[Computer Setup]へのアクセス	13-2
[Computer Setup]のデフォルト設定	13-3
[File] (ファイル) メニュー	13-4
[Security] (セキュリティ設定) メニュー	13-5
[Tools] (ツール) メニュー	13-6
[Advanced] (詳細設定) メニュー	13-7

14 ソフトウェアの更新と修復

ソフトウェアの更新	14-1
ノートブック コンピュータ情報へのアクセス	14-2
インターネット上のソフトウェア	14-3
システムROMのダウンロード	14-3
その他のソフトウェアのダウンロード	14-4
システムの復元	14-5
データの保護	14-5
Altiris Local Recovery	14-6
[システムの復元]ポイントの使用	14-7
アプリケーションの修復または再インストール	14-8
ハードドライブからのアプリケーションの 再インストール	14-8
オペレーティング システムの修復	14-9
オペレーティング システムの再インストール	14-10
デバイス ドライバとその他のソフトウェアの 再インストール	14-11

15 ノートブック コンピュータの手入れ

温度	15-2
清掃	15-3
キーボード	15-3
ディスプレイ	15-4
タッチパッド	15-4
外付けマウス	15-5

16 持ち運びおよび送付

持ち運びおよび送付の準備	16-1
持ち運びの際の注意	16-1

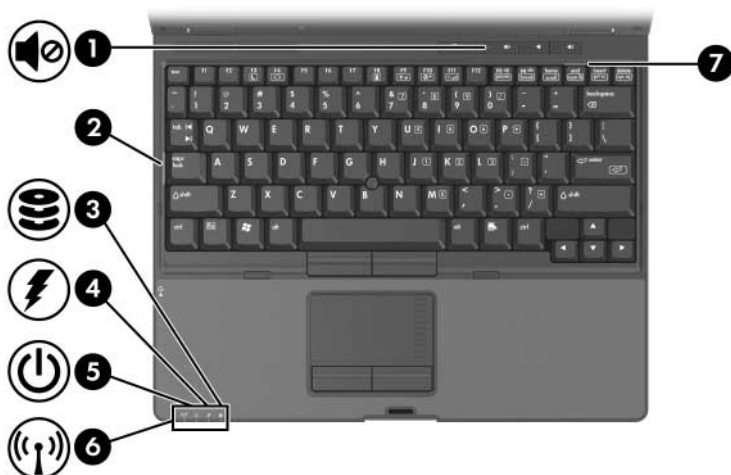
A 仕様	
作業環境	A-1
定格入力電源	A-2
B マルチブート	
デフォルトのブート シーケンス	B-2
[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定	B-4
マルチブートの結果	B-5
マルチブート設定	B-6
新しいデフォルトのブート シーケンスの設定	B-6
MultiBoot Express画面の設定	B-7
MultiBoot Express設定の入力	B-8
C Client Management	
出荷時設定の変更	C-2
ソフトウェアの管理とアップデート	C-3
HP Client Manager Software	C-3
Altiris PC Transplant Pro	C-5
System Software Manager	C-6

索引

各部の名称

表面の各部

ランプ



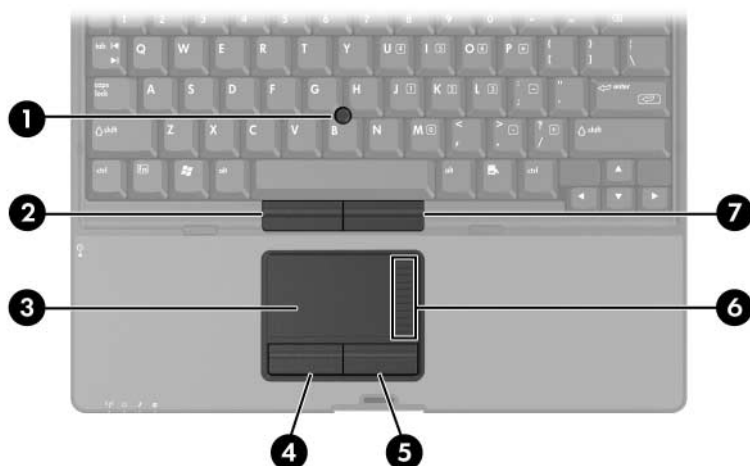
名称	機能
① ミュート ランプ	システムの音量が消音されているときに点灯します
② Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します
③ IDE (Integrated Drive Electronics) ドライブ ランプ	ハードドライブ ベイ内のドライブにアクセスしているときに点灯します

(続く)

名称	機能
④ バッテリー ランプ	<p>オレンジ色に点灯：バッテリー パックが充電中です</p> <p>緑色に点灯：バッテリー パックが完全充電時に近い状態です</p> <p>オレンジ色に点滅：電源にバッテリー パックのみを使用している状態で、ローバッテリー状態になっています。完全なローバッテリー状態になると、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます</p> <p>消灯：ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリーが完全に充電されるとバッテリー ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリー状態になってランプがオレンジ色に点滅し始めるまで、消灯したままになります</p>
⑤ 電源/スタンバイ ランプ	<p>緑色に点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています</p> <p>緑色に点滅：ノートブック コンピュータがスタンバイ モードになっています</p>
⑥ 無線ランプ*	1つ以上のオプションの内蔵無線デバイス（無線LANデバイスやBluetooth®デバイスなど）の電源がオンのときに点灯します
⑦ Num Lockランプ	Num Lockがオンのときまたは内蔵テンキーが使用可能なときに点灯します

*無線リンクの確立方法については、「[第11章 無線（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。

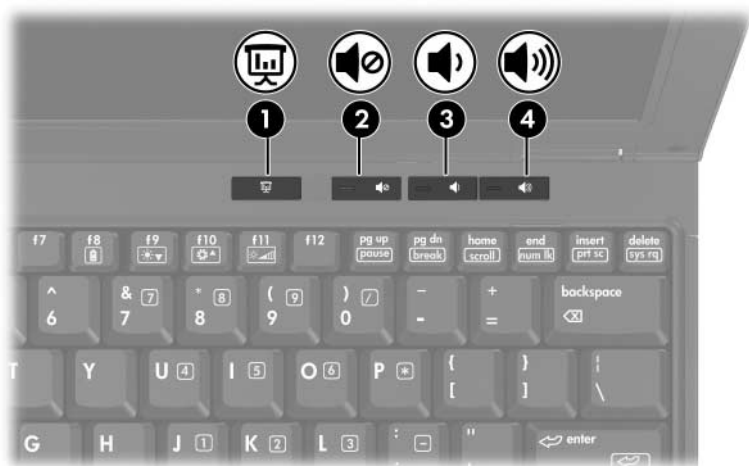
ポインティング デバイス



名称	機能
① ポインティング スティック	ポインタを移動します
② 左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
③ タッチパッド*	ポインタを移動します。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
④ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
⑤ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑥ タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします
⑦ 右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

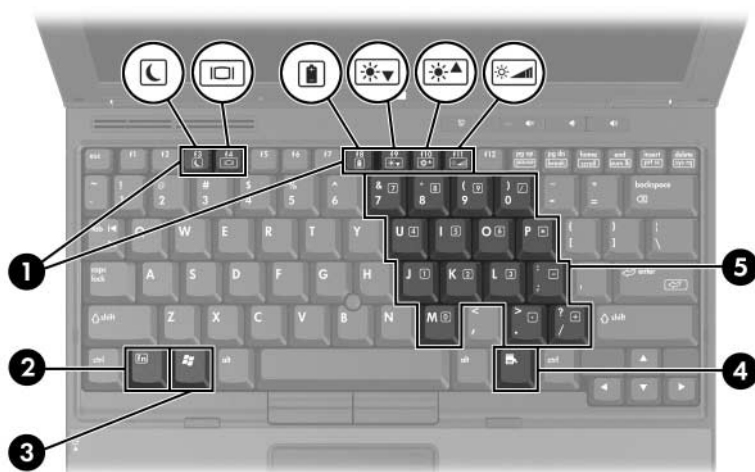
*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、「第3章 ポインティング デバイス およびキーボード」の「マウスのプロパティのカスタマイズ」を参照してください。

ボタン



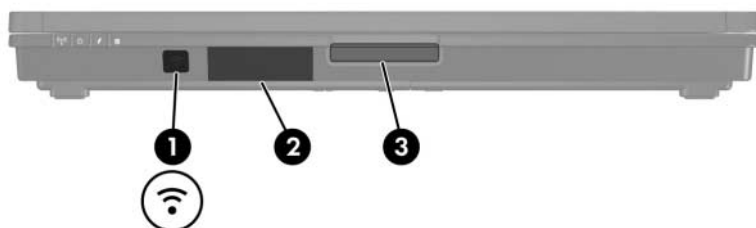
名称	機能
① Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	プレゼンテーション モードをオンにします
② ミュート ボタン	消音 (ミュート) したり音量を元に戻したりし ます
③ 音量下げボタン	ノートブック コンピュータの音量を下げます
④ 音量上げボタン	ノートブック コンピュータの音量を上げます

キー



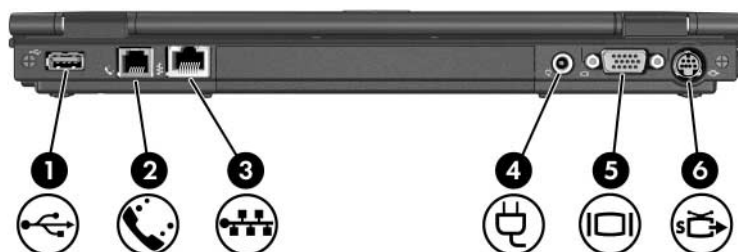
名称	機能
① ファンクション キー (×6)	システムおよびアプリケーションのタスクを実行します。[f3]、[f4]および[f8]～[f11]の各ファンクション キーは、[fn]と組み合わせることによって、ホットキーとして別のタスクも実行できます
② [fn]キー	ファンクション キーまたは[esc]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
③ Windowsロゴ キー	Microsoft® Windows®の[スタート]メニューを表示します
④ Windowsアプリケーション キー	マウス ポインタが指しているアイテムのショートカット メニューを表示します
⑤ 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます

前面の各部



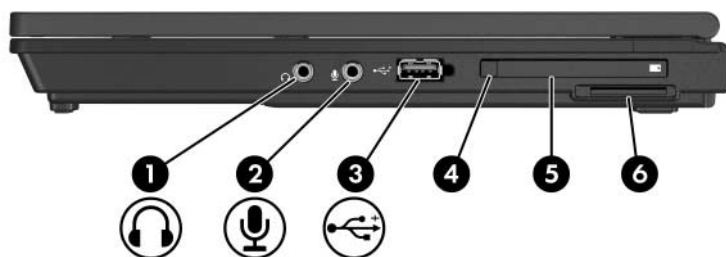
名称	機能
① 赤外線ポート	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行います
② Bluetoothモジュール (一部のモデルのみ)	Bluetoothデバイスの信号を送受信します ⚠ 警告：無線周波放射を浴びる場合 電波産業会（ARIB、 http://www.arib.or.jp ）の電波防護標準規格（RCR STD-38）によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz 帯で、 1 mW/cm^2 とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから20 cm離れた場所です約 0.0063 mW/cm^2 程度で、問題のないレベルとなっています。ただし、ペースメーカーや医療機器、航空機の計器類には、携帯電話やPHS同様、障害を与える恐れがありますので、携帯電話やPHS等と同様の使用ルールに従うようにしてください
③ ディスプレイ リリース ボタン	ノートブック コンピュータを開けるときに押します

背面の各部



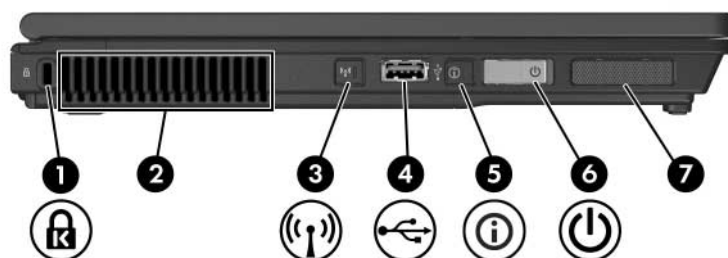
名称	機能
❶ USBポート	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブック コンピュータに接続します
❷ RJ-11（モデム）コネクタ	モデム ケーブルを接続します
❸ RJ-45(ネットワーク)コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
❹ 電源コネクタ	付属のACアダプタ、別売のACアダプタ、または別売の電源ケーブルを接続します
❺ 外付けモニタ ポート	別売のVGA外付けモニタまたはプロジェクタを接続します
❻ Sビデオ出力コネクタ	<p>2つの用途がある、7ピンのコネクタです</p> <p>テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準（4ピン）Sビデオ ケーブルで接続します</p> <p>追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジット アダプタをノートブック コンピュータに接続することもできます</p>

右側面の各部




名称	機能
① オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売のヘッドフォンや電源付きステレオスピーカなどを接続します。テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ機能も接続できます
② オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のモノラル（シングル チャネル）またはステレオ（デュアル チャネル）のマイクを接続します
③ USBポート	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスまたは別売の外付けマルチベイや外付けマルチベイIIをノートブック コンピュータに接続します。このUSBポートは、外部電源に接続しなくても使用できる電源供給機能付きポートです
④ PCカード イジェクト ボタン	PCカードをPCカード スロットから取り出します
⑤ PCカード スロット	別売のType I、Type II、32ビット（CardBus）、または16ビットのPCカードに対応しています
⑥ デジタル メディア スロット	SD（Secure Digital）メモリ カードまたはマルチメディア カードを挿入します

左側面の各部



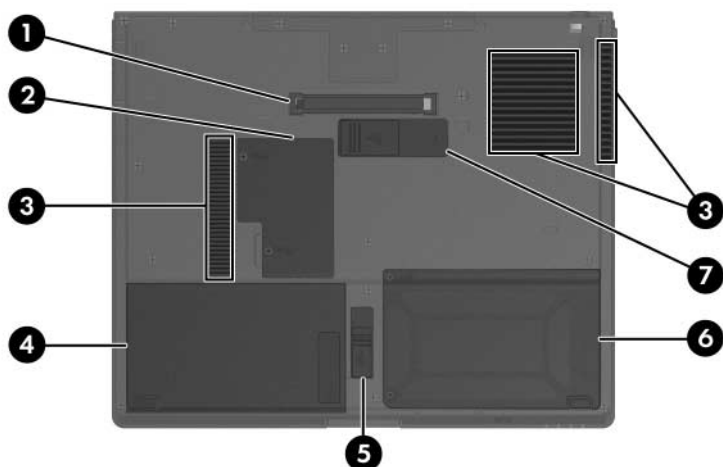
名称	機能
① セキュリティ ロック ケーブル用 スロット	<p>別売のセキュリティ ロック ケーブルでノートブック コンピュータを固定物に接続することによって、盗難を防止します</p> <p>△ 注意：セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>
② 通気孔	<p>コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>△ 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすると、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>

(続く)

名称	機能
③ 無線ボタン（一部のモデルのみ）*	<p>無線LANデバイスまたはBluetoothデバイスの無線機能をオンまたはオフにしますが、接続は確立されません</p> <p> 無線接続を確立するには、無線ネットワークがすでにセットアップされている必要があります。無線接続の確立方法については、「第11章 無線（一部のモデルのみ）」を参照してください</p>
④ USBポート	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブック コンピュータに接続します
⑤ Info Center Button （Info Centerボタン）	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します
⑥ 電源スイッチ*	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータの電源が切れているときにコンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、電源が入ります ■ スタンバイ モードのときにノートブックコンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、スタンバイが終了します ■ ハイバネーション モードのときにノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、ハイバネーションが終了します <p>システムが応答せず、Microsoft Windowsのシャットダウン手順を実行できないときは、4秒間程度ボタンをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせたままにすると、コンピュータの電源が切れます</p>
⑦ スピーカ	ノートブック コンピュータのサウンドを出力します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源の機能の変更については、「[第2章 電源](#)」の「[電源オプション](#)」を参照してください。無線の機能の変更については、「[第11章 無線（一部のモデルのみ）](#)」を参照してください。


裏面の各部



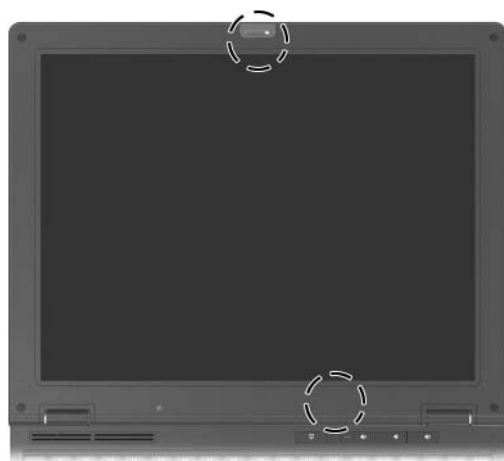
名称	機能
① ドッキング コネクタ	ノートブック コンピュータを別売のドッキング デバイスに接続します
② 拡張メモリ モジュール コンパートメント	拡張メモリ モジュール スロット1基を取り付けます
③ 通気孔 (×3)	<p>コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>△ 注意: コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすると、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>
④ メイン バッテリ ベイ	メイン バッテリ パックを装着します
⑤ メイン バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからメイン バッテリ パックを取り外します
⑥ ハードドライブ ベイ	メイン ハードドライブを装着します
⑦ トラベル バッテリ コネクタ	別売のトラベル バッテリを装着します

無線アンテナ



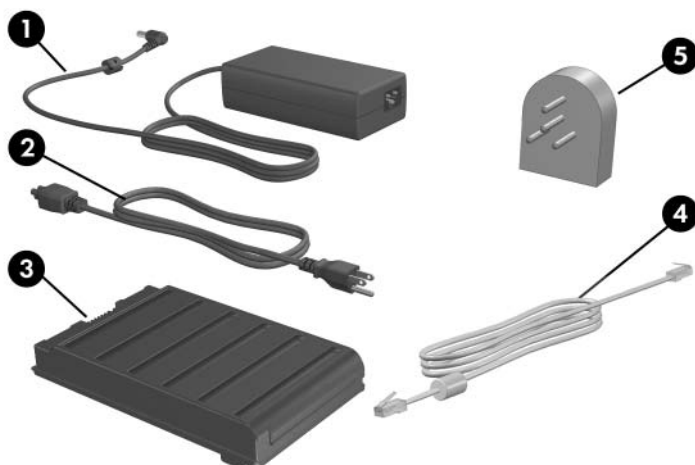
名称	機能
アンテナ (×2) (一部のモデルのみ) *	<p>無線デバイスの信号を送受信します</p> <p> 警告：無線周波放射を浴びる場合 電波産業会 (ARIB、http://www.arib.or.jp) の電波防護標準規格 (RCR STD-38) によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz 帯で、1 mW/cm²とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブック コンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから 20 cm 離れた場所で約 0.0063 mW/cm²程度で、問題のないレベルとなっています。ただし、ペースメーカーや医療機器、航空機の計器類には、携帯電話やPHS同様、障害を与える恐れがありますので、携帯電話やPHS等と同様の使用ルールに従うようにしてください</p>
*アンテナはノートブック コンピュータの外側からは見えません。最適な転送のため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。	

磁石



名称	機能
磁石 (×2)	<p>上部：ディスプレイ ラッチを固定します</p> <p>下部：ノートブック コンピュータの電源がオンのときにディスプレイを閉じると、スタンバイが起動します</p> <p>△ 注意：データの損失を防ぐため、フロッピーディスクおよびその他の磁気メディアを磁石に近づけないでください</p>

その他のハードウェア コンポーネント



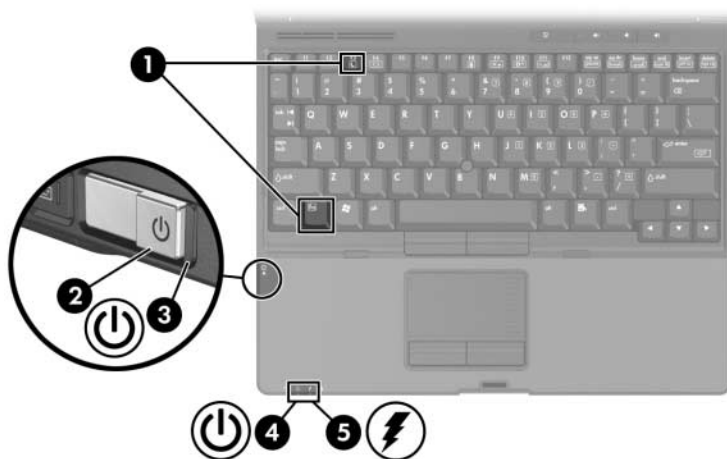
名称	機能
① ACアダプタ	AC電源をDC電源に変換します
② 電源コード*	ACアダプタと電源コンセントを接続します
③ バッテリ パック*	ノートブック コンピュータが外部電源に接続されていないときに、コンピュータに電力を供給します
④ モデム ケーブル*	RJ-11 (モデム) コネクタを電話回線のモジュラ ジャックまたは各国仕様のモデム アダプタに接続するときに使用します
⑤ 各国仕様のモデム アダプタ (必要な場合のみ同梱されています) *	RJ-11 (モデム) コネクタ以外のコネクタにモデム ケーブルを接続するときに使用します

*電源コード、モデム ケーブル、およびモデム アダプタは、地域や国によって外観が異なります。バッテリ パックの種類は、モデルによって異なります。

2

電源

電源ボタン類とランプの位置




名称	機能
① [fn]+[f3]キー	スタンバイを起動します

(続く)

名称	機能
② 電源スイッチ	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none">■ ノートブック コンピュータの電源が切れているときにコンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、電源が入ります■ スタンバイ モードのときにノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、スタンバイが終了します■ ハイバネーション モードのときにノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせて離すと、ハイバネーションが終了します <p>システムが応答せず、Microsoft® Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、4秒間程度ボタンをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせたままにすると、コンピュータの電源が切れます</p>
③ 電源/スタンバイ ランプ	<p>緑色に点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています</p> <p>緑色に点滅：ノートブック コンピュータがスタンバイモードになっています</p>
④ 電源/スタンバイ ランプ	<p>緑色に点灯：ノートブック コンピュータの電源がオンになっています</p> <p>緑色に点滅：ノートブック コンピュータがスタンバイモードになっています</p>
⑤ バッテリー ランプ	<p>オレンジ色に点灯：バッテリー パックが充電中です</p> <p>緑色に点灯：バッテリー パックが完全充電時に近い状態です</p> <p>オレンジ色に点滅：電源にバッテリー パックのみを使用している状態で、ローバッテリー状態になっています。完全なローバッテリー状態になると、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます</p> <p>消灯：ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、コンピュータのすべてのバッテリーが完全に充電されるとバッテリー ランプが消灯します。コンピュータが外部電源に接続されていない場合は、ローバッテリー状態になってランプがオレンジ色に点滅し始めるまで、消灯したままになります</p>

電力の供給

このノートブック コンピュータは、内部または外部電力で動作できます。以下の表で、一般的な作業に最適な電源について説明します。

作業	推奨される電源
一般的なソフトウェア アプリケーションを使用する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電済みのバッテリー パックをノートブック コンピュータに装着します ■ 次の機器の1つから外部電力を供給します <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 付属のACアダプタ <input type="checkbox"/> 別売のACアダプタ <input type="checkbox"/> 別売のドッキング デバイス <input type="checkbox"/> 別売のカー アダプタ
ノートブック コンピュータのバッテリー パックを充電または調整する	<p>次の機器から外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 付属のACアダプタ ■ 別売のACアダプタ ■ 別売のドッキング デバイス ■ 別売のカー アダプタ <p> 注意：ノートブック コンピュータおよび航空機の電子システムの損傷を防ぐため、航空機内でコンボ アダプタを使用しているときはバッテリー パックを充電しないでください</p>
システム ソフトウェアをインストールまたは変更する、またはCDに書き込む	<p>次の機器から外部電力を供給します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプタ ■ 別売のドッキング デバイス

スタンバイおよびハイバネーション

スタンバイおよびハイバネーションは省電力機能であり、電力を節約し、起動時間を短縮します。スタンバイおよびハイバネーションは、ユーザまたはシステムが起動できます。それぞれの設定の使用条件について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。

スタンバイ



注意：完全なローバッテリー状態になることを防ぐため、お使いのノートブック コンピュータを長時間スタンバイ状態にしておかないでください。コンピュータは外部電源に接続してください。

スタンバイは、使用されていないシステム コンポーネントへの電力供給を少なく抑えます。スタンバイが起動されると、データがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面がクリアされます。ユーザがスタンバイから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

- 通常、スタンバイを起動する前にデータを保存する必要はありませんが、念のため保存しておくことをお勧めします。
- ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイ ランプが点滅します。

ハイバネーション

ハイバネーションは省電力機能の1つで、データをハードドライブのハイバネーション ファイルに保存した後、ノートブック コンピュータの電源を切る保護機能でもあります。ハイバネーションから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。電源投入時パスワード (Power-on password) が設定されている場合は、ハイバネーションから復帰するときにパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションは、無効に設定することができます。ただし、ハイバネーションが無効に設定されており、ノートブック コンピュータがローバッテリー状態に達した場合、コンピュータの電源がオンまたはスタンバイ状態のときにデータは自動的に保存されません。

ハイバネーションが無効に設定されている場合、[電源オプション] ウィンドウに[休止状態] オプションは表示されません。[電源オプション] ウィンドウで[休止状態] オプションを選択するには、ハイバネーションを有効にしておく必要があります。ハイバネーションが有効に設定されているかを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態] タブの順に選択してから、[休止状態を有効にする] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。



注意：ハイバネーションの起動中にノートブック コンピュータのシステムのコンフィギュレーションを変更すると、ハイバネーションから復帰できなくなることがあります。ハイバネーションの起動中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ノートブック コンピュータを、ドッキング デバイスに取り付けたり取り外したりしないでください。
- メモリ モジュールを着脱しないでください。
- ハードドライブを着脱しないでください。
- 外付けデバイスを取り付けたり取り外したりしないでください。
- PC カードやSD (Secure Digital) メモリ カードを挿入したり取り出したりしないでください。

スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行

ここでは、スタンバイやハイバネーションの起動、およびノートブックコンピュータの電源切断をいつ行うかについて説明します。

作業を中断する場合

スタンバイを起動すると画面がクリアされ、通常の動作時より消費電力が抑えられます。スタンバイ状態から復帰すると、直ちに画面が元の状態に戻ります。

ハイバネーションを起動すると画面がクリアされ、データがハードドライブに保存され、スタンバイより消費電力をさらに少なく抑えることができます。

長時間ノートブック コンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリー パックの寿命を延ばすためにコンピュータの電源を切り、バッテリー パックを取り出しておくことをお勧めします。バッテリー パックの保管方法について詳しくは、この章の「[バッテリー パックの保管](#)」を参照してください。

電力の供給が不安定な場合

ハイバネーションが有効に設定されていることを確認します。バッテリー 電源を使用しており、外部電源に接続できない場合は特に注意してください。バッテリー パックの残量が極端に少なくなると、ハイバネーションによりデータがハイバネーション ファイルに保存され、ノートブック コンピュータの電源が切れます。

電力の供給が不安定なときに作業を中断する場合は、次の操作のどれかを行うことをお勧めします。

- ハイバネーションを起動する
- ノートブック コンピュータの電源を切断する
- データを保存してからスタンバイを起動する

赤外線通信またはドライブ メディアの使用



注意: ドライブ メディアの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。起動すると、ビデオやオーディオが劣化したリ、オーディオやビデオの再生機能が損失したりする恐れがあります。

スタンバイおよびハイバネーションは、赤外線通信、Bluetooth通信、およびドライブ メディアの使用の妨げとなります。以下のガイドラインをお読みください。

- ノートブック コンピュータがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、赤外線またはBluetoothによる通信を開始できません。
- ドライブ メディア（フロッピーディスク、CD、またはDVDなど）を使用中に、誤ってハイバネーションまたはスタンバイを起動した場合、次のことが発生します。
 - 再生が中断される場合があります。
 - [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。
 - オーディオやビデオの再生を再開する必要があることがあります。

デフォルトの電源設定


次の表では、ノートブック コンピュータの工場出荷時の電源設定について説明します。ほとんどの設定は、ユーザの好みに応じて変更することができます。電源設定を変更する方法について詳しくは、この章の「[電源オプション](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータまたはディスプレイのオン/オフ

操作	手順	結果
ノートブック コンピュータの電源を入れる	電源スイッチをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせます	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点灯します ■ オペレーティング システムがロードされます
ノートブック コンピュータの電源を切る*	<p>データを保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。以下のどちらかの手順で操作します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電源スイッチをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせてから、画面の指示（表示される場合）に従ってコンピュータの電源を切ります ■ オペレーティング システムを使用してノートブック コンピュータの電源を切ります。[スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが消灯します ■ オペレーティング システムが終了します ■ ノートブック コンピュータの電源が切れます
電源が入ったままディスプレイの電源を切る	ノートブック コンピュータのディスプレイを閉じます	ノートブック コンピュータを閉じるとディスプレイ スイッチが作動し、ディスプレイの電源が切れます。これによりバッテリー電力が節約されます

*システムが応答せず、この手順でノートブック コンピュータの電源を切ることができない場合は、この章の「[緊急停止手順の使用](#)」を参照してください。

ハイバネーションからの復帰または起動

操作	手順	結果
ハイバネーションを起動する	<ul style="list-style-type: none"> ■ [スタート]→[終了オプション]→[休止状態]→[OK]の順に選択します ([休止状態]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押したままにします) ■ ハイバネーションが設定されている場合は、電源スイッチをノートブック コンピュータ 前面の方向にスライドさせます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
システムによってハイバネーションを起動する (ハイバネーションが有効に設定されている場合)	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータがバッテリー電源で動作している場合は、30分間ノートブック コンピュータを使用していないとき、または装着されているバッテリーパックが完全なローバッテリー状態になったときにハイバネーションが起動します ■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、ハイバネーションは起動しません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたハイバネーションから復帰する	<p>電源スイッチをノートブック コンピュータ 前面の方向にスライドさせます</p> <p> 完全なローバッテリー状態からハイバネーションが起動された場合は、外部電源に接続するか充電済みのバッテリー パックを装着してから電源スイッチをスライドさせます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが点灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

スタンバイからの復帰または起動

操作	手順	結果
スタンバイを起動する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源スイッチをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせます ■ ノートブック コンピュータの電源が入った状態で、[fn]+[f3]キーを押します ■ [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]→[OK]の順に選択します ([スタンバイ]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押します) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
システムによってスタンバイを起動する	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、10分間コンピュータを使用しないとスタンバイが起動します (デフォルト設定) ■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合は、スタンバイは起動しません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたスタンバイから復帰する	<p>電源スイッチをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 / スタンバイ ランプが消灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

緊急停止手順の使用



注意：緊急停止手順を使用すると、保存されていないデータは失われます。

ノートブック コンピュータが応答せず、通常のWindowsのシャットダウン手順を使用できない場合は、記載されている順に次の緊急手順を試みてください。

- [ctrl]+[alt]+[delete]キーを押し、[シャットダウン]を選択します。
- 電源スイッチを4秒間以上ノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせたままにします。
- ノートブック コンピュータを外部電源から切断し、バッテリー パックを取り外します。バッテリー パックの取り外しと保管について詳しくは、この章の「[バッテリー パックの保管](#)」を参照してください。

電源オプション

ほとんどのデフォルトの電源設定は、[電源オプション]ウィンドウで変更できます。たとえば、バッテリー パックがローバッテリー状態になったときに警告音を鳴らすように設定できます。また、電源スイッチのデフォルトの設定も変更できます。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータの電源が入っている状態で、以下の機能を使用できます。

- [fn]+[f3]ホットキー（オペレーティング システムでは「スリープ ボタン」と呼ばれます）を押すと、スタンバイが起動します。
- ディスプレイ スイッチによりディスプレイの電源が切断されます。ディスプレイ スイッチは、ディスプレイを閉じると機能します。

[電源オプション]ウィンドウへのアクセス

[電源オプション]ウィンドウにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- » 通知領域（タスク バーの右端）の[電源メーター]アイコンを右クリックし、次に[電源プロパティの調整]を選択します。

または

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

[電源メーター]アイコンの表示

デフォルトでは、[電源メーター]アイコンは通知領域に表示されます。このアイコンは、ノートブック コンピュータがバッテリー パックまたは外部電源のどちらで動作しているかを示す形に変わります。アイコンを右クリックして[電源プロパティの調整]を選択すると、[電源オプションのプロパティ]ウィンドウが表示されます。

通知領域の[電源メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプションのプロパティ]ウィンドウを表示します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [アイコンをタスクバーに常に表示する]チェック ボックスをオンまたはオフにします。
4. [適用]を選択します。
5. [OK]を選択します。



タスク バーに配置したアイコンが見当たらない場合は、アイコンが隠れている可能性があります。タスク バーの矢印または太い縦線をクリックして拡大し、隠れているアイコンが表示されるようにします。

電源設定の指定または変更

[電源オプションのプロパティ]ウィンドウの[電源設定]タブでは、スタンバイまたはハイバネーションが起動するまでの経過時間を設定できます。コンピュータがバッテリーパックと外部電源のどちらで動作しているかによって、異なる電源設定を割り当てることができます。

また、指定した時間が経過した後にスタンバイを起動するように、またはディスプレイかハードドライブの電源を切断するように電源レベルを設定できます。

電源レベルを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプションのプロパティ]ウィンドウを表示させてから、[電源設定]タブを選択します。
2. 変更する電源設定を選択して、画面上の一覧にあるデフォルトのオプションを受け入れるか調節します。
3. [適用]を選択します。

セキュリティ パスワードの使用

ノートブックの電源を入れたり、スタンバイまたはハイバネーションから復帰したりするときにパスワード入力を求めるように、セキュリティ機能を追加することができます。

パスワード入力を求めるように設定するには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプションのプロパティ]ウィンドウを表示させてから、[詳細設定]タブを選択します。
2. [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]チェックボックスをオンにしてから[適用]を選択します。

セキュリティパスワードの使い方について詳しくは、「[第12章 セキュリティ](#)」を参照してください。

プロセッサ パフォーマンスの制御 (一部のモデルのみ)

一部のノートブック コンピュータ モデルでは、Windows XPでプロセッサのパフォーマンスを制御するための独自のソフトウェアがインストールされています。中央演算処理装置（CPU）の速度を最適のパフォーマンス モードに設定でき、電力消費を最適に設定できます。

たとえば、電源が外部電力からバッテリー パックの電力に切り替わるとき、またはノートブック コンピュータの使用がアクティブ状態とアイドル状態で切り替わるときに、プロセッサ速度を自動的に変更するようにソフトウェアを設定できます。

プロセッサ パフォーマンスの制御は、**[電源オプションのプロパティ]** ウィンドウで行います。

Windows XPのプロセッサ パフォーマンスの制御にアクセスするには、以下の手順で操作します。

» **[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]**タブの順に選択します。

選択した電源設定によって、ノートブック コンピュータが外部電源に接続されているとき、またバッテリー電力で動作しているときのプロセッサのパフォーマンスが判断されます。外部電力やバッテリー電力に対応する各電源設定によって、特定のプロセッサの状態が設定されます。

ノートブック コンピュータが外部電力とバッテリー電力のどちらで動作しているかに応じて、さまざまな設定を使用できます。電源レベルの設定後は、コンピュータのプロセッサ パフォーマンスを制御するためのその他の操作は必要ありません。次の表では、外部電源およびバッテリー電源で使用可能な電源設定でのプロセッサ パフォーマンスを示します。

電源設定	外部電力使用時のプロセッサ パフォーマンス	バッテリー電力使用時のプロセッサ パフォーマンス
[自宅または会社のデスク]	常に最大のパフォーマンス状態で動作します	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[ポータブル/ラップトップ]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[プレゼンテーション]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します
[常にオン]	常に最小のパフォーマンス状態で動作します	常に最小のパフォーマンス状態で動作します
[最小の電源管理]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[バッテリーの最大利用]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動します

バッテリー パック

外部電源に接続しているときは、ノートブック コンピュータは外部電源で動作します。充電済みのバッテリー パックを装着し、外部電源に接続していないときは、コンピュータはバッテリー電源で動作します。

ノートブック コンピュータでは、外部電源が利用できるかどうかによって、外部電源とバッテリー電源が自動的に切り替わります。たとえば、充電済みのバッテリー パックを装着し、ACアダプタを通して外部電源を使用しているときにACアダプタをコンピュータから取り外すと、バッテリー電源の使用に切り替わります。

バッテリー パックをノートブック コンピュータに装着しておくかどうかは、作業状況に応じて決めることができます。バッテリー パックを装着しておくと、コンピュータを外部電源に接続している間にバッテリー パックを充電できます。また、停電があった場合でも作業中のファイルを守ることができます。



コンピュータ本体はバッテリー パックを装着した状態での使用を想定しているため、バッテリー パックを外して使用すると、コンピュータ本体ががたつくような場合があります。

ただし、ノートブック コンピュータの電源が切れている間に、バッテリー パックは少しずつ放電します。このため、メインバッテリー パックはコンピュータに装着していない状態で出荷されます。コンピュータをバッテリー電源で動作させるには、バッテリーを装着してください。

バッテリー パックの概要

お使いのノートブック コンピュータには、バッテリー パックを2つまで装着できます。

- メイン バッテリー パックは、バッテリー ベイでのみ使用可能です。お使いのノートブック コンピュータには、メイン バッテリー パック1個が装着されています。
- 別売のトラベル バッテリー パックは、ノートブック コンピュータの裏面にのみ装着可能です。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用しない場合は、バッテリー パックを取り出して保管すると、バッテリー パックの寿命を延ばすことができます。保管方法については、この章の「[バッテリー パックの保管](#)」を参照してください。しばらく作業を行わない場合の操作方法について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。



ACアダプタおよびバッテリー パックは、お使いのノートブック コンピュータに対応しているもののみを使用する必要があります。詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/jp/>) を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。

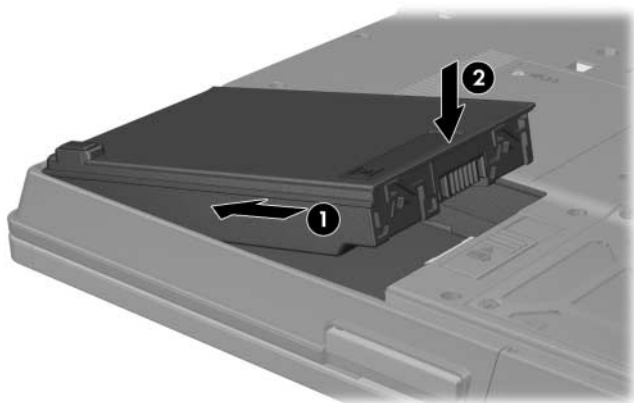
メイン バッテリー パックの装着と取り外し



注意：ノートブック コンピュータの電源としてバッテリー パックのみを使用しているときに、そのバッテリー パックを取り外す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。

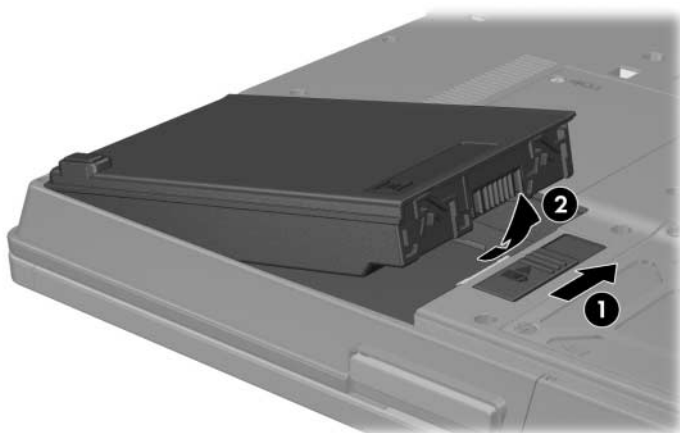
メイン バッテリー パックを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを裏返します。
2. バッテリー ベイにバッテリー パックをスライドさせ①、しっかりと収まるまで押し込みます。
3. カチッという音がして所定の位置に固定されるまで、バッテリー パックをバッテリー ベイに押し込みます②。



メイン バッテリ パックを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの前面が手前を向くように、コンピュータを裏返します。
2. バッテリ リリース ラッチをノートブック コンピュータの背面の方向に押します**①**。
3. バッテリ パックを持ち上げ、ノートブック コンピュータの外側にスライドさせて取り外します**②**。



バッテリー パックの充電

バッテリー パックを複数使用している場合、各バッテリー パックは、あらかじめ設定された順序で充電および放電されます。

■ 充電の順序：

1. ノートブック コンピュータのバッテリー ベイに装着されているメイン バッテリー パック
2. トラベル バッテリー パック（別売のバッテリー パック）

■ 放電の順序：

1. トラベル バッテリー パック（別売のバッテリー パック）
2. ノートブック コンピュータのバッテリー ベイに装着されているメイン バッテリー パック

バッテリー パックの充電中は、ノートブック コンピュータのバッテリー ランプが点灯します。すべてのバッテリー パックが完全に充電されると、バッテリー ランプが消灯します。



バッテリー パックは、別売のHPユニバーサルチャージャーでも充電できます。

新しいバッテリー パックの充電

ACアダプタを使ってノートブック コンピュータを外部電源に接続し、バッテリー パックを完全に充電してください。

新しいバッテリー パックは、完全に充電されていない状態でも使用できますが、バッテリー ランプの動作が不正確になることがあります。

メイン バッテリー パックがノートブック コンピュータに装着されており、コンピュータが外部電源に接続されている場合、メイン バッテリー パックが充電されます。

使用中のバッテリー パックの充電

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー ランプの動作の精度を上げるには、次の点に注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリー パックを放電してから充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。

バッテリー パックの充電の監視

ここでは、バッテリー パック内の電力の残量を判断する方法をいくつか説明します。

正確なバッテリー残量の表示

バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、次のことに注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリー パックを放電してから充電します。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。
- バッテリー パックを1か月以上使用していなかった場合は、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行います。バッテリー ゲージの調整方法については、この章の「[バッテリー ゲージの調整](#)」を参照してください。

充電情報画面の表示

ここでは、充電情報画面を表示して画面の情報を読む方法について説明します。

充電情報の表示

ノートブック コンピュータに装着したバッテリー パックの状態について情報を表示するには、次のどちらかの操作を行います。

- 通知領域にある[電源メーター]アイコンをダブルクリックします。

または

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]タブの順に選択します。

充電情報の読み方

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリーの状態がバッテリー残量のパーセントと残りの使用可能時間（分）で示されます。

- パーセントは、バッテリー パック内の電力の残量を示します。
- 時間は、現在のレベルでバッテリー パックの電力を使い続けた場合にバッテリー パックを使用できる残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

ほとんどの充電情報では、バッテリー パックが位置番号で示されます。

- #1はメイン バッテリー ベイのバッテリー パックです。
- #2は別売のトラベル バッテリー パックです。

画面によっては、画面上のバッテリー パックの位置表示の隣に稲妻のマークが表示されます。このマークは、その位置のバッテリー パックが充電中であることを示します。

ローバッテリー状態の対処

ローバッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、オペレーティングシステムの[電源オプション]ウィンドウで変更できます。ここでは、出荷時設定の警告およびシステム応答について説明します。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ローバッテリー状態の識別

ここでは、ローバッテリーおよび完全なローバッテリーの状態を判断する方法について説明します。

ローバッテリー状態

ノートブック コンピュータの電源としてバッテリー パックのみを使用しているときに、バッテリー パックがローバッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

完全なローバッテリー状態

ローバッテリー状態を解決しないと、ノートブック コンピュータは完全なローバッテリー状態に入ります。

完全なローバッテリー状態になると、システムは次のように応答します。

- ハイバネーションが有効で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存していない情報は失われます。

ハイバネーションが有効になっていることを確認するには、以下の手順で操作します。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。次に、[休止状態を有効にする]チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

ローバッテリー状態の解決



注意: ノートブック コンピュータが完全なローバッテリー状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源/スタンバイ ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源が利用できる場合

外部電源が利用できる場合にローバッテリー状態を解決するには、外部電源に接続します。

充電済みのバッテリー パックが利用できる場合

充電済みのバッテリー パックが利用できる場合にローバッテリー状態を解決するには、ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動し、充電済みのバッテリー パックを装着してから、ノートブック コンピュータの電源を入れます。

電源が利用できない場合

電源が利用できない場合にローバッテリー状態を解決するには、ハイバネーションを起動するか、作業中のファイルを保存してシステムを終了します。

ハイバネーションから復帰できない場合

ハイバネーションを終了するための電力がノートブック コンピュータに残っていない場合にローバッテリー状態を解決するには、以下の手順で操作します。

1. 充電済みのバッテリー パックを装着するか、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
2. 電源スイッチをノートブック コンピュータ前面の方向にスライドさせて、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

ここでは、バッテリー ゲージを調整するタイミングと調整方法について説明します。

バッテリー ゲージの調整が必要な時

バッテリー パックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリー パックを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。次の場合は、バッテリー ゲージの調整が必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に短くなった場合
- バッテリー パックを1か月以上使用していない場合

バッテリー ゲージの調整方法

バッテリー ゲージを調整するには、バッテリー パックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

バッテリー パックの充電

バッテリー パックは、ノートブック コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電できますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。

バッテリー パックを充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータにバッテリー パックを装着します。
2. ノートブック コンピュータを電源コンセントまたは別売のHP 90W カー アダプタに接続します。(コンピュータのバッテリー ランプが点灯します。)
3. バッテリー パックが完全に充電されるまで、ノートブック コンピュータを外部電源に接続しておきます。(充電が完了すると、コンピュータのバッテリー ランプが消灯します。)

バッテリー パックの放電

バッテリー パックを完全に放電する前に、ハイバネーションを無効にします。

ハイバネーションを無効にするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態を有効にする]チェック ボックスをオフにします。
3. [適用]を選択します。

バッテリー パックの放電中は、ノートブック コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリー パックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

- 放電中にノートブック コンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にノートブック コンピュータを使用する予定で、省電力設定を利用していた場合、放電処理中はシステムの動作が次のようになります。
 - ❑ 放電開始から1分後に、モニタがオフになります。
 - ❑ 放電開始から3分後に、ハードドライブがオフになります。
 - ❑ 放電開始から2分後に、システムによるスタンバイの起動が実行されます。

バッテリー パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. 通知領域の[電源メーター]アイコンを右クリックし、次に[電源プロパティの調整]を選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択して、[電源設定]タブを表示します。

2. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[電源に接続]列の4つの設定と[バッテリー使用]列の4つの設定をメモに取っておきます。
3. ドロップダウン リストで、これら8つ（各列に4つ）のオプションをすべて[なし]に設定します。
4. [OK]を選択します。
5. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。
6. バッテリー パックが完全に放電するまで、バッテリー電源でノートブック コンピュータを動作させます。バッテリー パックがローバッテリー状態まで放電すると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリー パックが完全に放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピュータの電源が切れます。

バッテリー パックの再充電

バッテリー パックを再充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、バッテリー パックが完全に再充電されるまで接続したままにします。充電が完了すると、コンピュータのバッテリー ランプが消灯します。

バッテリー パックの再充電中でもノートブック コンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. ノートブック コンピュータの電源を切っていた場合は、バッテリー パックが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯したら、コンピュータの電源を入れます。
3. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択して、[電源設定]タブを表示します。
4. [電源に接続]列と[バッテリー使用]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
5. [OK]を選択します。



注意: バッテリー ゲージの調整後はハイバネーションを再び有効にしてください。ハイバネーションを有効にしないと、完全になくなるまでバッテリー電力を消費し続けてデータが失われる恐れがあります。ハイバネーションを再び有効にするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。[休止状態を有効にする]チェック ボックスをオンにして、[適用]を選択します。

バッテリーの節電

ここで説明するバッテリー節電方法および設定を使用して、1回の充電でノートブック コンピュータを動作させる時間を長くすることができます。

作業中の節電

ノートブック コンピュータの使用時に節電するには、次の操作を行います。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続をオフにして、使用していないモデム アプリケーションを終了します。
- ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続する必要がないときは LAN デバイスをオフにします。ネットワーク ケーブルを取り外すと、LAN 節電モードにより LAN デバイスがオフになります。詳しくは、この章の「[LAN 節電モードの使用](#)」を参照してください。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していない PC カードを停止するか取り外します。詳しくは、「[第 6 章 PC カード](#)」を参照してください。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、[fn] + [f9] および [fn] + [f10] ホットキーを使用します。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカを使用します。または、音量ボタンを使用してシステム警告音の音量を調節します。

- Sビデオ出力コネクタに接続しているデバイスをオフにするときは、**[fn]+[f4]**ホットキーを使用するか、WindowsでSビデオ デバイスのサポートをオフにします。
- フロッピーディスクをフォーマットしている間は、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、ノートブック コンピュータの電源を切ります。

節電の設定

ノートブック コンピュータの節電を設定するには、以下の手順で操作します。

- スクリーンセーバが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスおよび動きの少ないスクリーン セーバを選択します。スクリーンセーバの設定画面を表示するには、次の操作を行います。

[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]→[スクリーン セーバー] タブの順に選択します。

- オペレーティング システムの**[電源設定]**で、電力の使用量が少ない設定を選択します。この章の「[電源設定の指定または変更](#)」を参照してください。

LAN節電モードの使用

お使いのノートブック コンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリー電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。

LAN節電モードはデフォルトで有効に設定されています。LAN節電モードの設定は**[Computer Setup]**で変更できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」の「[\[Advanced\] \(詳細設定\) メニュー](#)」を参照してください。

LAN節電モードを起動するには、次の操作を行います。

- » ネットワーク ケーブルを取り外します。



LAN節電モードを実行している間は、LANデバイスが[デバイス マネージャ]に表示されません。LANデバイスにアクセスするには、次のどれかの操作を行います。

- 外部電源に接続します。
- ネットワーク ケーブルを接続します。
- [Computer Setup]でLAN節電モードを無効に設定します。

バッテリー パックの保管

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリー パックを取り出して別々に保管します。



注意：バッテリー パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

高温の場所にバッテリー パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリー パックが放電するのを抑えるには、バッテリー パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

バッテリー パックを安全に保管できる期間については、次の表を参考にしてください。ここに示す保管期間は、バッテリー パックが50パーセント充電されている場合の期間です。完全に充電されている場合は、安全に保管できる期間はこれよりも長くなります。また、電力の残量が少ない場合は、これよりも短くなります。

1か月以上保管したバッテリー パックを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

温度の範囲	安全に保管できる期間
46～60℃	1か月未満
26～45℃	3か月以下
0～25℃	1年

使用済みのバッテリー パックの処理



警告：化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリー パックをつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたりしないでください。さらに、60℃より高温の環境に放置しないでください。バッテリー パックを交換する場合は、この製品専用のバッテリー パックをお使いください。

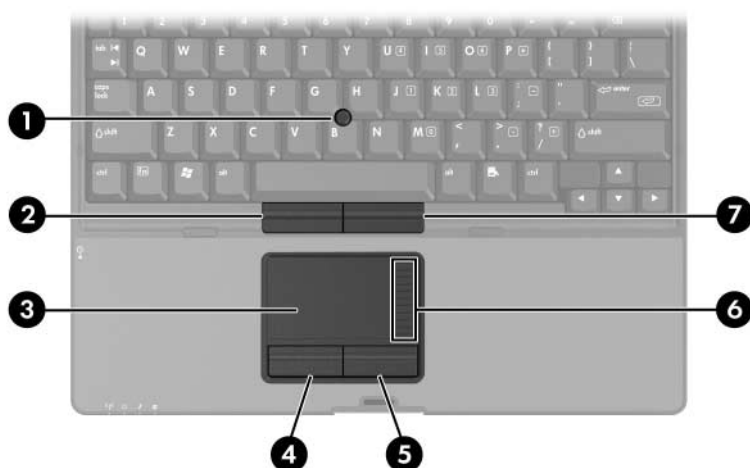


日本では、バッテリー パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

ポインティング デバイス およびキーボード

ポインティング デバイス

ポインティング スティックとタッチパッドのどちらを使用しても外付けマウスと同様の機能を実行できます。



名称	機能
① ポインティング スティック	ポインタを移動します
② 左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します

(続く)

名称	機能
③ タッチパッド*	ポインタを移動します。その他のマウス機能も実行するように設定できます。この章の「 マウスのプロパティのカスタマイズ 」を参照してください
④ 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
⑤ 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します
⑥ タッチパッドのスクロールゾーン*	画面を上下にスクロールします
⑦ 右のポインティングスティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの機能の変更については、この章の「[マウスのプロパティのカスタマイズ](#)」を参照してください。

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指を動かします。タッチパッドの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。タッチパッド垂直スクロールゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロールゾーンの上で指を上下にスライドさせます。

ポインティング スティックの使用

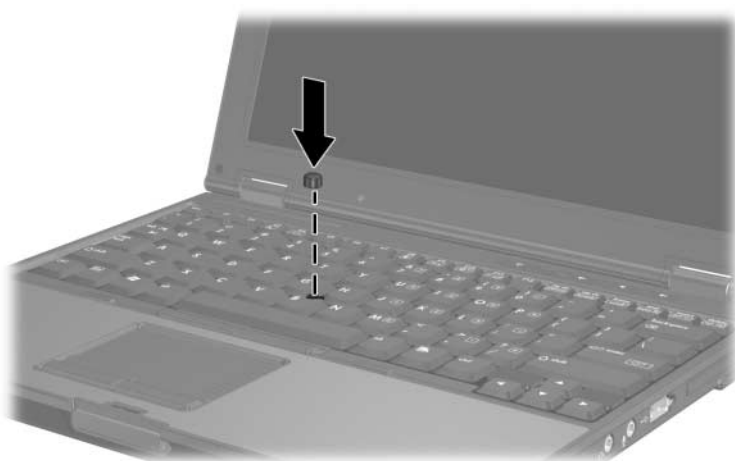
ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

ポインティング スティックのキャップを交換するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
2. ポインティング スティックの古くなったキャップをゆっくりと引き抜きます。
3. 新しいキャップを取り付けます。



交換用キャップは、ノートブック コンピュータには付属していません。



マウスのプロパティのカスタマイズ

Windowsの[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定をカスタマイズできます。

- ポインティング デバイスを有効または無効に設定します（デフォルトで有効に設定されています）。
- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます（デフォルトで有効に設定されています）。
- エッジ モーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。
- パーム チェック。入力中にタッチパッドに手が触れても、カーソルが意図せず移動しないように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。

マウスの速度や軌跡などの機能も[マウスのプロパティ]ウィンドウで設定できます。

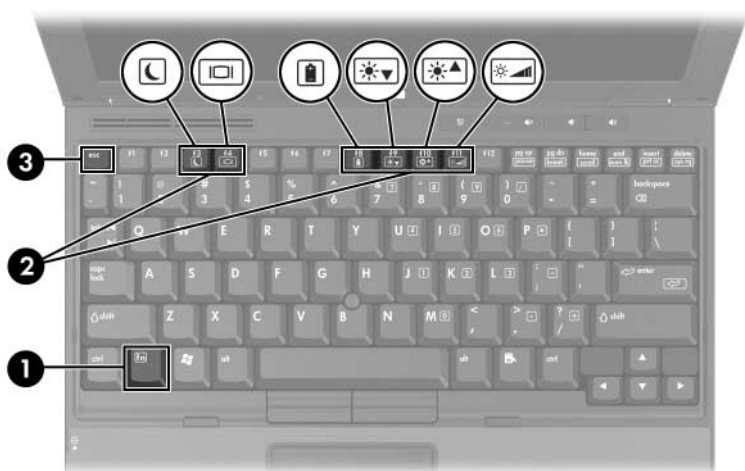
[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の手順で操作します。

- » [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。

ホットキー

ホットキーは、[fn]キー❶と、ファンクション キー❷または[esc]キー❸との組み合わせです。

ホットキーの機能は、[f3]、[f4]、および[f8]～[f11]のファンクション キーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。



ホットキーのクイック リファレンス

機能	機能をアクティブにする キーの組み合わせ	機能を非アクティブにする キーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]	電源スイッチ
ノートブック コンピュータの ディスプレイと外付けディス プレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]	[fn]+[f4]
バッテリー情報の表示	[fn]+[f8]	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]	[fn]+[f10]
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]	[fn]+[f9]
周辺光センサのオン/オフの切 り替え	[fn]+[f11]	[fn]+[f11]
システム情報の表示	[fn]+[esc]	[fn]+[esc]

ホットキー コマンドの使用

スタンバイの起動 ([fn]+[f3])

ノートブック コンピュータの電源が入っているときに[fn]+[f3]ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消えて、節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイランプが点滅します。

スタンバイを終了するには、電源スイッチをノートブック コンピュータの前面の方向にスライドさせます。

[fn]+[f3]ホットキーは、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。[fn]+[f3]ホットキーの機能 (Windowsでは「スリープ ボタン」と呼ばれます) は、変更することができます。たとえば、[fn]+[f3]ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。スタンバイ、ハイバネーション、および[fn]+[f3]ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、「[第2章 電源](#)」を参照してください。

表示画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの外付けモニタ ポートとSビデオ出力コネクタに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、[fn]+[f4]ホットキーを複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部VGAビデオ方式を使ってノートブック コンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]+[f4]ホットキーでは、外部VGA以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次の5つのビデオ伝送方式が[fn] + [f4]ホットキーでサポートされます。かつこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（ノートブック コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外部VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- Sビデオ（Sビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ ボード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ ボード）
- DVI-D（DVI-Dインタフェースをサポートする外付けモニタ）



コンポジット ビデオおよびDVI-Dデバイスは、ノートブック コンピュータが別売のドッキング デバイスに接続されている場合にのみ、コンピュータに接続できます。

バッテリー充電情報の表示 ([fn] + [f8])

[fn] + [f8]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリー パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリー パックと、各バッテリー パックの残量が確認できます。

バッテリー パックの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメイン バッテリー パックです。
- #2はトラベル バッテリー パックです。

輝度を下げる ([fn] + [f9])

[fn] + [f9]ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが徐々に下がっていきます。

輝度を上げる ([fn] + [f10])

[fn] + [f10]ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが徐々に上がっていきます。

周辺光センサの有効化（[fn]+[f11]）

[fn]+[f11]ホットキーを押すと、周辺光センサのオン/オフを切り替えることができます。周辺光センサについて詳しくは、この章の「[周辺光センサの使用](#)」を参照してください。

システム情報の表示（[fn]+[esc]）

[fn]+[esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョン番号に関する情報が表示されます。[fn]+[esc]ホットキーをもう1回押すと、システム情報が画面から消えます。



システムBIOSの日付はシステムROMのバージョン番号です。BIOSの日付は10/19/2002 F.07などの10進数形式で表示される場合があります。

外付けキーボードでのホットキーの使用

接続する別売の外付けキーボードの種類によって、使用できるホットキーが異なります。USBキーボードはQuick Launch Buttonsの[設定]で制御されるホットキー機能のみをサポートします。Quick Launch Buttonsの[設定]について詳しくは、この章の「[Quick Launch Buttons ソフトウェア](#)」を参照してください。

以下の表に、一部のホットキーおよびショートカット キーを外付けキーボードで使う方法を示します。

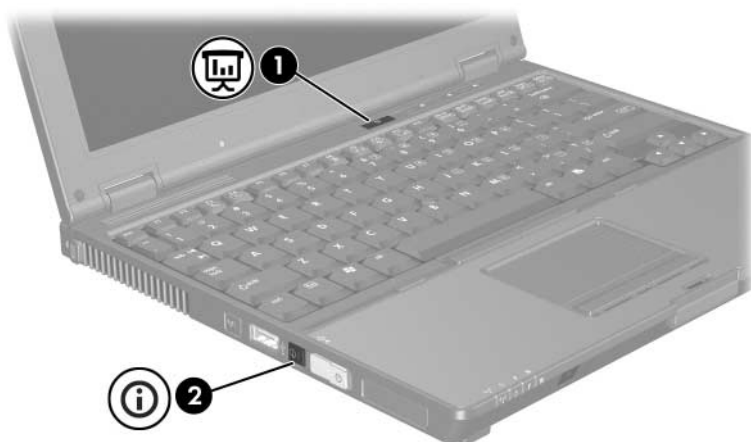
ノートブック コンピュータのキー	外付けキーボードのキー
[fn]+[f3]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f3]*
[fn]+[f4]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f4]*
[fn]+[f8]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f8]
[fn]+[f9]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f9]*
[fn]+[f10]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f10]*
[fn]+[f11]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f11]
[fn]+[esc]	[scroll lock]+[scroll lock]+[esc]

*別売のドッキング ステーションにPS/2キーボードを接続して使用した場合にのみ機能します。

Quick Launch Buttons

Quick Launch Buttonsの位置

このノートブック コンピュータには、よく使用するアプリケーションを起動できるQuick Launch Buttonsが2つあります。



名称	機能
① Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	プレゼンテーション モードを起動します。このモードでは、画面表示を外付けモニタ用に最適化したり、Microsoft PowerPointなどユーザーが定義したプログラムを起動して表示したりできます
② Info Center Button (Info Centerボタン)	よく使用するソフトウェア ソリューションの一覧を表示します

Quick Launch Buttonsソフトウェア

Quick Launch Buttonsソフトウェアを使用して、以下の操作を行えます。

- プレゼンテーション モードの設定の変更
- 次の項目に関する詳細な設定
 - [Quick Launch Buttons]アイコン
 - 周辺光センサ

以下の項目では、**[設定]**内での設定方法について説明します。**[設定]**の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンを選択してください。ヘルプ ボタンは、疑問符のアイコンで示されています。

Quick Launch Buttonsソフトウェアへのアクセス

Quick Launch Buttonsソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]** ボタンを使用するか、通知領域（タスクバーの右端）またはWindowsデスクトップに表示されるアイコンを使用します。**[スタート]** ボタンからQuick Launch Buttonsソフトウェアにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- » **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

[Quick Launch Buttons]アイコンの表示

通知領域（タスクバーの右端）またはWindowsデスクトップでの[Quick Launch Buttonsのプロパティ]アイコンの表示/非表示を切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの手順で、Quick Launch Buttonsの[設定]を開きます。

- ❑ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

または

- ❑ 通知領域（タスクバーの右端）またはWindowsデスクトップに表示される[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。

2. [詳細設定]タブを選択します。

[詳細設定]タブでは、通知領域（タスクバーの右端）またはデスクトップでの[Quick Launch Buttonsのプロパティ]アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。

- ❑ アイコンを表示するには、次の操作を行います。

[タスクバーにアイコンを表示]または[デスクトップにアイコンを表示]チェック ボックスをオンにします。

- ❑ アイコンを非表示にするには、次の操作を行います。

[タスクバーにアイコンを表示]または[デスクトップにアイコンを表示]チェック ボックスをオフにします。

3. 設定を保存して画面を閉じるには、[OK]を選択します。

プレゼンテーション モードの使用

Presentation Mode Buttonを使用すると、プレゼンテーション モードのオンとオフが切り替わります。プレゼンテーション モードをオンにすると、指定したアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトが起動または表示されます。画像は、ノートブック コンピュータの画面と、背面の外付けモニタ ポートやSビデオ出力コネクタまたは別売のドッキング デバイスのポートやコネクタに接続された外付けデバイスに、同時に表示されます。



Presentation Mode Buttonを初めて押したときに、**[プレゼンテーション設定]**ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスでは、以下のことができます。

- ボタンを押したときにプログラムが起動するように設定する
- 電源の設定を選択する

- Presentation Mode Buttonを押すたびに[プレゼンテーション設定]ダイアログ ボックスを表示するかどうかを選択する



このオプションを選択しなかった場合は、Presentation Mode Buttonを押すたびに[プレゼンテーション設定]ダイアログ ボックスが表示されます。Presentation Mode Buttonを押すと起動または表示されるように設定しているプログラム、アプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを開くには、[続行]を選択する必要があります。

- 外付けディスプレイでの表示に自動的に切り替わるようにする

Quick Launch Buttonsの[設定]を使用して、プレゼンテーション モードの設定を変更することができます。プレゼンテーション モードの設定については、この章の「[Presentation Mode Buttonの設定](#)」を参照してください。

Presentation Mode Buttonの設定

Presentation Mode Buttonを押すと起動または表示されるアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを設定するには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの手順で、Quick Launch Buttonsの[設定]を開きます。
 - ❑ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

または

 - ❑ 通知領域（タスクバーの右端）またはWindowsデスクトップに表示される[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。
2. [プレゼンテーション]タブを選択します。
3. Presentation Mode Buttonを押すと起動または表示されるアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを[起動するプログラム]の下ボックスに追加するか、[参照]を選択して使用可能なアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを表示します。
4. 設定を保存して画面を閉じるには、[OK]を選択します。

電源設定の変更

デフォルトでは、Presentation Mode Button を押すとプレゼンテーションモードの電源設定が選択されます。電源設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの手順で、Quick Launch Buttonsの[設定]を開きます。

□ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

または

□ 通知領域（タスクバーの右端）またはWindowsデスクトップに表示される[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。

2. [プレゼンテーション]タブを選択します。
3. ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択するか、[電源オプション]を選択してWindowsのコントロール パネルの[電源オプション]を起動し、現在の電源設定の表示または変更を行います。
4. 設定を保存して画面を閉じるには、[OK]を選択します。

起動画面の表示

Presentation Mode Button を押すたびに[プレゼンテーションの設定]ダイアログ ボックスを表示するかどうかを選択することができます。デフォルトの設定では、ボタンを押すと[プレゼンテーションの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

ボタンを押したときに[プレゼンテーションの設定]ダイアログ ボックスが表示されないようにするには、[次回からこのダイアログ ボックスを表示しない]の隣のチェック ボックスにチェックを入れます。

外付けディスプレイへの切り替え

デフォルトでは、[プレゼンテーション]タブの[自動的に外付けディスプレイに切り替える]オプションは選択されていません。Presentation Mode Buttonを押すと、[起動するプログラム]の設定で選択したアプリケーション、フォルダ、ファイル、およびWebサイトが起動または表示されます。

[自動的に外付けディスプレイに切り替える]オプションを選択してから Presentation Mode Buttonを押すと、表示画面がノートブック コンピュータに接続された外付けディスプレイに切り替わり、[起動するプログラム]の設定で選択したアプリケーション、フォルダ、ファイル、およびWebサイトが起動または表示されます。

周辺光センサの使用

このノートブック コンピュータには、周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動的に調節する光センサが内蔵されています。周囲の明るさが変わると、周辺光センサが変化を感知して画面の輝度を自動的に調節します。

次の3つの方法で、周辺光センサのオン/オフを切り替えられます。

- [fn]+[f11]ホットキーを押す
- Quick Launch Buttonsの[設定]を使用する
- 通知領域(タスク バーの右端)またはWindowsデスクトップの[Quick Launch Buttons]アイコンを使用する



Quick Launch Buttonsの[設定]または[Quick Launch Buttons]アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、Quick Launch Buttons ソフトウェアがインストールされている必要があります。

ホットキーを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、周辺光センサ用の組み合わせである[fn]+[f11]ホットキーを押します。



Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttonsソフトウェアを起動します。

- [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

または

- 通知領域（タスクバーの右端）または Windows デスクトップに表示される[Quick Launch Buttons]アイコンを選択します。

2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [周辺光センサを有効にする]チェック ボックスをオンまたはオフにします。
4. [適用]→[OK]の順に選択します。

[Quick Launch Buttons]アイコンを使用して周辺光センサのオン/オフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

1. 通知領域(タスク バーの右端)またはWindowsデスクトップの[Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックします。
2. [周辺光センサをオンにする]または[周辺光センサをオフにする]を選択します。

Quick Tileの使用

Quick Tileを使用して、デスクトップに表示されているウィンドウをすばやく整理できます。

1. 次のどちらかの方法で、Quick Launch Buttonsソフトウェアを起動します。
 - ❑ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]アイコンの順に選択します。
 - または
 - ❑ 通知領域の[Quick Launch Buttons]ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
2. [Quick Tile]タブを選択します。
3. [上下に並べて表示]または[左右に並べて表示]オプションを選択します。
4. 適用するソフトウェアを、[現在実行中のアプリケーション]リストから選択します。
5. [OK]を選択します。

Info Centerの使用（一部のモデルのみ）

Info Centerを使用して、次のソフトウェアをすばやく起動することができます。

- HPへの問い合わせ
- Data Protection Solutions
- ヘルプとサポート
- 製品のマニュアル
- オプション製品の紹介デモ
- Software Setup
- Wireless Assistant
- システム設定

Info Centerにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. Info Centerボタンを押します。
または
[スタート]→[Info Center]の順に選択します。
 2. [Info Center]ウィンドウで、起動するソフトウェアを選択します。
- 詳しくは、Info Centerのオンライン ヘルプを参照してください。

テンキー

お使いのノートブック コンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。



番号	名称
①	[fn]キー
②	Num Lockランプ
③	[num lock]キー
④	内蔵テンキー

有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]+[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]+[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。



外付けキーボードやテンキーがノートブック コンピュータまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

キーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]+[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
 - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
 - 大文字を入力するには、[fn]+[shift]キーを押しながら文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。たとえば、次のようになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockモードをオンにすると、ノートブック コンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

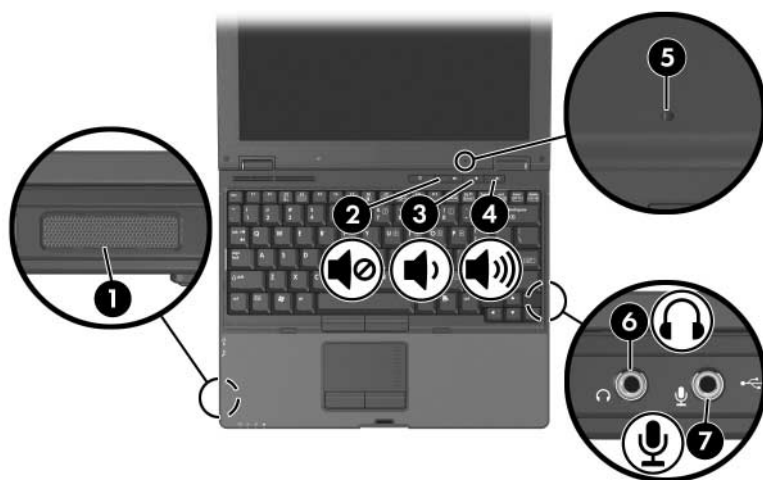
作業中のNum Lockモードの有効/無効の切り替え

作業中に外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、ノートブック コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

マルチメディア

オーディオ機能

以下の図と表では、ノートブック コンピュータのオーディオ機能について説明します。



名称	機能
❶ スピーカ	ノートブック コンピュータのサウンドを出力します
❷ ミュート ボタン	消音（ミュート）したり音量を元に戻したりします
❸ 音量下げボタン	ノートブック コンピュータの音量を下げます
❹ 音量上げボタン	ノートブック コンピュータの音量を上げます

（続く）

名称	機能
⑤ 内蔵マイク	サウンドを録音します
⑥ オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売のヘッドフォンや電源付きステレオ スピーカなどを接続します。テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ機能も接続できます
⑦ オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のモノラル（シングル チャネル）またはステレオ（デュアル チャネル）のマイクを接続します

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

お使いのノートブック コンピュータには、ステレオのマイク コネクタが装備されています。マイクをマイク コネクタに接続する場合は、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

- ステレオ（デュアル チャネル）マイクを接続する場合、ステレオサウンドが録音されます。
- モノラル（シングル チャネル）マイクを接続する場合、左チャンネルのサウンドが両方のチャンネルに録音されます。
- ダイナミック マイクを接続する場合、感度が不足して明瞭に録音できない可能性があります。



外付けマイクを接続する場合、ノートブック コンピュータ本体の内蔵マイクは無効になります。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



警告：突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。



注意：外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッドフォン コネクタに接続しないでください。

ステレオ（デュアルチャネル）ヘッドフォン コネクタは、ヘッドフォンを接続するときに使用します。また、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ入力コネクタを接続するときにも使用します。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続する場合、次の点に注意してください。

- 3.5 mmのステレオ プラグのみを使用してください。
- 最高の音質を得るには、24～32 Ωのヘッドフォンを使用してください。



ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

音量の調整

音量の調整には、次のどちらかを使用します。

- ノートブック コンピュータ本体の音量ボタン
 - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。
 - 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
 - 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。
- Windowsの[ボリューム コントロール]
 1. 通知領域（タスク バーの右端）の[音量]アイコンをクリックします。
 2. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。（[ミュート]の隣のチェック ボックスをオンにして、音量を消音することもできます。）または
 1. [音量]アイコンをダブルクリックします。

2. **[ボリューム コントロール]**列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。音量のバランスの調節や消音もできます。



ソフトウェアによっては、音量調節機能を持つものもあります。

[音量]アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを通知領域に追加します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。
2. **[音量]**タブを選択します。
3. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスをオンにします。
4. **[適用]**を選択します。

ビデオ機能

ノートブック コンピュータの7ピンのSビデオ出力コネクタには2つの用途があり、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッドプロジェクタ (OHP)、またはビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を、別売の標準 (4ピン) Sビデオ ケーブルで接続できます。Sビデオ出力コネクタの追加の3ピンを使用して、別売のSビデオ-コンポジット アダプタをコンピュータに接続できます。

ノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。通常、Sビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオ ケーブルが必要です。別売のマルチベイドライブに挿入したDVDの動画をテレビで再生するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、一般の電化製品販売店で入手可能な 3.5 mm - RCAオーディオ ケーブルが必要です。

Sビデオ出力コネクタの使用

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオ ケーブルの一方の端をノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。



2. ビデオ機器に付属の説明書の指示に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。



ノートブック コンピュータに別売のドッキング デバイスを装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキング デバイスのSビデオ出力コネクタに機器を接続できます。

モニタ、プロジェクタ、またはテレビの接続

外付けモニタ、プロジェクタ、またはテレビをノートブック コンピュータに接続するには、コンピュータ背面の外付けモニタ ポートにモニタ ケーブルを差し込みます。



外付けモニタ、プロジェクタ、またはテレビを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**[fn] + [f4]**ホットキーを押して、モニタに画面を切り替えます。Presentation Mode Buttonを押して、表示画面を切り替えることもできます。

マルチメディア ソフトウェア



オプティカル ディスク（CDおよびDVD）を使用するには、ノートブック コンピュータのドッキング ステーション（別売）のマルチベイまたは外付けマルチベイのオプティカル ドライブを使用する必要があります。

ノートブック コンピュータに含まれるマルチメディア ソフトウェアは、コンピュータを購入された地域やモデルによって決定されます。

コンピュータに含まれる可能性のあるマルチメディア ソフトウェアのいくつかの機能を、以下に説明します。

- **Windows Media Player**：オーディオCDとDVDを再生し、オーディオCDとデータCDをコピーします。また、MP3、WMA、AVI、MPG、WMVなど一般的な形式のオーディオおよびビデオ ファイルを再生します。このソフトウェアはWindowsオペレーティング システムに含まれています
- **InterVideo WinDVD**：ビデオCDおよびDVDの動画を再生します。このソフトウェアは一部のノートブック コンピュータにプリインストールされています。このソフトウェアは、以下のどれかの方法で入手することもできます。
 - ほとんどのHPノートブック コンピュータに付属している Application and Driver RecoveryディスクからInterVideo WinDVDをインストールします。
 - Application and Driver Recoveryディスクがない場合は、HPのサポート窓口へ連絡し、お使いのコンピュータのリストアCDのコピーを入手します。
 - HPのWeb サイト（<http://www.hp.com/jp>）からダウンロードします。
- **InterVideo WinDVD Creator Plus**：DVDやビデオCD上で動画を作成および編集したり、ディスクに動画を焼き付けたりする機能を備えています。このソフトウェアは、一部のノートブック コンピュータに同梱されているInterVideo WinDVD Creator CDに収録されています。

- **Sonic RecordNow!** : データ/オーディオCDおよびDVDのコピーを作成したり、個人用のオーディオCDおよびDVDを作成したりできます。**RecordNow!**は一部のノートブック コンピュータにプリインストールされています。



マルチメディア ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

お使いのノートブック コンピュータには、その他のマルチメディア ソフトウェアが含まれている場合があります。以下の項目を必ず確認してください。

- デスクトップ アイコン
- **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択して一覧表示されるアプリケーション
- **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]**で利用可能な、プリロードされている項目

著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このノートブック コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

ソフトウェアのインストール

ノートブック コンピュータに同梱されているCDからソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. 適切なオプティカル ドライブを別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIに挿入します。
2. 安定した電源を供給している電源コンセントに、コンピュータの電源コードを差し込みます。
3. 開いているアプリケーションをすべて閉じます。
4. ソフトウェアCDを別売の外付けオプティカル ドライブに挿入します。
 - ❑ 自動実行機能が有効な場合は、インストール ウィザードが表示されます。
 - ❑ 自動実行機能が無効な場合は、**[スタート]→[ファイル名を指定して実行]**の順に選択してから、次のように入力します。

x:\¥setup.exe

xはCDドライブを示します。

その後、**[OK]**を選択します。

5. インストール ウィザードが表示されたら、画面上のインストール指示に従って操作します。
6. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。



インストールする各ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。



WinDVD Creatorを正しくインストールするには、ドライブが特別な要件を満たしている必要があります。WinDVD Creatorのインストールについては、InterVideo WinDVD Creator CDに付属のインストール手順を参照してください。

自動再生の有効化

自動再生は、自動実行機能を有効または無効にする Windows のオプションです。自動実行機能により、ディスクをドライブに入れてドライブのトレイを開めるとすぐにプログラムが起動されたりトラックが再生されたりします。デフォルトでは、ノートブック コンピュータの自動再生機能は有効になっています。

自動再生機能を無効にしたり、無効になっている自動再生機能を有効にしたりする方法については、お使いのオペレーティング システムのマニュアルまたは Microsoft の Web サイト (<http://www.microsoft.com/japan/>) を参照してください。

DVDの地域設定の変更



注意：DVDドライブの地域設定は、5回までしか変更できません。

- 5回目に選択した地域設定が、DVDドライブの永続的な地域設定になります。
- ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、**[地域確認]**ウィンドウの**[この変更前に確定するまで、残りの変更が許可されます。]**フィールドに表示されます。このフィールドの数には、5回目の永続的な変更が含まれます。

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのDVDドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。

DVDの地域コードがお使いのドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると**[このコンテンツの再生は、この地域（リージョンコード）では許可されていません。]**というメッセージが表示されます。このDVDを再生するには、お使いのDVDドライブの地域設定を変更する必要があります。DVDの地域設定は、オペレーティングシステムまたは一部のDVDプレーヤで変更できます。

オペレーティング システムを使用する場合

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[デバイス マネージャ]**を開きます。**[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択し、ウィンドウを右クリックして**[プロパティ]→[ハードウェア]**タブ**→[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
2. **[DVD/CD-ROMドライブ]**を選択し、地域設定を変更するDVDドライブを右クリックします。次に**[プロパティ]**を選択します。
3. **[DVD地域]**タブで変更を行います。
4. **[OK]**を選択します。
5. 詳しくは、Windows オペレーティング システムの**[ヘルプとサポート]**を参照してください。

WinDVDを使用する場合

WinDVDを使用してドライブの地域設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. 以下のどちらかを実行して、WinDVDを起動します。
 - ☐ 通知領域の[InterVideo WinDVD]アイコンをダブルクリックします。
 - ☐ [スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。
2. WinDVD Playerのウィンドウを右クリックします。
3. [セットアップ]を選択します。
4. 地域のボタンを選択します。
5. [OK]を選択します。

他のDVDソフトウェアを使用する場合

WinDVD以外のDVDプレーヤを使用してドライブの地域設定を変更する場合は、そのプレーヤに付属のマニュアルを参照してください。

ドライブの取り扱い上の注意

ここでは、メイン ハードドライブの概要、および別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIの概要について説明します。

ドライブは繊細なコンポーネントであるため、注意して取り扱う必要があります。次に示すのは、すべてのドライブに適用される注意事項です。特定の手順に関する注意事項は、操作手順の説明に含まれています。



注意：ノートブック コンピュータやドライブが損傷したりデータが失われたりすることを防ぐために、次の点に注意してください。

- ドライブは、落としたり、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。
- ドライブを取り付けるときには、無理な力を加えないでください。差し込む力が強すぎると、コネクタが壊れる恐れがあります。
- 洗剤などの液体をドライブに垂らしたり、高温の場所にドライブを放置したりしないでください。
- 修理または交換を行うとき以外は、メイン ハードドライブ（ハードドライブ ベイ内のハードドライブ）を取り外さないでください。
- 静電気によって電子部品が損傷する可能性があります。静電気の放電によってノートブック コンピュータやドライブが損傷することを防ぐために、以下の予防措置をとってください。
 - ドライブに触れる前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
 - ドライブのコネクタに触れないようにしてください。

静電気による損傷を防止する方法については、『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

- 磁気を発する装置にドライブを近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルト コンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、衝撃、振動、および高温多湿の環境からドライブを保護するように緩衝材で包み、しっかりと梱包して「コワレモノー取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。

IDEドライブ ランプ

メイン ハードドライブにアクセスしているときは、IDE ドライブ動作ランプが点灯します。



メイン ハードドライブ



注意: システムのロックやデータの損失を防ぐため、ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、ノートブック コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。



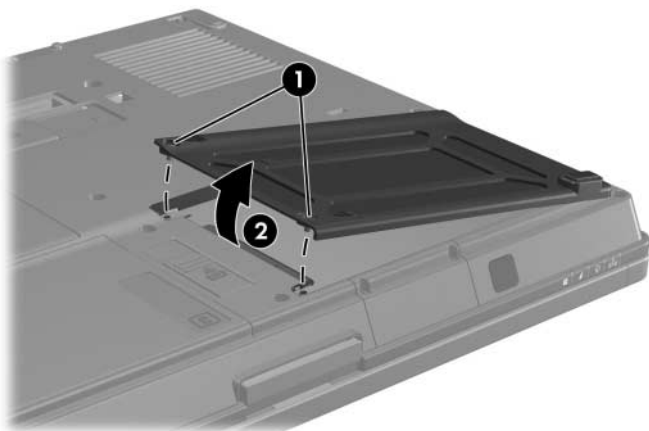
注意: ノートブック コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、重要なデータの損失を防ぐため、必ず事前にスタンバイを起動してください。スタンバイを起動するには、[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します。スタンバイの起動およびスタンバイからの復帰について詳しくは、「[第2章 電源](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータには、ハードドライブ1つが装着されたハードドライブ ベイが1つあります。ハードドライブ ベイのハードドライブはメイン ハードドライブです。

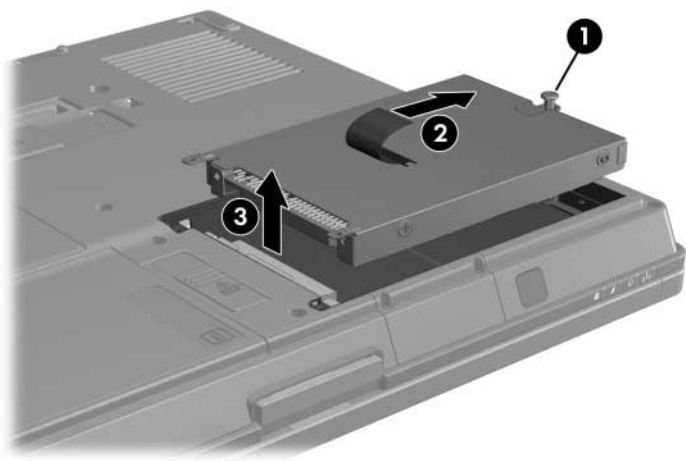
メイン ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. データを保存してからノートブック コンピュータをシャットダウンします。(コンピュータの電源がハイバネーション状態かどうか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータの前面の方向にスライドさせて離すことでコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。)
2. ディスプレイを閉じます。
3. ノートブック コンピュータの前面が手前を向くように、コンピュータを裏返します。

4. ハードドライブ カバーの2つのネジ①を緩めます。
5. ハードドライブ カバーを持ち上げて、ノートブック コンピュータから取り外します②。

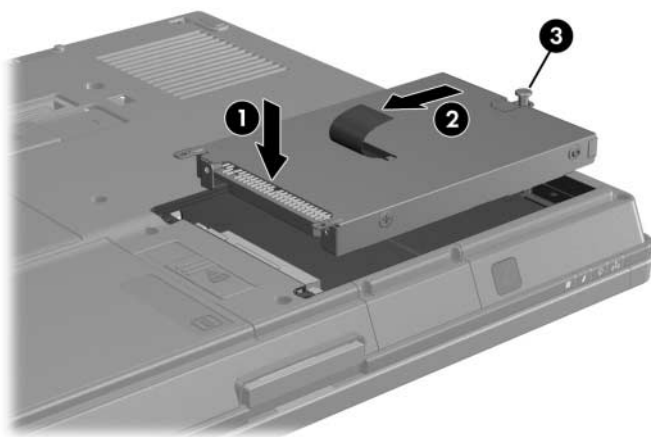


6. ハードドライブのネジ①を緩めます。
7. ハードドライブ タブを右方向に引いて、ハードドライブの固定を解除します②。
8. ハードドライブをノートブックコンピュータから持ち上げます③。

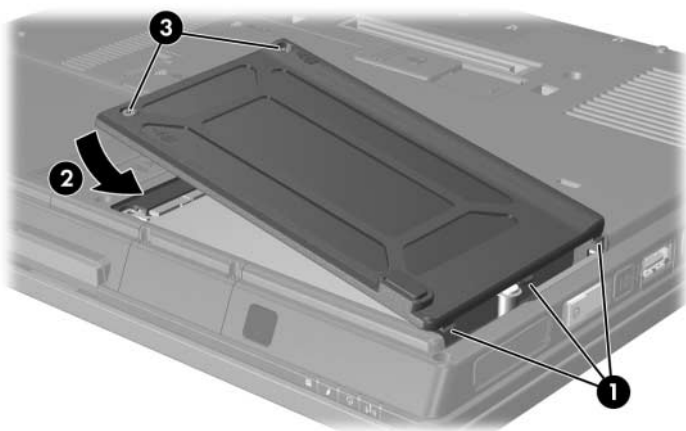


ハードドライブを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブを、ノートブック コンピュータの裏面にあるハードドライブ ベイに挿入します①。
2. ハードドライブ タブを左方向に押して、ハードドライブを固定します②。
3. ハードドライブのネジ③を締めます。



4. ハードドライブ カバーのタブ**①**を、ノートブック コンピュータの溝に合わせます。
5. カバーを閉じます**②**。
6. ハードドライブ カバーのネジ**③**を締めます。



外付けドライブ

外付けのリムーバブル ドライブを使うと、データを保存したり、データにアクセスしたりできます。

USBドライブを追加するには、ノートブック コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBポートに接続します。USBドライブの接続については、「[第9章 USBデバイス](#)」を参照してください。

外付けマルチベイまたはマルチベイ II は、以下のデバイスを含むマルチベイ デバイスまたはマルチベイ II デバイスをサポートします。

- 1.44 MBのフロッピーディスク
- ハードドライブ モジュール (アダプタが装備されているハードドライブ)
- DVD-ROMドライブ
- DVD-ROM/CD-RWコンボ ドライブ
- DVD+R/RWドライブ
- DVD±RW/CD-RWマルチ ドライブ

外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

別売の外付けデバイス

このガイドで説明する各コネクタには、標準の外付けデバイスを接続できます。

- 使用するコネクタまたはポートについては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- ドライバなど、デバイスの動作に必要なソフトウェアのインストールやロードについては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

標準の外付けデバイスをノートブック コンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。(コンピュータの電源が切れているかハイパネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータの前面の方向にスライドさせて離すことでコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムからコンピュータの電源を切ります。)
2. 外部電力を使用するデバイスを接続する場合は、デバイスの電源を切ります。
3. デバイスをノートブック コンピュータに接続します。
4. 外部電力を使用するデバイスを接続する場合は、デバイスの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。
5. デバイスの電源を入れます。
6. ノートブック コンピュータの電源を入れます。

標準の外付けデバイスをノートブック コンピュータから取り外すには、デバイスの電源を切り、次にコンピュータから取り外します。

別売の外付けマルチベイおよび外付けマルチベイII

外付けのマルチベイまたはマルチベイIIをノートブック コンピュータのUSBポートに接続すると、マルチベイおよびマルチベイIIのデバイスを使用できます。コンピュータの右側面には、電源供給機能付きのUSBポートが1つ装備されています。電源供給機能付きのUSBケーブルを使用すると、このポートから外付けマルチベイに電源を供給できます。コンピュータの背面および左側面にあるUSBポートからは、外付けマルチベイに電力が供給されません。これらのUSBポートに接続して使用する場合は、外付けマルチベイを外部電源に接続する必要があります。

PCカード

PCカードとは



注意: このPCカードソフトウェアを他社製のソフトウェアまたはイネーブラで上書きすると、他のPCカードが使用できなくなる恐れがあります。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイス ドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバだけをインストールしてください。
- PCカードの製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、イネーブラなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。

PCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさのデバイスで、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の標準仕様に準拠しています。

- お使いのノートブック コンピュータは32ビット (CardBus) および16ビットのPCカードに対応しています。
- お使いのノートブック コンピュータには1基のPCカード スロットが装備されており、1枚のType Iカードまたは1枚のType IIカードに対応しています。
- ズーム ビデオ用PCカードおよび12 V PCカードには対応していません。

挿入



注意:PCカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- PCカード スロットにPCカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
- PCカードが作動しているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

1. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりとハマるまで、PCカード スロットに静かにスライドさせて挿入します。オペレーティング システムによって音が鳴り、デバイスが検出されたことが示されます。



取り出し



注意: データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止します。

1. PCカードを使用しているアプリケーションとファイルをすべて閉じます。
2. タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択してからPCカードを選択し、PCカードを停止します。([ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]を選択します。)
3. PCカード イジェクト ボタンを押します①。これでボタンが外側に出て、PCカードを取り出せるようになります。
4. PCカードを取り出すには、外側に出た PCカード イジェクト ボタンを押します。
5. カードを持ち、ゆっくりとスライドさせて取り出します②。



装着されているPCカードは、使用されていなくても電力を消費します。節電するには、使用していないPCカードを取り出すか、停止します。

デジタル メモリ カード

デジタル メモリ カードとは

デジタル メモリ カードは切手くらいの大きさの記憶装置で、データを格納してそれをハンドヘルドデバイス、PDA、カメラ、その他のSD対応のPCなどのデバイス間で共有することができます。



お使いのノートブック コンピュータでサポートされるデジタル メディア カード形式は、SD (Secure Digital) メモリ カードおよびマルチメディア カードのみです。

挿入



注意：コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- デジタル メディア スロットにデジタル メモリ カードを挿入する際には、無理な力を加えないでください。
- デジタル メモリ カードが作動しているときには、ノートブック コンピュータを動かしたり、持ち運んだりしないでください。

デジタル メモリ カードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. デジタル メモリ カードをデジタル メディア スロットに挿入します。
2. カチッという音がするまでカードをスライドさせて、しっかりとスロットに挿入します。



取り出し



注意: データの損失やシステムのロックを防ぐために、デジタル メモリ カードを取り出す前にカードを停止します。

デジタル メモリ カードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. デジタル メモリ カードを使用しているアプリケーションとファイルをすべて閉じます。
2. タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択してからデジタル メモリ カードを選択し、デジタル メモリ カードを停止します。([ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]アイコンを選択します。)
3. デジタル メモリ カードを静かに押して①、ロックを外します。
4. デジタル メモリ カードをスライドさせて、スロットから取り出します②。



メモリ モジュール

メモリ モジュールとは



警告：ユーザがアクセスできるノートブック コンピュータの内部コンパートメントは、メモリ モジュール コンパートメント、ハードドライブ ベイ、およびバッテリー ベイだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ず弊社のサポート窓口にご依頼ください。



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリー パックをコンピュータから取り外してください。



注意：静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

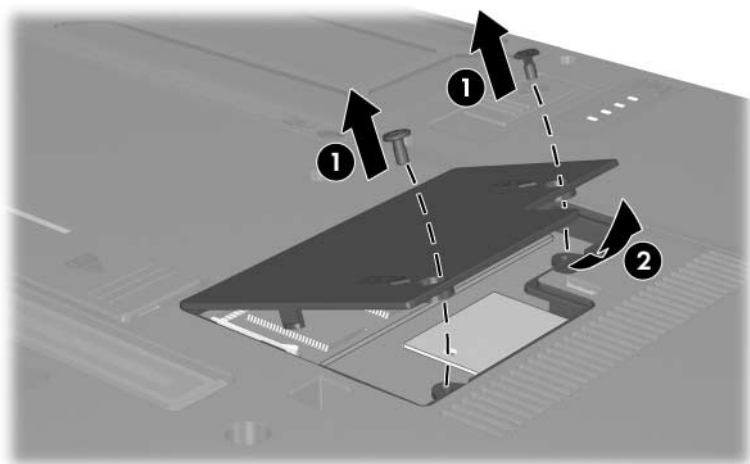
お使いのノートブック コンピュータには、2基のメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。メイン メモリ モジュール コンパートメントは、キーボードの下にあります。拡張メモリ モジュール コンパートメントは、コンピュータの裏面にあります。

ノートブック コンピュータのメモリ容量をアップグレードするには、メモリ モジュールを拡張スロットに追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールをアップグレードします。

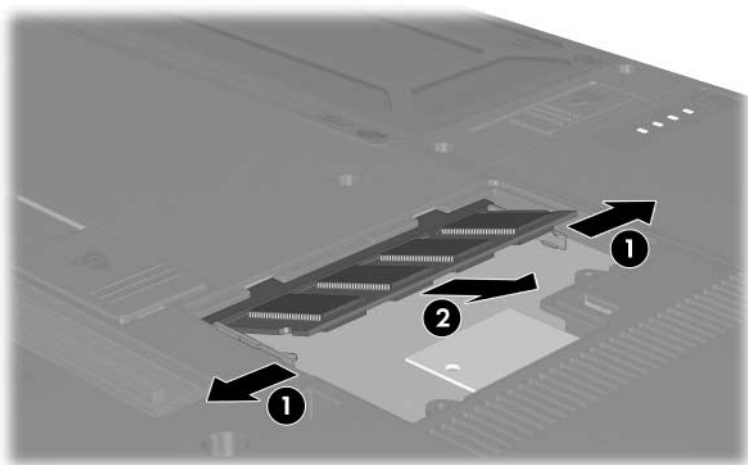
拡張メモリ モジュール スロット

拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加したり、メモリ モジュールをアップグレードしたりするには、以下の手順で操作します。

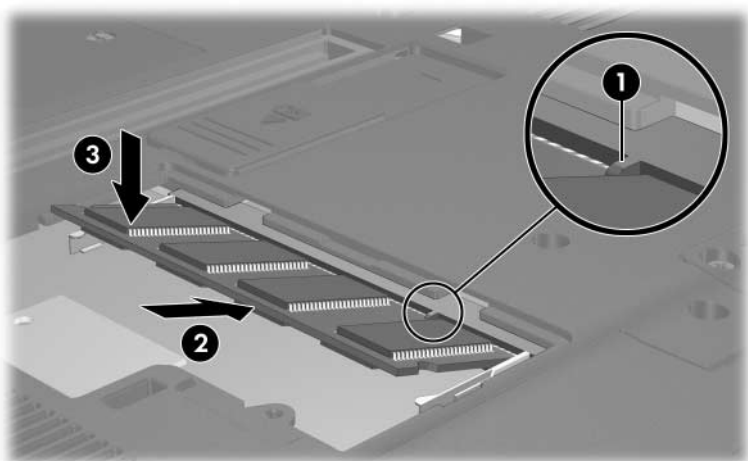
1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。（コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせてコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。）
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを取り外します。
4. ノートブック コンピュータを裏返します。
5. すべてのバッテリー パックをノートブック コンピュータから取り外します。
6. メモリ モジュール カバーのネジ①を緩めます。
7. メモリ モジュール カバーをノートブック コンピュータから持ち上げて取り外します②。



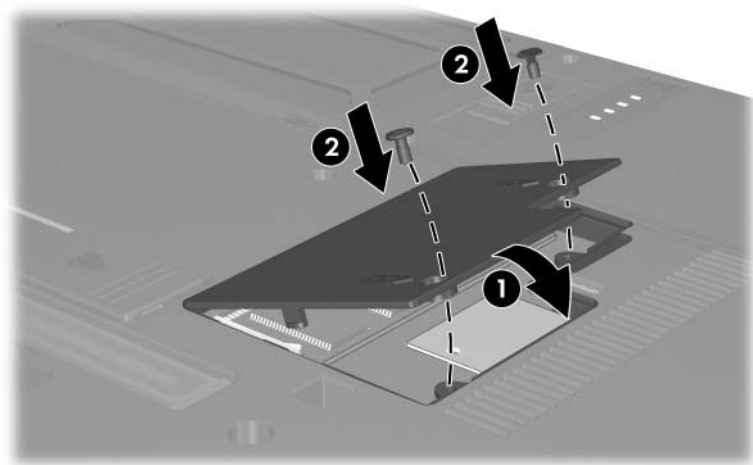
8. メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールが取り付けられている場合は、以下の手順で取り外します。
- メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります❶。(モジュールが少し上に出てきます。)
 - モジュールの両端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて取り外します❷。取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



9. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールを取り付けます。
- a. モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットの切り込み❶を合わせます。
 - b. メモリ モジュール スロットに収まるまで、メモリ モジュール コンパートメントの表面から45° の角度でモジュールを差し込みます❷。
 - c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます❸。



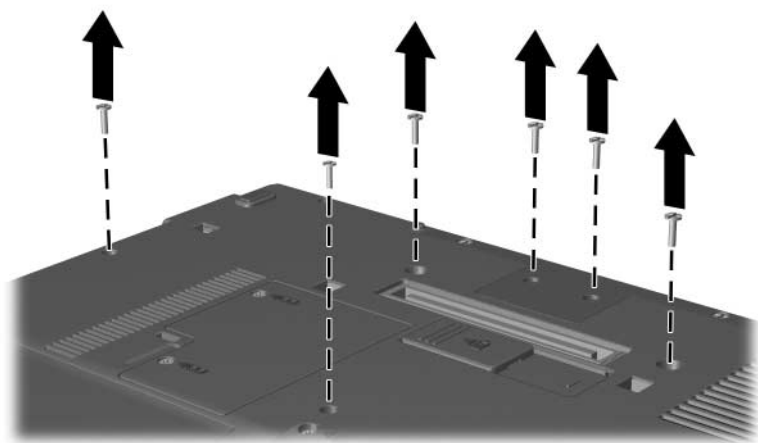
10. メモリ モジュール カバーを取り付けなおして①、メモリ モジュール カバーのネジを締めます②。



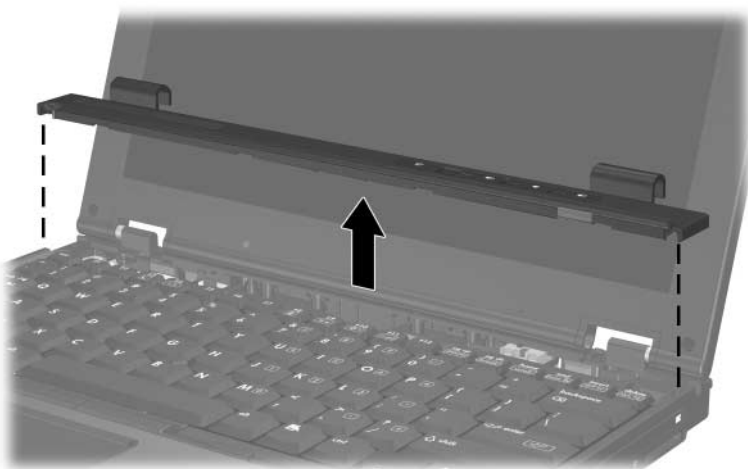
メイン メモリ モジュール スロット

メイン メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールを交換するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。（コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせてコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。）
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを取り外します。
4. ノートブック コンピュータを裏返します。
5. すべてのバッテリー パックをノートブック コンピュータから取り外します。
6. ノートブック コンピュータの裏面から、6つのネジを取り外します。



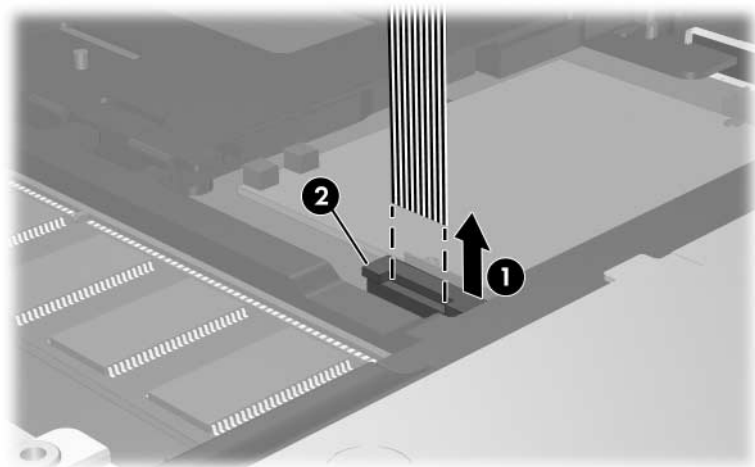
7. ノートブック コンピュータのディスプレイ側を上にして開きます。
8. マイナス ドライバを使用して、ノートブック コンピュータのボタンカバーを取り外します。



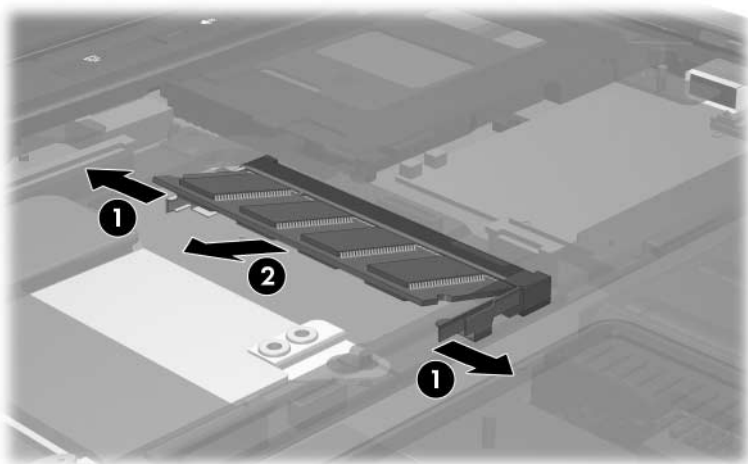
9. キーボードの上端部分を持ち上げて、ノートブック コンピュータのパームレストに乗るまで回転させます。



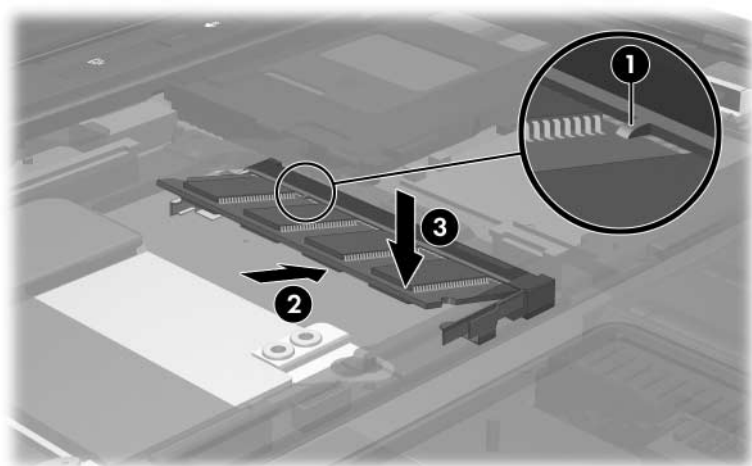
10. ポインティング スティック コネクタ②を上を持ち上げて、ポインティング スティック ケーブルを取り外します①。



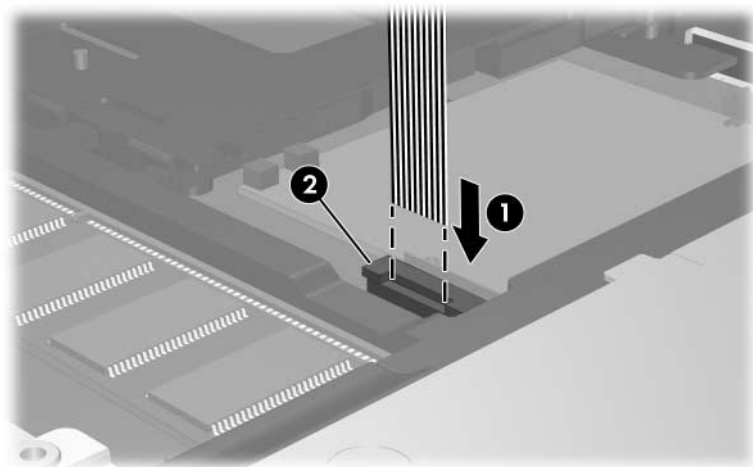
11. 以下の手順に従って、メモリ モジュール スロットからメモリ モジュールを取り外します。
 - a. モジュールの両端の留め具を外側に引っ張ります①。モジュールが解放されると、少し上に出てきます。
 - b. メモリ モジュールの端を持ち上げ②、ゆっくりとスロットから取り外します。(取り外したモジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。)



12. 以下の手順に従って、新しいメモリ モジュールをメモリ モジュール スロットに取り付けます。
- a. モジュールの切り込みと拡張スロットの切り込み①を合わせます。
 - b. メモリ スロットに収まるまで、45° の角度でモジュールを差し込みます②。
 - c. カチッと音がして留め具がモジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます③。



13. ポインティング スティック ケーブル①をポインティング スティック コネクタ②に接続し、コネクタを押し下げて固定します。



14. キーボードを取り付けなおします。
15. ノートブック コンピュータのボタン カバーを取り付けなおします。
16. ネジをノートブック コンピュータの裏面に取り付けなおします。
17. バッテリ パックを装着しなおします。
18. 外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
19. ノートブック コンピュータを起動しなおします。

ハイバネーション ファイル

ランダム アクセス メモリ (RAM) を増設すると、ハイバネーション ファイルに必要なハードドライブ領域がオペレーティング システムによって拡張されます。

RAMを増設した後にハイバネーションに関する問題が発生した場合は、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハードドライブに十分にあることを確認してください。

- システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、以下の手順で操作します。

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[全般]タブの順に選択します。

または

- [fn]+[esc]キーを押します。

- ハードドライブの空き領域を表示するには、[スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択してから、ハードドライブを選択します。ドライブの容量についての情報が、ウィンドウの下部の[詳細]ボックスに表示されます。

- ハイバネーション ファイルに必要な容量を表示するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[休止状態]タブの順に選択します。

USBデバイス

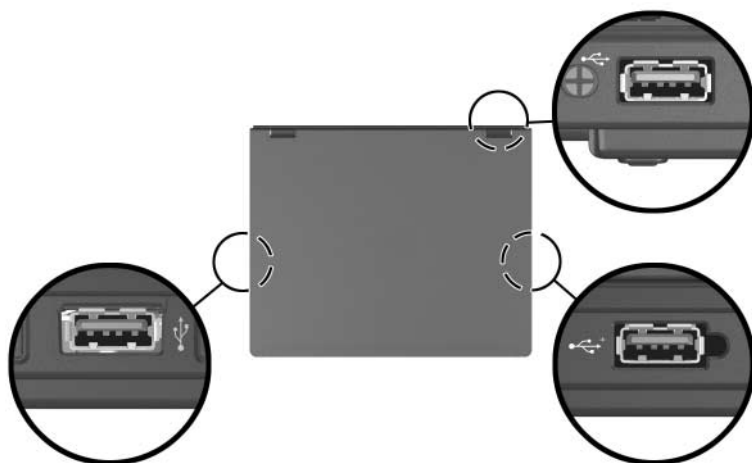
USBとは

USB (Universal Serial Bus) は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの外付けデバイスをノートブック コンピュータに接続して使用できるハードウェアのインタフェースです。コンピュータには、USB 2.0およびUSB 1.1のデバイスをサポートする標準USBコネクタが3つ装備されています。

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能しますが、次の1点の例外があります。デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティングシステムがノートブック コンピュータにインストールされない限り、USBデバイスは動作しません。

USBデバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポート ソフトウェアおよびそのインストール方法について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

USBデバイスの接続



USBハブは、ノートブック コンピュータまたは別売のドッキング デバイスのUSBコネクタ、または他のUSBデバイスに接続できます。ハブはさまざまなUSBデバイスをサポートし、ハブを使用することにより、システムに接続するUSBデバイスの数を増やすことができます。外部電力を使用するハブの場合、外部電力に接続する必要があります。外部電力を使用しないハブの場合、コンピュータのUSBコネクタまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

オペレーティング システムおよびソフトウェア

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能しますが、次の1点の例外があります。デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティング システムがノートブック コンピュータにインストールされない限り、USBデバイスは動作しません。

USBデバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポート ソフトウェアおよびそのインストール方法について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

USBレガシー サポート

次のような場合に、USBレガシー サポートを有効にする必要があります。

- ノートブック コンピュータの起動時、またはWindows以外のアプリケーションやユーティリティで、コンピュータのUSBコネクタに接続されたUSBキーボード、マウス、またはハブを使用する場合
- 別売の外付けマルチベイから起動する場合

USBレガシー サポートを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。
3. [Advanced] (詳細設定) → [Device Options] (デバイス オプション) の順に選択します。
4. [USB legacy support] (USBレガシーサポート機能) を選択します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、[File] (ファイル) → [Save changes and exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

モデムおよびネットワーク接続

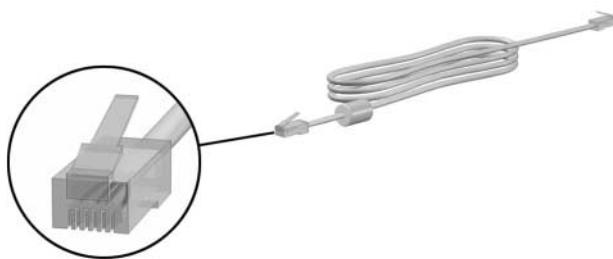
内蔵モデム

モデム ケーブル



警告：ノートブック コンピュータをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違ってモデム ケーブルをデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

6 ピンの RJ-11 コネクタが両端に付いたモデム ケーブルをアナログ電話回線に接続してください。国によっては、各国仕様のモデム アダプタが必要な場合があります。デジタルPBXシステム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラ コンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。



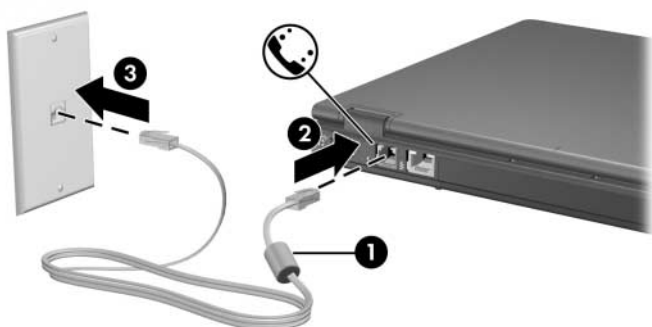
モデム ケーブルの使用

モデム ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。



警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

1. ノートブック コンピュータを、電話回線用モジュラ コンセントの近くの安定した平らな場所にディスプレイ側を上にして置きます。
2. モデム ケーブルに、TV やラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア①が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をノートブック コンピュータ側に向けます。
3. モデム ケーブルをコンピュータ本体の RJ-11 (モデム) コネクタに差し込みます②。
4. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線用モジュラ コンセントに接続します③。



モデムの使用方法または AT コマンドやダイヤル設定コマンドの使用方法について詳しくは、「[モデムの使用国の選択](#)」または『[モデム コマンドに関するガイドライン \(上級者向け\)](#)』（英語版）を参照してください。

各国仕様のモデム ケーブル アダプタの使用

モジュラ コンセントは国により異なります。RJ-11 モデム コネクタが標準的でない国でモデムを電話線に接続する場合は、各国仕様のモデム アダプタを用意する必要があります。国外でノートブック コンピュータを使用する方法について詳しくは、「[モデムの使用国の選択](#)」を参照してください。

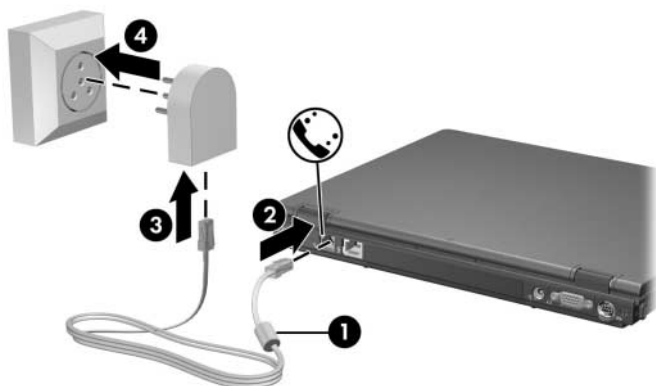
RJ-11 モデム コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。



警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルを RJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

1. ノートブック コンピュータを、電話回線用モジュラ コンセントの近くの安定した平らな場所にディスプレイ側を上にして置きます。

2. モデム ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア①が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をノートブック コンピュータ側に向けます。
3. モデム ケーブルをコンピュータ本体のRJ-11（モデム）コネクタに差し込みます②。
4. モデム ケーブルを各国仕様のモデム ケーブル アダプタに接続します③。
5. 各国仕様のモデム ケーブル アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します④。



モデムの使用国の選択

使用国設定の確認

現在の国の設定を確認するには、以下の手順で操作します。



注意：日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]ウィンドウの左上部分に表示されているメニューから、[電話とモデムのオプション]を選択します。
3. [ダイヤル情報]を選択します。
4. [所在地]リストから現在の所在地を選択して、[編集]を選択します。
[所在地の編集]ウィンドウが表示されます。
5. [国/地域]で、現在の国を確認します。
6. [市外局番]に適切な市外局番が表示されていることを確認します。

旅行先の所在地の新規追加

日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の規格に準拠するように設定されています。国外でこのモデムを使用する場合は、その国の規格に適合するように所在地の構成を追加する必要があります。



注意：モデムの日本用の設定は削除しないでください。日本用の設定を保持した状態で国外でモデムを使用できるようにするには、モデムを使用する国や地域ごとに所在地の構成を新規に追加します。

以下に説明するドロップダウン リストには、このモデムでサポートされない国が含まれている場合があります。サポートされない国を選択すると警告が表示され、**[米国]**または**[英国]**が選択されます。



注意：お使いの地域とは異なる国を選択すると、その地域の通信規定や法律に違反した構成になる恐れがあります。また、国を正しく選択しないと、モデムが正しく機能しない場合があります。サポートされていない国を選択するとメッセージが表示されます。その国ではこのモデムの使用が認可されていないので、使用しないでください。

所在地設定を追加するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**→**[電話とモデムのオプション]**→**[ダイヤル情報]**タブの順に選択します。



[ダイヤル情報]タブを初めて選択すると、**[所在地情報]**ウィンドウで所在地の市外局番を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. **[新規]** ボタンを選択して、**[所在地]**に追加する所在地を入力します（「自宅」、「会社」など）。
3. **[国/地域]**ドロップダウン リストから、現在地を選択します。



このドロップダウン リストには、このモデムでサポートされない国が含まれている場合があります。サポートされない国を選択すると警告が表示され、**[米国]**または**[英国]**が選択されます。

4. **[OK]**→**[OK]**の順に選択します。

国外での接続に関する問題の解決

ノートブック コンピュータを購入した国以外でモデムを使用しているときに問題が発生した場合は、次のことを試してみてください。

■ 電話回線の種類の確認

モデムには必ずアナログ電話回線を使用します（デジタル回線を使用しないでください）。PBX回線と呼ばれる回線は、通常はデジタル回線です。データ回線、FAX回線、モデム回線、標準電話回線と呼ばれている電話回線のほとんどは、アナログ回線です。

■ トーンとパルスのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認

電話機で数桁の番号をダイヤルして、カタカタという音（パルス音）とピポパという音（トーン）のどちらが聞こえるか確認します。次に、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。



[ダイヤル情報]タブを初めて選択すると、[所在地情報]ウィンドウで所在地の市外局番を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. 所在地を選択して[編集]を選択します。
3. 電話回線で聞こえた音に応じて、[トーン]または[パルス]を選択します。
4. [OK]→[OK]の順に選択します。


■ ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認

電話で送信先の電話番号をダイヤルし、受信側のモデムが応答することを確認します。

■ ダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定する

認識できないダイヤル トーンを受信すると、モデムはダイヤルせずに、[No Dial Tone]エラー メッセージを表示します。次の手順で、ダイヤル前のダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]タブの順に選択します。
2. お使いのモデムを選択し、[プロパティ]→[モデム]タブの順に選択します。
3. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスをオフにします。

4. このチェックボックスをオフにした後も引き続き[No Dial Tone]エラーメッセージが表示される場合は、次の操作を行います。
 - a. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[電話とモデムのオプション]→[ダイヤル情報]タブの順に選択します。
 [ダイヤル情報]タブを初めて選択すると、[所在地情報]ウィンドウで所在地の市外局番を入力するよう求めるメッセージが表示されます。
 - b. 所在地を選択して[編集]を選択します。
 - c. [国/地域]ドロップダウン リストから、現在地を選択します。
 - d. [適用]→[OK]の順に選択します。
 - e. [モデム]タブを選択します。
 - f. お使いのモデムを選択し、[プロパティ]→[モデム]タブの順に選択します。
 - g. [発信音を待ってからダイヤルする]チェック ボックスをオフにします。

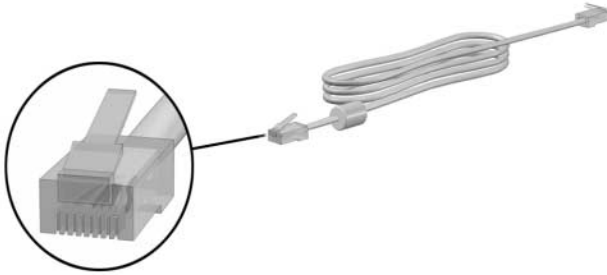
プリインストールされている通信ソフトウェア

ターミナルエミュレーションおよびデータ転送用に、プリインストールされているモデム ソフトウェアを使用するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順に選択します。
2. 適切なターミナルエミュレーションプログラムを選択するか、インターネット接続ウィザードの指示に従います。

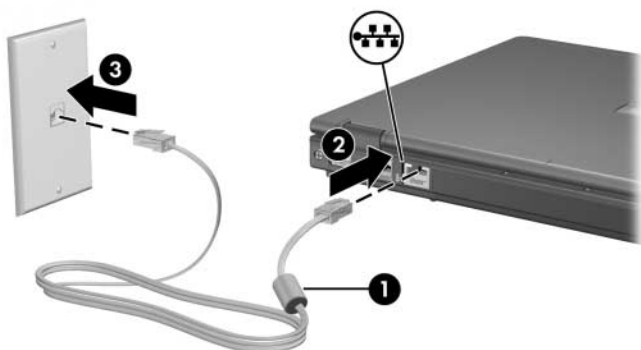
ネットワーク

ネットワーク ケーブルの両端には8ピンのRJ-45 コネクタが付いています。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを、ネットワーク コネクタの近くの安定した平らな場所にディスプレイ側を上にして置きます。
2. ネットワーク ケーブルに、TV やラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア❶が付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をノートブック コンピュータ側に向けます。
3. ネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-45（ネットワーク）コネクタに差し込みます❷。
4. ケーブルのもう一方の端を壁のネットワーク コネクタに差し込みます❸。



お使いのノートブック コンピュータにはLAN節電機能が搭載されており、バッテリー電力の消費を抑えることができます。コンピュータが外部電源から切断され、ネットワーク ケーブルが取り外されると、LAN節電モードによりLANデバイスがオフになります。詳しくは、「[第2章 電源](#)」の「[LAN節電モードの使用](#)」を参照してください。

無線（一部のモデルのみ）

802.11やBluetoothなどの無線デバイスが内蔵されているノートブック コンピュータは、無線コンピュータです。

- 802.11無線ノートブック コンピュータは職場、自宅、および公共の場所にある無線ネットワークに接続できます。無線ネットワークには、無線ローカルエリア ネットワーク（無線LAN）または「無線LANスポット」があります。無線LANスポットは、空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学などの公共の場で使用できるアクセス ポイントです。
- Bluetooth無線ノートブック コンピュータは無線パーソナル エリア ネットワーク（PAN）を使用して、他のBluetooth無線対応デバイスに接続できます。

お使いのノートブック コンピュータには、802.11 無線デバイスおよび Bluetooth 無線デバイスを有効/無効にできるボタンと、無線デバイスの状態を示す関連のランプがあります。次の図に、無線ボタン①および無線ランプ②を示します。



無線ボタンとランプの他に、ノートブック コンピュータには、無線デバイスをオン、オフ、有効、および無効にできるソフトウェアがあります。次の表では、これらのソフトウェアについて説明します。

無線コントロール	説明
Wireless Assistant	802.11 無線デバイスと Bluetooth 無線デバイスのオン/オフを個別に切り替えられるソフトウェア ユーティリティです。Wireless Assistantの使用ついて詳しくは、この章の「 デバイスの電源状態 」を参照してください
Computer Setup	[Computer Setup]で802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスの有効/無効を切り替えられます。[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスとBluetooth無線デバイスを制御する方法については、「 第13章 [Computer Setup] 」を参照してください

無線ローカル エリア ネットワーク デバイス （一部のモデルのみ）

802.11無線デバイスを使用して、無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）にアクセスできます。無線LANは、無線ルータや無線アクセスポイントを使用して接続している他のコンピュータおよびデバイスで構成されています。

■ 社内無線LANや公共の無線LANスポットなどの大規模無線LANでは通常、無線アクセスポイントが使用されます。無線アクセスポイントは、多数のコンピュータやデバイスに対応でき、重要なネットワーク機能を分離できます。

■ 自宅または小規模オフィスの無線LANでは通常、無線ルータが使用されます。無線ルータを使用すると、ハードウェアやソフトウェアを追加せずに、数台の無線コンピュータや有線コンピュータでインターネット接続、プリンタ、およびファイルを共有できます。無線アクセスポイントおよび無線ルータはしばしば区別なく使用されます。

802.11無線LANデバイスを搭載するノートブック コンピュータでは、次の3つのIEEE物理層規格のうち1つ以上をサポートしています。

■ 802.11a

■ 802.11b

■ 802.11g

無線LANアダプタには、次の3つの一般的な実装があります。

■ 802.11bのみ

■ 802.11b/g

■ 802.11a/b/g

802.11bは最初に普及した無線LAN規格で、最大11 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、2.4 GHzの周波数で動作します。802.11gは後発の規格で、同様に2.4 GHzで動作しますが、最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートしています。802.11g無線LANデバイスは802.11bデバイスと下位互換性があるため、同じネットワーク上で動作できます。802.11aは最大54 Mbpsのデータ転送速度をサポートし、周波数5 GHzで動作します。802.11aは802.11bおよび802.11gと互換性がありません。ノートブックコンピュータに搭載されているデバイスの種類については、この章の「[無線LANデバイスの識別](#)」を参照してください。

社内無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

ノートブックコンピュータを社内無線LANに接続する方法については、ネットワーク管理者またはIT部門に問い合わせてください。

公共の無線LANへの無線ノートブックコンピュータの接続

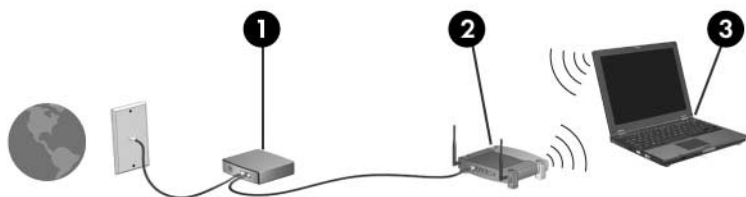
お近くの公共の無線LANの一覧については、ISPに問い合わせるか、インターネットで検索してください。

公共の無線LANの範囲内では、画面の下部に[ワイヤレス ネットワーク 接続]対話メッセージが表示されます。料金や接続の要件については、それぞれの公共の無線LANで確認してください。

自宅での無線LANの設定

自宅で無線LANを設定してインターネットに接続するには、次の設備が必要です。下の図に、完成した無線ネットワークの例を示します。この無線ネットワークには次のものが含まれます。

- インターネット サービス プロバイダ（ISP）から購入またはレンタルした、ブロードバンド モデム（DSLまたはケーブル） および高速インターネット サービス①
- 別売の無線ルータ（別途購入する必要があります）②
- 無線ノートブック コンピュータ③



ネットワークの規模の拡大に応じて、追加の無線コンピュータおよび有線コンピュータをネットワークに接続してインターネットにアクセスできます。



無線LANのインストールの技術的な質問については、ルータの製造元またはISPに問い合わせてください。

無線LAN接続の使用

無線LAN接続を使用するには、以下のことを行います。

- 802.11 無線デバイスに必要なすべてのドライバがインストールされており、802.11 無線デバイスが正しく設定されていることを確認します。



内蔵 802.11 無線デバイスを使用している場合は、必要なすべてのドライバのインストールおよびアダプタの設定があらかじめ行われており、すぐに使用できる状態になっています。

- 内蔵802.11無線デバイスを使用している場合は、802.11無線デバイスがオンになっていることを確認します。802.11無線デバイスがオンになっていると、無線ランプが点灯します。無線ランプが消灯している場合は、802.11無線デバイスをオンにします。[「デバイスの電源状態」](#)を参照してください。

- ホーム無線LANの場合は、ルータが正しく設定されていることを確認します。手順については、ルータのマニュアルを参照してください。



その後の無線LAN接続の機能の範囲は、ノートブック コンピュータの無線LAN実装、ルータの製造元、さまざまな種類の壁面やその他の電子機器からの干渉によって、異なります。

無線LAN接続の使用について詳しくは、以下を参照してください。

- ISPからの情報や、無線ルータおよびその他の無線LAN機器に付属するマニュアルを参照します。
- **[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択して表示される情報やWebサイトにアクセスします。
- ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照します。『トラブルシューティング』には、無線LANデバイスの問題と解決方法に関する項目が記載されています。

無線セキュリティ機能の使用

独自の無線LANを設定する場合や既存の無線LANにアクセスする場合は、常にセキュリティ機能によって無線LANを保護する必要があります。無線LANのセキュリティを有効にしないと、権限のない無線ユーザーからノートブック コンピュータのデータにアクセスされ、知らないうちにインターネット接続を利用されることがあります。

最も一般的なセキュリティ レベルはWi-Fi Protected Access (WPA)

-PersonalおよびWired Equivalent Privacy (WEP) です。ルータで

WPA-PersonalまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にするほかに、次のセキュリティ対策を使用できます。

- デフォルトのネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更する
- ファイアウォールを使用する
- Webブラウザにセキュリティを設定する
- ルータでMACアドレス フィルタを有効にする

無線LANのセキュリティについて詳しくは、HPのWebサイト、

<http://www.hp.com/go/wireless>（英語サイト）を参照してください。

無線ソフトウェアのインストール（オプション）

Microsoft Windows XPでは、Zero Client Configurationを使用して無線LAN設定をサポートしています。HPでは、Cisco Compatible Extensionsの使用を予定している場合にインストールする必要がある、個別の無線LAN設定ユーティリティを提供しています。Cisco Compatible Extensionsによって、無線デバイスでCisco ベースの無線LANを使用できるようになります。

無線LANデバイスの識別

内蔵802.11無線デバイス用のHP無線LANソフトウェアをインストールするには、ノートブック コンピュータの内蔵802.11無線デバイスの名称を知っておく必要があります。コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスを識別するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータに搭載されている802.11無線デバイスのすべての名前を表示します。
 - a. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
 - b. **[マイ コンピュータ]**ウィンドウ内を右クリックします。
 - c. **[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**→**[ネットワーク アダプタ]**の順に選択します。
2. 表示されたリストから、802.11無線デバイスを探します。
 - ❑ 802.11無線デバイスの名前には、「wireless LAN」、「WLAN」、または「802.11」という文字が含まれます。
 - ❑ リストに802.11無線デバイスが表示されない場合、ノートブック コンピュータに内蔵802.11無線デバイスが搭載されていないか、802.11無線デバイス用のドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。

無線LANソフトウェアおよびマニュアルへのアクセス

無線LANソフトウェアはノートブック コンピュータにあらかじめプリロードされており、Software Setupユーティリティから使用できます。

次の手順で、無線LANソフトウェアをインストールします。

- » **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Software Setup]**の順に選択し、画面の指示に従います。インストールするソフトウェアを選択するように求められたら、対応するチェック ボックスをオンまたはオフにします。

無線LANソフトウェアはHPのWebサイトにて、SoftPakとしても提供されています。SoftPakにアクセスしてダウンロードし、お使いのノートブック コンピュータにインストールするには、次のどちらかの方法で操作します。

■ [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

または

■ HPのWebサイト (<http://www.hp.com/support>) にアクセスします。

- a. 言語と地域を選択します。
- b. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]を選択します。
- c. お使いのコンピュータのモデル情報を入力し、Web サイトに表示される指示に従います。



無線LANソフトウェアは[ネットワーク]カテゴリに分類されています。お使いのコンピュータのモデルに関する情報は、コンピュータ本体に貼付されているシリアル番号ラベルを参照してください。シリアル番号ラベルはノートブック コンピュータの裏面に貼付されています。

無線LANソフトウェアのマニュアルにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. この章で説明した手順に従って、無線 LAN ソフトウェアをインストールします。
2. ユーティリティを開きます。
3. メニュー バーの[ヘルプ]を選択します。

デバイスのトラブルシューティング

トラブルシューティングについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/wireless>（英語サイト）にアクセスするか、ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

Bluetooth無線デバイス（一部のモデルのみ）

Bluetooth無線デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器と接続するために従来使用されていた物理的なケーブル接続から無線通信へと、通信手段を変更できます。

- ネットワーク アクセス ポイント
- コンピュータ（デスクトップおよびノートブック コンピュータ、PDA）
- 電話（携帯電話、コードレス電話、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンタ、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカ）

Windows対応Bluetoothソフトウェアでは、デバイスは物理的な特徴を表すグラフィック アイコンで表示されます。これにより、デバイスを簡単に見分けられるようになり、他のクラスのデバイスと区別できます。

Windows対応Bluetoothソフトウェアには次の機能があります。

- 個人情報管理（PIM）アイテムの転送：他のBluetoothコンピュータやデバイスとの間で、名刺、予定表項目、メモ、メッセージ項目などの情報ファイルを送受信します。
- PIM同期：Bluetoothを通じて、コンピュータ、PDA、または携帯電話間でPIMデータを同期します。
- ファイル転送：他のBluetoothコンピュータとの間でファイルの送受信を行います。
- ネットワーク アクセス（パーソナルエリア ネットワーク プロファイル）：2台以上のBluetooth対応デバイスでアドホック（ピアツーピア）ネットワークを構築できます。Bluetoothデバイスがネットワーク アクセス ポイントを通じてリモート ネットワークに接続するための機能を提供します。ネットワーク アクセス ポイントとして、従来のLANデータ アクセス ポイント、または互いにのみ接続しているデバイスの組み合わせを表す複数のアドホック ネットワークを設定できます。

- **ダイヤルアップ ネットワーク**：Bluetooth対応デバイスをインターネットに接続します。
- **Bluetoothシリアル ポート**：仮想COMポートを使用して、Bluetoothリンク経由でデータを転送します。
- **ハンズフリー**：自動車内蔵型のハンズフリー ユニットまたはハンズフリーユニットとして機能するノートブック コンピュータで、携帯電話との無線通信を確立し、Bluetooth対応携帯電話のオーディオ入出力装置として動作させることができます。
- **基本イメージング**：Bluetooth対応カメラと他のBluetoothデバイスとの間での無線接続を提供します。カメラをノートブック コンピュータからリモートで制御でき、イメージをカメラからコンピュータに転送して保存したり、印刷したりできます。
- **ヒューマン インタフェース デバイス**：キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスなどの他のBluetoothデバイスとの無線接続を提供します。
- **Fax**：ノートブック コンピュータで、Bluetooth携帯電話やBluetoothモデムを通じてFaxメッセージを送受信するためのBluetooth接続を提供します。
- **ヘッドセット**：ヘッドセットとノートブック コンピュータまたは携帯電話との無線接続を提供します。ヘッドセットは、デバイスのオーディオ入出力装置として機能し、移動性を拡大します。

お使いのノートブック コンピュータでのBluetoothの使用について詳しくは、『Bluetoothお使いになる前に』を参照してください。

デバイスの電源状態

Wireless Assistantとともに無線ボタン❶を使用して、802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスを有効または無効にできます。デフォルトでは、ノートブックコンピュータの電源を入れると、802.11無線デバイスまたはBluetoothデバイスがオンになり、無線ランプ❷が点灯します。



802.11無線デバイスをオンにしても、自動的に無線LANを確立したり、無線LANに接続したりすることはできません。無線LANの設定について詳しくは、この章の「無線ローカルエリアネットワークデバイス（一部のモデルのみ）」を参照してください。



802.11無線デバイスおよびBluetoothデバイスには、次の2つの電源状態があります。

- 有効
- 無効

[Computer Setup]で無線デバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]を使用して802.11無線デバイスまたはBluetoothデバイスを制御する方法については、「第13章 [Computer Setup]」を参照してください。無線ボタンを使用して、無線デバイスを有効または無効にすることもできます。

[Computer Setup]および無線ボタンで無線デバイスを有効にした場合、Wireless Assistantを使用して、デバイスのオン/オフを個別に切り替えることができます。無線デバイスが無効になっている場合は、Wireless Assistantでオン/オフを切り替える前にデバイスを有効にする必要があります。

無線デバイスの状態を表示するには、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンの上にカーソルを置くか、通知領域のアイコンをダブルクリックしてWireless Assistantを開きます。デバイスの状態がオン、オフ、または無効としてWireless Assistantに表示されます。さらに、Wireless Assistantには、[Computer Setup]でのデバイスの状態が有効または無効の形で表示されます。

Wireless Assistantについては、以下の手順でヘルプを参照してください。

1. 通知領域のアイコンをダブルクリックして、Wireless Assistantを開きます。
2. [ヘルプ]ボタンを選択します。



[Computer Setup]で無線デバイスが無効にされている場合は、無線ボタンまたはWireless Assistantを使用してそれらのデバイスを制御することができません。

デバイスの電源投入

状態	目的	操作
<div>■</div> Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオフになっている	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> 無線ランプが消灯している		<div>✎</div> 無線デバイスがオフになっている場合は、無線ボタンを押すと、両方のデバイスが無効になります。ボタンを押してもデバイスはオンになりません
<div>■</div> Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方とも無効になっている*	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	1. 無線ボタンを押します（デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります） 2. 無線デバイスがオフの場合、通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします
<div>■</div> 無線ランプが消灯している		3. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> Wireless Assistant で、一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている	どちらかまたは両方のデバイスをオンにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オンにするデバイスを選択します
<div>■</div> 無線ランプが点灯している		

*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていなかった場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンになりません。



ノートブック コンピュータの電源を入れたときに、無線デバイスもオンにするには、コンピュータをシャットダウンまたは再起動する前に無線デバイスをオンにしておく必要があります。

デバイスの電源切断および無効化

状態	目的	操作
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオンになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが点灯している	どちらかまたは両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します
■ Wireless Assistant で、無線 LAN および Bluetooth が両方ともオフになっている	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが消灯している		
■ Wireless Assistant で、一方のデバイスがオンでもう一方のデバイスがオフになっている*	両方のデバイスを無効にする	無線ボタンを押します
■ 無線ランプが点灯している	両方のデバイスをオフにする	1. 通知領域の[Wireless Assistant]アイコンを右クリックします 2. オフにするデバイスを選択します

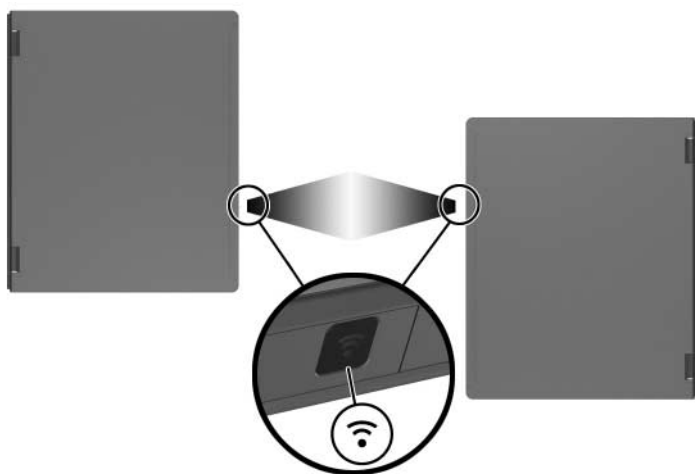
*無線デバイスを無効にする前に両方のデバイスがオンになっていなかった場合、再度無線ボタンを押すと、デバイスは以前のオンまたはオフの状態に戻ります。ボタンを押しても両方のデバイスはオンになりません。

赤外線通信

ノートブック コンピュータはIrDAに準拠しているため（標準4 Mbps）、IrDAに準拠した他の赤外線装置との通信が可能です。

赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートします。赤外線通信のパフォーマンスは、赤外線装置の性能、赤外線装置間の距離、および使用するアプリケーションによって異なります。

赤外線信号は、目に見えない赤外線ビームを介して通信されるので、赤外線装置間に障害物を置かないでください。



赤外線転送の設定

赤外線ソフトウェアの設定方法については、オペレーティング システムのヘルプ ファイルを参照してください。

赤外線装置の転送を最適化するには、以下に注意します。

- 両方の装置の赤外線ポートを、転送可能な状態にします。
- 赤外線ポートが 1 メートル以内の距離で向かい合うように装置を設置します。
- 通信しようとしている装置の赤外線ポートから相手のポートへの方角の角度が 30° 以上（中心線から $\pm 15^{\circ}$ ）ずれないようにします。
- 直射日光、フラッシュ、蛍光灯などが赤外線ポートに直接あたらないようにします。
- ワイヤレス ヘッドフォンやオーディオ機器のリモコンなどを赤外線ポートに向けないようにします。
- データ転送中に装置を動かしたり、ビームをさえぎるような物を置いたり、動作を行ったりしないようにします。

赤外線転送中のスタンバイの使用

赤外線転送を行うときは、スタンバイは使用できません。お使いのノートブック コンピュータがスタンバイ状態の場合は、赤外線転送は開始されません。赤外線転送中にスタンバイが開始されると、転送は停止します。スタンバイから復帰するには、電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせます。コンピュータがスタンバイから復帰すると、転送が再開されます。ただし、スタンバイが開始されたときに赤外線転送を使用していたプログラムは、停止した時点から続行されないことがあります。たとえば、プログラムで印刷が行われていたときにスタンバイが開始された場合、コンピュータがスタンバイから復帰したときに、そのプログラムの転送は再開されますが、印刷ジョブは再開されません。

Mobile Printing（一部のモデルのみ）

Mobile Printing for Notebooksを使用すると、ノートブック コンピュータに必要なプリンタ ドライバが付属していなくても、PostScript対応のHP ネットワーク プリンタで印刷できます。

Mobile Printingを使用するには、以下の手順で操作します。

1. 使用しているアプリケーションで、[ファイル]→[印刷]の順に選択します。
2. プリンタのリストから[Mobile Printing]を選択します。
3. [印刷]を選択します。
4. プリンタのIPアドレスまたはネットワーク パスを入力します。
5. [印刷]を選択します。

Mobile Printing のダウンロード方法および使用方法について詳しくは、HPのWebサイト（<http://www.hp.com/go/mobileprinting>、英語サイト）を参照してください。


セキュリティ

セキュリティの機能



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

Windowsオペレーティング システムのセキュリティ機能の他に、お使いのノートブック コンピュータには次に示すセキュリティ機能が搭載されており、そのほとんどは[Computer Setup]で設定できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
ノートブック コンピュータの不正な使用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源投入時パスワード (Power-on password) ■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ <p>詳しくは、この章の「HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)」を参照してください</p>
[Computer Setup]ユーティリティ (f10) への不正なアクセス	HP管理者パスワード
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	DriveLock (ドライブロック)
Windowsユーザ アカウントへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 別売のスマート カード <p>有効なスマート カードには、Windowsユーザ パスワードおよびWindows管理者パスワードの両方を保管できます。このため、アカウントにアクセスするにはスマート カードとスマート カードのPINの両方が必要になります</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Credential Manager for ProtectTools <p>詳しくは、この章の「Credential Manager for ProtectTools」を参照してください</p> <p> このセキュリティ機能は特定のスマート カードリーダーでのみサポートされます</p>
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windowsファイアウォール ソフトウェア ■ HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ <p>詳しくは、この章の「HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)」を参照してください</p>
BIOS設定およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	HP管理者パスワード。これにより[Computer Setup]のシステム情報が保護されます
ノートブック コンピュータの不正な移動	<p>セキュリティ ロック ケーブル用スロット (別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用)</p> <p>セキュリティ ロック ケーブル用スロットについて詳しくは、この章の「別売のセキュリティ ロック ケーブル」を参照してください</p>

[Computer Setup]でのセキュリティ設定

ほとんどのセキュリティの設定は、[Computer Setup]で行います。

[Computer Setup]はWindowsのユーティリティではないため、ノートブックコンピュータのポインティング デバイスはサポートされません。
[Computer Setup]を使用するときは、キー入力で移動や選択を行う必要があります。

詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

パスワード



注意：DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などを書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要がある場合、**保証期間内でもドライブの交換は有償で承っております**のでご了承ください。

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したら、パスワードを書き留め、ノートブック コンピュータから離れた安全な場所に保管してください。

- 電源投入時パスワード（Power-on password）を忘れてしまった場合は、コンピュータを起動したりハイバネーションから復帰したりできなくなります。コンピュータをリセットする場合は、HPのサポート窓口にご依頼ください。
- HP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、[Computer Setup]にアクセスできなくなります。
- DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）だけを忘れてしまった場合は、master password（マスタ パスワード）を使用してDriveLockを解除できます。詳しくは、この章の「[DriveLock（ドライブロック）](#)」を参照してください。

HPパスワードとWindowsのパスワード

HPセキュリティ機能とWindowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能は、互いに独立しています。たとえば、[Computer Setup]で使用禁止にした装置をWindowsで使用可能にすることはできません。

また、HPパスワードとWindowsのパスワードは互いに独立しています。以下の表にHPパスワードとWindowsのパスワードの一覧を示し、それぞれの機能を説明します。

HPパスワード*	機能
管理者パスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、Windowsの管理者としてノートブックコンピュータにログオンするために使用します
DriveLock（ドライブロック）の master password（マスタ パスワード）	HP 管理者が、DriveLockによって保護されているドライブにアクセスするため、およびDriveLockによるドライブへの保護を解除するために使用します
DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）	ノートブック コンピュータの通常のユーザが、起動時にDriveLockによって保護されたドライブにアクセスするために使用します
HP管理者パスワード	[Computer Setup]にアクセスするために使用します
電源投入時パスワード（Power-on password）	起動時または再起動時にノートブック コンピュータにアクセスするために使用します
スマート カードのPIN	スマート カードを使用して認証を行うときに使用します
ユーザ パスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、ユーザとしてノートブックコンピュータにログオンするために使用します

*HPパスワードは[Computer Setup]で有効に設定する必要があります。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

Windowsのパスワード	機能
管理者パスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、Windowsの管理者としてノートブックコンピュータにログオンするために使用します
ユーザパスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、ユーザとしてノートブックコンピュータにログオンするために使用します

HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン

HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに代替できるものではありません。HPパスワードの入力画面ではHPパスワードを、Windowsのパスワードの入力画面ではWindowsのパスワードを使用する必要があります。たとえば、次のようになります。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) を設定した場合は、ノートブックコンピュータが起動するかハイバネーションから復帰するときに、Windowsのパスワードではなく電源投入時パスワードを入力する必要があります。
- スタンバイから復帰する前にパスワードの入力を要求するようにWindowsを設定した場合、スタンバイから復帰するには電源投入時パスワードではなくWindowsのパスワードを入力する必要があります。

以下の点を考慮すれば、HPパスワードとして使用する単語、文字列、または数字を、別のHPパスワードやWindowsのパスワードとして使用できます。

- HPパスワードは32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。
- HPパスワードは、設定したときと同じ種類のキーで入力する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHPパスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。内蔵テンキーについては、「[第3章 ポインティング デバイス およびキーボード](#)」の「[テンキー](#)」を参照してください。

HP管理者パスワード

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティ内のコンフィギュレーションの設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]ユーティリティで操作するにはパスワードの入力が必要になります。HP管理者パスワードには、次のような特徴があります。

- HP 管理者パスワードと Windows の管理者パスワードには、同じ単語、文字列、または数字を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHP管理者パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

HP管理者パスワードの設定

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティで設定、変更、または削除できます。パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[Security]**（セキュリティ設定）→ **[Administrator Password]**（管理者パスワード）の順に選択し、**[enter]**キーを押します。
 - ❑ HP 管理者パスワードを設定する場合は、パスワードを **[New Password]**（新しいパスワード）フィールドと **[Verify New Password]**（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、**[f10]**キーを押します。
 - ❑ HP 管理者パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを **[Old Password]**（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを **[New Password]** フィールドと **[Verify New Password]** フィールドに入力して、**[f10]**キーを押します。
 - ❑ HP 管理者パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを **[Old Password]** フィールドに入力して、**[f10]**キーを押します。
3. 設定を保存して **[Computer Setup]**を終了するには、矢印キーを使用して **[File]**（ファイル）→ **[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

HP管理者パスワードの入力

[Computer Setup]のパスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、**[enter]**キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード（Power-On Password）

電源投入時パスワードはノートブック コンピュータが不正に使用されることを防ぎます。パスワードの設定後は、コンピュータの電源投入時または再起動時に入力が必要になります。電源投入時パスワードには以下の特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じ種類のキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

電源投入時パスワードの設定

[Computer Setup]ユーティリティを使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、または削除できます。パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [Power-On password]（電源投入時パスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。
 - ❑ 電源投入時パスワードを設定する場合は、パスワードを[New Password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify New Password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。

- ❑ 電源投入時パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを[Old Password]（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを[New Password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify New Password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - ❑ 電源投入時パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを[Old Password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
3. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
- [Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力して[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

再起動時の電源投入時パスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびに電源投入時パスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Password options]（パスワードオプション）→[Require password on restart]（再起動時にパスワードを要求する）の順に選択します。
3. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。

4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→ [Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLock（ドライブロック）



注意：DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などを書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れてためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、**保証期間内でもドライブの交換は有償で承っております**のでご了承ください。

DriveLockは、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキングデバイス（一部のモデルのみ）や外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータに装着する必要があります。

DriveLockのパスワードには、user passwordとmaster passwordがあります。

- DriveLockによってプロテクトされているハードドライブにアクセスするには、user passwordまたはmaster passwordのどちらかが必要です。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user passwordやmaster passwordを削除できません。DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するには、master passwordが必要です。

- user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定する必要があります。master passwordは、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザが設定できます。
- user passwordとmaster passwordは、同じであってもかまいません。



電源投入時パスワード（Power-on password）とDriveLockパスワードの両方に同じパスワードを使用している場合、DriveLockでプロテクトされたハードドライブからノートブック コンピュータを起動すると、電源投入時パスワードとDriveLockパスワードの両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

DriveLockパスワードの設定



注意：DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまうと、ハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。



注意：システムのロックやデータの損失を防ぐため、ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前には、ノートブック コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせてコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択して、[f10]キーを押します。
6. プロテクトを有効にします。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[f10]キーを押します。
8. user passwordを[New Password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify New Password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
9. master passwordを[New Password]フィールドと[Verify New Password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
10. 選択したドライブに対するDriveLockのプロテクトを確定するには、確認用のフィールドに「DriveLock」と入力して、[f10]キーを押します。

11. DriveLockの設定を保存するには、[File] (ファイル) → [Save changes and exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockパスワードの入力

1. ドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。
2. DriveLockパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用してuser passwordまたはmaster passwordを入力し、[enter]キーを押します。
3. 2回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

再起動時のDriveLockパスワードの要求

ノートブックコンピュータを再起動するたびにDriveLockパスワードの入力を要求するよう、コンピュータを設定できます。[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[Security] (セキュリティ設定) → [Password options] (パスワード オプション) → [Require password on restart] (再起動時にパスワードを要求する) の順に選択します。
3. フィールドで有効または無効を選択して、[enter]キーを押します。

4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→ [Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockパスワードの変更



注意：データが失われたり、ノートブックコンピュータやハードドライブが損傷したりすることを防ぐため、ハードドライブを着脱する前に、コンピュータの電源を切ってください（ハードドライブとは、ハードドライブ ベイで使用するハードドライブのことです）。

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイパネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせてコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブックコンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [DriveLock passwords]（ドライブロック パスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[f10]キーを押します。

6. 矢印キーを使用して、変更するパスワードに対するフィールドを選択します。[Old Password] (古いパスワード) フィールドに現在使用しているパスワードを入力してから、[New Password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを入力して、[f10]キーを押します。
7. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save changes and exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源スイッチをコンピュータ前面の方向にスライドさせてコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
2. 別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ❑ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ❑ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter]キーを押します。

5. 矢印キーを使用して、プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択し、[F10]キーを押します。
6. プロテクションフィールドを無効にして、[F10]キーを押します。
7. [Old Password] (古いパスワード) フィールドにmaster passwordを入力し、[F10]キーを押します。
8. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save changes and exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

デバイス セキュリティ

[Computer Setup]の[Device Security] (デバイス セキュリティ) で、ほとんどのポートおよびドライブを使用禁止または部分的に使用禁止にできます。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[F10]キーを押します。
 - ❑ 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ❑ ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。
2. [Security] (セキュリティ設定) →[Device Security]の順に選択し、装置の有効/無効を設定します。
3. 設定を確定するには、[F10]キーを押します。
4. 設定を保存するには、[File] (ファイル) →[Save changes and exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

システム情報

システム情報の設定では、お使いのノートブック コンピュータおよびバッテリー パックについての詳細情報が表示されます。以下の項では、他のユーザがシステム情報を表示させることを防ぐ方法、および [Computer Setup] でシステム情報のオプションを設定する方法について説明します。

[システム情報] オプションでは、次の作業を行うことができます。

- ノートブック コンピュータのシリアル番号、アセット タグ (Asset Tag)、およびオーナーシップ タグ (Ownership Tag) の表示または入力
- バッテリー パックのシリアル番号の表示



この情報への不正なアクセスを防ぐには、HP 管理者パスワードを作成する必要があります。詳しくは、この章の「[HP 管理者パスワードの設定](#)」を参照してください。

[システム情報] オプションの設定

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。
2. 以下の手順に従って、選択した設定値にアクセスするか、値を設定します。
 - ☐ システム情報全般を表示する場合は、[File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。
 - ☐ システム コンポーネントの識別番号を表示または入力する場合は、[Security] (セキュリティ設定) → [System ID] (システム ID) の順に選択します。
3. 情報または設定を確定するには、[f10] キーを押します。

4. 情報または設定を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

ファイアウォール ソフトウェア

電子メール、ネットワーク、またはインターネットにアクセスするためにノートブックコンピュータを使用する場合、第三者がユーザ、お使いのコンピュータ、およびデータに関する情報を取得する可能性があります。プライバシーを保護するため、ファイアウォールソフトウェアを使用することをお勧めします。

お使いのノートブックコンピュータでは、Windowsオペレーティングシステムのファイアウォールが利用できます。このファイアウォールについて調べるには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windowsファイアウォール]の順に選択します。
2. [全般]タブを選択します。
 - ☐ Windowsファイアウォールについて詳しくは、[Windowsファイアウォールのその他の詳細]リンクを選択してください。
 - ☐ Windowsファイアウォールを無効にするには、[無効]を選択します（お勧めしません）。
 - ☐ Windowsファイアウォールを再び有効にするには、[有効]を選択します（お勧めします）。
3. [OK]を選択します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタまたはファイルの共有を妨害したり、承認済みの形式の電子メール添付ファイルを開けなくしたりすることがあります。Windows ファイアウォールを使用しており、アプリケーションがノートブック コンピュータに初めて着信接続を試みる場合は、セキュリティに関する警告が表示されます。この警告では、アプリケーションへのファイアウォールによるアクセス許可を設定できます。

- アプリケーションのノートブック コンピュータへの接続を許可する場合は、**[ブロックを解除する]**を選択します。(アプリケーションが**[例外]**タブのリストに追加され、Windows ファイアウォールによってブロックされなくなります。)
- アプリケーションを常にブロックする場合は、**[ブロックする]**を選択します。(Windows ファイアウォールにより、アプリケーションが接続しようとするたびにブロックされます。)
- アプリケーションを一時的にブロックする場合は、**[後で確認する]**を選択します。(次回アプリケーションがノートブック コンピュータに接続しようすると、セキュリティ警告が表示されます。)

アプリケーションがファイアウォールによってブロックされないように、手動で**[例外]**タブのリストに追加するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[Windows ファイアウォール]**の順に選択します。
2. **[例外]**タブを選択します。
3. **[プログラムの追加]**を選択し、アプリケーションに関する必要な情報を入力します。
4. **[OK]**を選択します。(アプリケーションが**[例外]**タブのリストに追加され、Windows ファイアウォールによってブロックされなくなります。)

オプションのファイアウォールを使用している場合に、ブロックされているアプリケーションに接続するには、以下の操作を行います。

- 一時的に問題を解決するには、ファイアウォールを無効にし、タスクを実行してから再びファイアウォールを有効にします。
- 永続的に問題を解決するには、ファイアウォールを再設定します。ファイアウォールのマニュアルを参照するか、ファイアウォールの提供元にお問い合わせください。

Windows XPの緊急セキュリティ アップデート

ノートブック コンピュータが構成された後で提供が始まったアップデートは、Critical Security Updates for Windows XPディスクに収録されてコンピュータに付属していることがあります。コンピュータの使用期間中を通して、Microsoft社ではオペレーティングシステムのアップデートを行い、それらをMicrosoft社のWebサイト上で配布していきます。

Critical Security Updates for Windows XPディスクを使用してシステムをアップデートするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをドライブに挿入します。(自動的にディスクのインストールアプリケーションが実行されます。)
2. 画面上の指示に従って、すべてのアップデートをインストールします。(インストールが完了するまで数分お待ちください。)
3. ディスクを取り出します。



注意: 日々新しいコンピュータ ウィルスが検出されるため、Microsoft社から通知があった場合は直ちにすべての緊急アップデートをインストールすることをお勧めします。また、Windows Updateは毎月実行し、Microsoft社およびHPが提供する最新の推奨アップデートおよびドライバアップデートをインストールしてください。

HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ (一部のモデルのみ)

お使いのノートブック コンピュータには、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャがプリインストールされています。このソフトウェアには、Microsoft Windowsの[コントロール パネル]からアクセスできます。このソフトウェアが提供するセキュリティ機能は、コンピュータ本体、ネットワーク、および重要なデータを不正なアクセスから保護するのに役立ちます。HP ProtectToolsセキュリティ マネージャのアドオン モジュールには、以下のものが含まれます。

- Embedded Security for ProtectTools
- Credential Manager for ProtectTools
- BIOS Configuration for ProtectTools

ノートブック コンピュータのモデルによって、アドオン モジュールがプリインストールまたはプリロードされている場合と、HPのWebサイトからダウンロードする場合があります。詳しくは、<http://www.hp.com/jp>にアクセスしてください。

Embedded Security for ProtectTools



Embedded Security for ProtectToolsを使用するためには、オプションの内蔵セキュリティ チップが必要です。

Embedded Security for ProtectToolsのセキュリティ機能を使用して、ユーザ データや証明書を不正なアクセスから保護することができます。データや証明書には、以下のものが含まれます。

- 管理者の機能（管理者パスワードのオーナーシップや管理など）
- ユーザの機能（ユーザ パスワードの登録や管理など）
- 設定情報（ユーザ データを保護するための、高度なMicrosoft EFSおよびPersonal Secure Driveのセットアップを含む）
- マネジメント機能（キー階層のバックアップや復元など）
- 内蔵セキュリティ使用時にデジタル認証の操作を保護する、他社製のアプリケーション（Microsoft OutlookやInternet Explorerなど）のサポート

オプションの内蔵セキュリティ チップを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャの他のセキュリティ機能を強化したり有効にしたりできます。たとえば、Credential Manager for ProtectToolsでは、内蔵チップを Windowsへのログオン時の認証要素として使用できます。一部のモデルでは、BIOS Configuration for ProtectToolsからアクセスする高度なBIOSセキュリティ機能を、内蔵セキュリティ チップを使用して有効にすることもできます。

詳しくは、Embedded Security for ProtectToolsのオンライン ヘルプまたは『HP ProtectTools内蔵セキュリティ ガイド』を参照してください。

Credential Manager for ProtectTools

Credential Manager for ProtectToolsでは、ノートブック コンピュータへの不正なアクセスに対するセキュリティ機能を提供します。セキュリティ機能には、以下のものが含まれます。

- Microsoft Windowsへのログオン時のパスワードに代わる、スマートカードなどの使用
- Webサイト、アプリケーション、および保護されたネットワーク リソースでの証明書を自動的に記憶するシングルサインオン機能
- スマート カードおよび指紋認証機能などの、オプションのセキュリティ デバイスのサポート

詳しくは、Credential Manager for ProtectToolsのオンライン ヘルプを参照してください。

BIOS Configuration for ProtectTools

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用すると、HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ アプリケーション内のBIOSのセキュリティ設定にアクセスできます。これにより、システムBIOSが管理するシステムのセキュリティ機能に、より簡単にアクセスできるようになります。

BIOS Configuration for ProtectToolsを使用して、次のことができます。

- 電源投入時のユーザ パスワードおよび管理者パスワードの管理
- スマート カード パスワードおよび電源投入時パスワードなどの、ブート前の認証機能の設定
- ハードウェアの機能の有効化または無効化（CD-ROMのブート機能の有効化など）
- ブート オプションの設定（メイン ハードドライブ以外のドライブからのブートの無効化など）



BIOS Configuration for ProtectToolsの機能の多くは、[Computer Setup]でも使用できます。詳しくは、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

詳しくは、BIOS Configuration for ProtectToolsのオンライン ヘルプを参照してください。

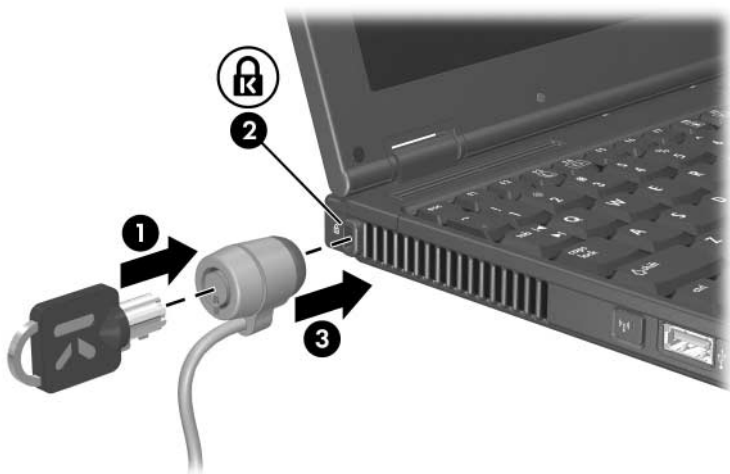
別売のセキュリティ ロック ケーブル



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

セキュリティ ケーブルを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 安定した固定物にセキュリティ ケーブルを巻き付けます。
2. 鍵①をケーブル ロック②に差し込みます。
3. ケーブル ロックをセキュリティ ロック ケーブル用スロットに差し込み③、鍵を回転させてケーブル ロックを固定します。



[Computer Setup]

[Computer Setup]は、プリインストールされたROMベースのユーティリティで、オペレーティング システムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。オペレーティング システムが動作している場合は、[Computer Setup]を終了すると、オペレーティング システムが再起動されます。



[Computer Setup]ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。



[Computer Setup]では、USBレガシー サポート機能が有効な場合にのみUSB接続された外付けキーボードを使用できます。USBについて詳しくは、「[第9章 USBデバイス](#)」を参照してください。

この章の後の方にあるメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示しています。

[Computer Setup]へのアクセス

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Tools]（ツール）、[Advanced]（詳細設定）の4つのメニューからアクセスできます。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
 - ☐ [Computer Setup]の初期メニューに戻るには、[esc]キーを押します。
2. [File]、[Security]、[Tools]、または[Advanced]メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - ☐ 設定を保存せずに終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore changes and exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。
 - ☐ 入力した設定を保存してから終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save changes and exit]（設定を保存して終了）の順に選択してから、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]のデフォルト設定

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。




1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[File]（ファイル）→[Restore defaults]（デフォルトに設定）の順に選択します。
3. [Restore Defaults]（デフォルト設定）を選択します。
4. 復元を確定するには、[f10]キーを押します。
5. [File]→[Save changes and exit]（設定を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動すると、工場出荷時の設定が復元され、ユーザが入力した識別情報は保存されます。

[File]（ファイル）メニュー

項目	設定内容
System Information （システム情報）	<ul style="list-style-type: none">■ ノートブック コンピュータおよびバッテリーパックについての識別情報を表示します■ プロセッサ、メモリ、キャッシュ サイズ、ビデオのリビジョン、キーボードコントローラのバージョン、およびシステムROMについての仕様情報を表示します
Save to floppy （フロッピーディスクに保存）	フロッピーディスクにシステム コンフィギュレーション設定を保存します
Restore from floppy （フロッピーディスクから復元）	フロッピーディスクからシステム コンフィギュレーションをリストア（復元）します
Restore defaults （デフォルトに設定）	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します（識別情報は失われません）
Ignore changes and exit （設定を変更せずに終了）	現在までに行った変更をキャンセルします。次に [Computer Setup] を終了し、ノートブック コンピュータを再起動します
Save changes and exit （設定を保存して終了）	現在までに行った変更を保存します。次に [Computer Setup] を終了して、ノートブック コンピュータを再起動します。保存した変更は、コンピュータが再起動されると有効になります

[Security]（セキュリティ設定）メニュー

選択する項目	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	HP 管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワード (Power-on password) を入力、変更、または削除します
Password options (パスワード オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 厳重なセキュリティを有効/無効にします ■ 再起動時に要求されるパスワードを有効/無効にします
DriveLock passwords (ドライブロック パスワード)	<p>DriveLock (ドライブブロック) を有効/無効にします。ドライブロックの user password (ユーザ パスワード) または master password (マスタ パスワード) を変更します</p> <p> ノートブック コンピュータを再起動するのではなく、電源を入れて [Computer Setup] を開いた場合にのみ、DriveLock の設定値にアクセスできます</p>
Smart Card Security (スマート カード セキュリティ)	<p>起動時のスマート カードのサポートを有効/無効にします</p> <p> この機能は一部のスマート カード リーダーでのみサポートされます</p>
Embedded Security (内蔵セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵セキュリティ チップを有効/無効にします ■ 内蔵セキュリティ チップを工場出荷時設定に復元します ■ 起動時の認証サポートを有効/無効にします ■ 自動 DriveLock を有効/無効にします ■ 起動時の認証資格情報をリセットします <p> [Embedded Security] の設定には、ノートブック コンピュータにセキュリティ チップが内蔵されている場合にのみアクセスできます</p>
Device security (デバイス セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ システムのデバイスを有効/無効にします ■ マルチブートに NIC を含める設定を有効にします
System IDs (システム ID)	ユーザ定義の識別値を入力します

[Tools] (ツール) メニュー

項目	設定内容
HDD Self-Test options (ハードディスク セルフテスト オプション)	システム内の任意のハードドライブに高速自己診断テストを実行します
Battery Information (バッテリー情報)	ノートブック コンピュータに取り付けられている 任意のバッテリー パックの情報を表示します
Memory Check (メモリ チェック)	<ul style="list-style-type: none">■ ノートブック コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの自己診断テストを実行します■ ノートブック コンピュータに取り付けられているメモリ モジュールの情報を表示します

[Advanced]（詳細設定）メニュー

項目	設定内容
Language（言語） （または[F2]キーを押す）	[Computer Setup]ユーティリティの使用言語を変更します
Boot options （ブート オプション）	<ul style="list-style-type: none"> ■ MultiBoot（マルチブート）を有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスとメディアの起動順序を設定します。詳しくは、このガイドの「付録B マルチブート」を参照してください ■ ブート順序を設定します
Device options （デバイス オプション）	<ul style="list-style-type: none"> ■ [fn]キーと左側の[ctrl]キーの機能を入れ替えます ■ 起動時に複数のポインティング デバイスを有効/無効にします（通常標準ではないポインティング デバイスを、起動時に1つだけ有効にする場合は、[Disable]を選択します） ■ USB対応キーボード、マウス、およびハブをサポートするUSBレガシー サポート機能を有効/無効にします。このUSBレガシー サポート機能を有効にすると、次のことが可能になります <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Windowsオペレーティング システムがロードされなくてもUSB対応キーボード、マウス、およびハブを使用できます <input type="checkbox"/> ブート可能なハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ内のフロッピーディスク、またはノートブック コンピュータが別売のドッキング デバイスにUSBコネクタで接続されたドライブに挿入されているCD、CD-RW、またはDVDからコンピュータを起動することができます ■ パラレル ポートのモードを、EPP（Enhanced Parallel Port）モード、標準モード、双方向モード、またはECP（Enhanced Capabilities Port）モードから選択します ■ SpeedStep ウィンドウ内のすべての設定値を有効/無効にします（無効に設定した場合は、ノートブック コンピュータがバッテリーに合わせたパフォーマンス モードで動作します）

ソフトウェアの更新と修復

ソフトウェアの更新

ノートブック コンピュータの性能を最大限に活用するために、またお使いのコンピュータを技術革新に対応させていくためには、常に最新のHPソフトウェアをインストールしておくことをお勧めします。

HPソフトウェアを更新するには、以下の手順で操作します。

1. 更新する前に、お使いのノートブック コンピュータの種類、シリーズ名またはファミリー名、およびモデルを確認しておきます。この章の「[ノートブック コンピュータ情報へのアクセス](#)」を参照してください。システムROMを更新する前に、お使いのコンピュータに現在インストールされているROMのバージョンを[Computer Setup]ユーティリティで確認しておきます。
2. HPのWebサイトにある更新情報にアクセスします。
3. 最新ソフトウェアをダウンロードし、インストールします。



ノートブック コンピュータのシステムROMには、BIOSが格納されています。BIOSは、コンピュータのハードウェアがオペレーティング システムおよび外付けデバイスとやり取りする方法を決定し、日時などのコンピュータのサービスもサポートします。



お使いのノートブック コンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にシステムROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

ノートブック コンピュータ情報へのアクセス

ノートブック コンピュータの更新情報にアクセスするには、以下の情報が必要になります。

- 製品カテゴリは、「ノートブック コンピュータ」です。
- 製品のファミリー名およびシリーズ番号は、ディスプレイ パネルの右下隅に記載されています。
- モデル情報は、ノートブック コンピュータの裏面にあるシリアル番号のラベルに記載されています。

提供されている最新ROMに、お使いのノートブック コンピュータに現在インストールされているROMのバージョンよりも新しいものが含まれているかどうかを確認するには、現在インストールされているシステムROMのバージョンを確認する必要があります。

[Computer Setup]でROMの情報を表示するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. [File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。(システムROMの情報が表示されます。)
3. 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore changes and exit] (設定を変更せずに終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。([Computer Setup]が終了すると、ノートブック コンピュータが再起動されます。)

[Computer Setup]の使用方法については、「[第13章 \[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

インターネット上のソフトウェア

HPのWebサイトでは、ほとんどのソフトウェアを「SoftPak」という名前の圧縮ファイルで提供しています。一部の最新ROMは、「ROMPak」という名前の圧縮ファイルで提供しています。

ほとんどのダウンロード パッケージには、Readme.txt という名前のファイルが含まれています。Readme.txt ファイルには、ダウンロードについての詳しい説明と、ファイルのインストールおよび問題解決のための情報が記載されています。

システムROMのダウンロード



注意: インストールに失敗しないために、ACアダプタを使用して安定した外部電源にノートブック コンピュータを接続しているときにのみ、システムROMのダウンロードおよびインストールを行ってください。コンピュータをバッテリー電源で動作させている、別売のポート リプリケータに接続している、または別売の電源に接続しているときには、システムROMのダウンロードおよびインストールを行わないでください。ダウンロードおよびインストール中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ACコンセントからノートブック コンピュータの電源コードを抜かないでください。
- ノートブック コンピュータの電源を切らないでください。
- ドライブを着脱しないでください。

システムROMをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリー、機種、オペレーティング システム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。

4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。
5. ダウンロードが完了したら、Windows エクスプローラを起動し、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行します。
6. インストールを完了するには、画面の指示に従って操作します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージを削除できます。

その他のソフトウェアのダウンロード

その他のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. ノートブックを選択します。
3. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリー、機種、オペレーティング システム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
4. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。
5. ダウンロードが完了したら、Windows エクスプローラを起動し、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行します。
6. インストールを完了するには、画面の指示に従って操作します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージを削除できます。

システムの復元

ノートブック コンピュータのシステムの復元プロセスには、システムの機能を復元するためのいくつかの方法があります。Application and Driver Recovery ディスクおよびオペレーティング システム ディスクを使用すると、個人データを失わずにコンピュータを復元または修復できます。また、オペレーティング システム ディスクを使用して、コンピュータに付属のオペレーティング システム ソフトウェアを再インストールすることもできます。



最高の結果を得るため、次の操作を順番通りに実行してノートブック コンピュータの機能を最適な状態に復元するようにしてください。

データの保護

ノートブック コンピュータに追加されたソフトウェアまたはデバイスによって、システムが不安定になる場合があります。文書を保護するため、個人ファイルを[マイ ドキュメント]フォルダに保存し、定期的に[マイ ドキュメント]のバックアップ コピーを作成するようにしてください。

Altiris Local Recovery

Altiris Local Recoveryを使用すると、コンピュータ上のファイルを複製することで、これらのファイルを保護します。複製されたファイルはスナップショットと呼ばれます。コンピュータ上のファイルが誤って削除されたり破損したりしても、簡単にファイルを復元できます。また、ファイルシステム全体を以前の状態に戻すこともできます。

Altiris Local Recoveryでは、復元用の隠しパーティションにバックアップを作成することによりファイルが保護されます。このソフトウェアをインストールすると**[Recovery Agent Partition Wizard]** (Recovery Agentパーティションウィザード) が表示され、画面上の説明に従って操作すると復元用パーティションを作成できます。パーティションが作成されると、ノートブック コンピュータが再起動して最初のスナップショットが作成されます。スナップショットの作成後にコンピュータが再起動し、Windows上での復元を行うためのスナップショットが作成されます。

Local Recoveryのインストール時には、スナップショットが定期的に自動作成されるよう、スケジュールがデフォルトで設定されています。スナップショットの作成スケジュールは変更できます。詳しくは、Altiris Local Recoveryのヘルプを参照してください。

スナップショットには、**[Altiris Recovery Agent]** フォルダからアクセスできます。デスクトップの**[Altiris Recovery Agent]** アイコンを右クリックして**[開く]** を選択します。フォルダ内のスナップショットの状態に復元するには、使用するスナップショットを選択して、そのファイルをハードドライブ上の該当する場所にドラッグします。

Altiris Local Recoveryの設定方法および使用方法について詳しくは、HPのWeb サイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy> (英語サイト) を参照するか、ソフトウェアを起動してメニュー バーの**[Help]** (ヘルプ) を選択してください。

[システムの復元]ポイントの使用

Windows XPオペレーティングシステムで動作しているノートブックコンピュータでは、個人設定を変更するたびに、毎日**[システムの復元]**ポイント（チェックポイント）が設定されます。さらに、新しいソフトウェアやデバイスを追加したときにも復元ポイントが設定されます。コンピュータが最適なパフォーマンスで機能しているとき、および新しいソフトウェアやデバイスをインストールする前に、システムの復元ポイントを定期的に設定する必要があります。これによって、問題が発生した場合に、以前の構成の復元ポイントまで戻すことができます。

システムの復元ポイントを設定するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。
2. **[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]**を選択します。
3. **[システムの復元]**を選択します。
4. **[復元ポイントの作成]**を選択し、画面の指示に従って操作します。

ノートブックコンピュータを正常に機能していた当時の日時に復元するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。
2. **[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]**を選択します。
3. **[システムの復元]**を選択します。
4. **[コンピュータを以前の状態に復元する]**を選択し、画面の指示に従って操作します。

アプリケーションの修復または再インストール

ノートブック コンピュータにプリインストールまたはプリロードされているアプリケーションはすべて、Application and Driver Recoveryディスクを使用して修復または再インストールできます。



オペレーティング システムを再インストールしていない場合、一部のプリロードされているアプリケーション ([Software Setup]ユーティリティからインストールできるものなど) はハードドライブからも修復または再インストールできます。

アプリケーションを再インストールすると、アプリケーション内の壊れたシステム ファイルが修復されるか置き換えられ、アプリケーション内の削除されたシステム ファイルが再インストールされます。

- ほとんどの場合、修復または再インストールするアプリケーションがまだノートブック コンピュータにインストールされている状態で再インストールを実行しても、アプリケーション内の設定には影響しません。
- アプリケーションがノートブック コンピュータから削除された状態で再インストールを実行すると、そのアプリケーションまたはユーティリティは必ず工場出荷時の状態で再インストールされます。

ハードドライブからのアプリケーションの再インストール

プリロードされているアプリケーションまたはユーティリティをハードドライブから再インストールするには、次の操作を行います。

- » [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択し、画面の指示に従って操作します。再インストールするソフトウェアを選択するよう指示されたら、該当するチェック ボックスをオンまたはオフにします。

オペレーティング システムの修復

個人データを失わずにオペレーティング システムの修復を実行するには、ノートブック コンピュータに付属のオペレーティング システム ディスクを使用します。

1. 別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIをノートブック コンピュータに接続します。
2. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
3. すぐに、オペレーティング システム ディスクを別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIのオプティカル ドライブに挿入します。
4. ノートブック コンピュータを再起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。(数分後に、セットアップ ウィザードが表示されます。)



[セットアップ]画面では、手順6および手順7の操作が完了するまで、[R]キー(手順8で押すキー)を押さないでください。

6. [enter]キーを押して先に進みます。([ライセンス契約]画面が表示されます。)
7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。([セットアップ]画面が表示されます。)
8. 選択したWindowsインストールを修復するには、[R]キーを押します。(修復プロセスが開始されます。このプロセスの実行には最大2時間程度かかります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。)

オペレーティング システムの再インストール



注意:個人データがすべて失われることを防ぐため、データのバックアップ コピーを作成してから、オペレーティング システムを再インストールしてください。オペレーティング システムの再インストール中に、個人データやノートブック コンピュータにインストールしたソフトウェアは失われます。

他の復元作業でノートブック コンピュータを正しく修復できなかった場合は、オペレーティング システムを再インストールします。

オペレーティング システムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. 別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIをノートブック コンピュータに接続します。
2. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
3. すぐに、オペレーティング システム ディスクを別売の外付けマルチベイまたはマルチベイIIのオプティカル ドライブに挿入します。
4. ノートブック コンピュータを再起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、ディスクから起動します。(数分後に、セットアップ ウィザードが表示されます。)
6. **[enter]**キーを押して先に進みます。(「**ライセンス契約**」画面が表示されます。)
7. **[f8]**キーを押して契約書に同意し、先に進みます。(「**セットアップ**」画面が表示されます。)
8. **[esc]**キーを押して、修復ではなくオペレーティング システムの新規インストールを続行します。
9. **[enter]**キーを押して、オペレーティング システムをセットアップします。
10. **[C]**キーを押し、このパーティションを使用してセットアップを続行します。

11. [NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット (クイック)] を選択して、[enter] キーを押します。



注意: このドライブをフォーマットすると、現在のすべてのファイルが削除されます。

12. [F] キーを押して、ドライブをフォーマットします。再インストールのプロセスが開始されます。このプロセスの実行には最大2時間程度かかることがあります。プロセスの完了後、Windows が再起動します。

デバイス ドライバとその他のソフトウェアの再インストール

オペレーティング システムのインストール プロセスが完了したら、ドライバを再インストールする必要があります。

ノートブック コンピュータに付属の Application and Driver Recovery ディスクを使用してドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. Windows を実行している時に、Application and Driver Recovery ディスクを別売の外付けマルチベイまたはマルチベイ II のオプティカル ドライブに挿入します。

自動実行を有効にしていない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。次に、「D:\\$SWSETUP\APPINSTL\SETUP.EXE」と入力します。D はオプティカル ドライブを示します。

2. 画面の指示に従って、ドライバをインストールします。

ドライバを再インストールした後、ノートブック コンピュータに追加していたすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。ソフトウェアに付属のインストール手順に従って操作します。

ノートブック コンピュータの手入れ



警告：感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、ノートブック コンピュータのキーボードに液体をかけないでください。



注意：ディスプレイの損傷を防ぐため、ノートブック コンピュータをキャリング ケースに入れているときでも、上に物を乗せないでください。



注意：過熱を防ぐため、通気孔はふさがらないでください。通気を妨げる恐れがありますので、隣にプリンタなどの表面の硬いものを設置したり、布類や絨毯などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。

お使いのノートブック コンピュータは、耐久性を備えた製品として設計されています。コンピュータのパフォーマンスを維持し、長くお使いいただくために、次のガイドラインに従ってください。

- ノートブック コンピュータを持ち運ぶときは、携帯用のキャリング ケースに保管してください。
- Zipディスクおよび着脱式のモジュラ ディスク ドライブを、磁気を発するものから遠ざけます。誤って近づけると、データが消去される場合があります。
- ノートブック コンピュータおよびキーボードに液体を垂らしたり、湿気にさらしたりしないでください。有償の修理が必要になる場合があります。

- ノートブック コンピュータを直射日光や紫外線が当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所に長時間放置しないでください。
- ノートブック コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、内部コンポーネントを冷やすために通気孔が確保されるようにしてください。
- 1週間以上コンピュータを使用しないときは、ノートブック コンピュータの電源を切っておきます。
- 2週間以上ノートブック コンピュータを外部電源から切断しておくときは、以下の操作を行います。
 - ノートブック コンピュータをシャットダウンします。
 - バッテリー パックをすべて取り出し、涼しく乾燥した場所に保管します。

温度



警告：ユーザが健康を損なったり火傷したりする恐れがありますので、通気孔をふさいだり、長時間ひざの上でノートブック コンピュータを使用したりしないでください。お使いのコンピュータは、パフォーマンスを最大限発揮した状態で、要件の多いアプリケーションを動作させることができるように設計されています。多量の電力を消費するため、通常、長時間使用するとコンピュータ内の温度が上昇します。お使いのコンピュータは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

清掃



警告: ノートブック コンピュータやそのコンポーネントを清掃する場合は、感電を防ぐため、必ず電源から切り離し、周辺機器を取り外してから行ってください。



警告: ノートブック コンピュータが完全に機能しなくなる恐れがありますので、ディスプレイ、キーボード、またはコンピュータ表面に液体をかけないでください。

キーボード

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの下や周囲に空気を吹き付ける方法が最適です。





注意：キーボードが完全に機能しなくなることを防ぐため、キーボードの清掃には、どのような液体も使用しないでください。家庭で出るごみくずがキーボードの表面にかかる恐れがありますので、家庭用掃除機等でキーボードを清掃しないでください。

ディスプレイ



注意：ノートブック コンピュータが機能しなくなる恐れがありますので、水、クリーニング液、または化学薬品をディスプレイにかけないでください。

汚れやほこりを取り除くため、糸くずの出ない、軽く湿らせた柔らかい布を使って定期的にディスプレイを清掃します。汚れが落ちにくい場合は、静電気防止の画面用クリーナや軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布を使用します。

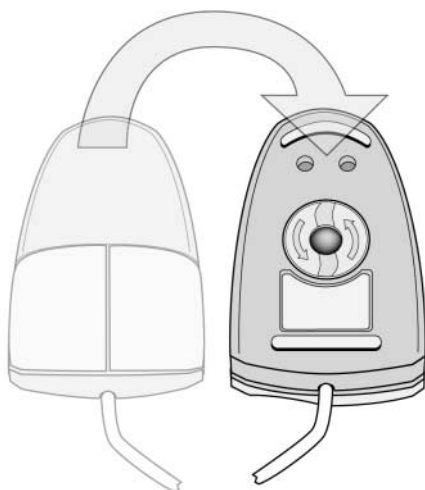
タッチパッド

タッチパッドに脂やごみが付着していると、カーソルが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、ノートブック コンピュータを使用するときは手をよく洗い、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃します。

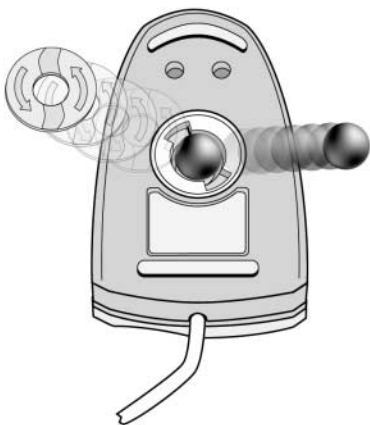
外付けマウス

外付けマウスを定期的に清掃しておく、動きが非常に良くなり、マウス ポインタを最適に制御できるようになります。外付けマウスを清掃するには、以下の手順で操作します。

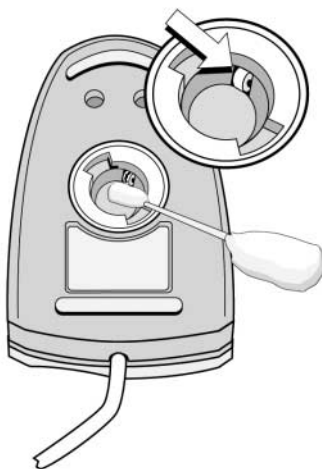
1. マウスを裏返し、円形の蓋を反時計回りに6 mm程度回転させて取り外します。通常、マウスの裏面には、蓋を回転させる方向を示す矢印が記されています。



2. マウスからボールを取り出して、静電気防止の拭き取り用の布や糸くずの出ない清潔な綿の布で清掃します。



3. 圧縮空気をマウスの内側に吹き付けるか、けば立たない綿棒を使って、マウスの内側のごみくずやほこりを取り除きます。



4. ボールと円形の蓋を元に戻します。

持ち運びおよび送付

持ち運びおよび送付の準備

お使いのノートブック コンピュータを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の準備を行います。

1. データのバックアップを作成します。
2. すべての外付けデバイスの電源を切り、コンピュータ本体から取り外します。
3. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 2週間以上ノートブック コンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリー パックを取り外し、涼しく乾燥した場所に保管してください。
5. ノートブック コンピュータを荷物として送る場合は、購入時の梱包箱または同様の頑丈な箱にコンピュータと外付けデバイスを入れ、保護材を十分に詰めてから梱包し、「コワレモノー取り扱い注意」などのラベルを貼付します。

持ち運びの際の注意

- データのバックアップ コピーの予備を1部作成して、持参してください。バックアップはノートブック コンピュータと別の場所に保管してください。
- 飛行機に乗る場合などは、ノートブック コンピュータを他の荷物と一緒に預けず、手荷物として持ち運んでください。

- ノートブック コンピュータやフロッピーディスクが磁気の影響を受けることがないように注意してください。
- 手荷物をのせるベルト コンベア タイプの金属探知器はX線を使用しているので、ノートブック コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することはありません。
- 歩いてくぐり抜けるタイプおよび検査員が手に持って押し当てるタイプの金属探知器は磁気を使用しているので、ノートブック コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することがあります。
- 機内でノートブック コンピュータを使用する場合は、使用できるかどうかを航空会社にあらかじめ確認してください。航空会社によっては、機内でのコンピュータの使用が制限されることがあります。
- お使いのノートブック コンピュータにGPRSマルチポート モジュールなどのGSM装置が装備されている場合は、飛行機に搭乗する前にGSM装置の電源を切り、機内でコンピュータを使用する際にも電源を切ったままにしておいてください。
- ノートブック コンピュータを持って国外へ旅行する場合は、次の情報を参照してください。



警告：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、コンピュータを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。

- 滞在する国に適応した電源コードを、滞在する国のHP製品販売店で購入してください。電源コードは、各国の規格に合ったものを使う必要があります。サポートを受ける場合は、製品に付属の『保証規定』を参照してサポート窓口にお問い合わせください。日本以外の国や地域については製品に付属の冊子『Worldwide Telephone Numbers』を参照してください。
- 滞在先の国の通関手続きを確認してください。

作業環境

次の表には、ノートブック コンピュータを苛酷な環境で使用する場合に役立つ、作業環境に関する情報を記載します。

動作保証温度	
動作時（通常）	0～35°C
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5～35°C
非動作時	–20～60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
最大標高（非与圧）	
動作時（14.7～10.1 psia）	–15～3,048 m
非動作時（14.7～4.4 psia）	–15～12,192 m

定格入力電源

ここで説明する電源の情報は、ノートブック コンピュータを国外で使用する場合に役立ちます。

ノートブック コンピュータは、AC電源またはDC電源から供給されるDC電力で動作します。コンピュータは単独のDC電源で動作しますが、コンピュータの電力供給には、HPコンピュータ用に提供されているまたは認可されているACアダプタまたはDC電源コードのみを使用することを強くお勧めします。

お使いのノートブック コンピュータは、以下の仕様のDC電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧	18.5 V DC (3.5 A、65 Wの場合)
動作電流	3.5 A

マルチブート

ブート可能なメディアまたはNIC（ネットワーク インタフェース カード）には、ノートブック コンピュータの正常な起動および動作に必要なファイルが収められています。マルチブート ユーティリティ（デフォルトで無効に設定されています）を使用すると、デバイスを識別したり、コンピュータの起動時にそのデバイスからブートする順序を制御したりできます。

ブート可能なデバイスには、CDやDVDなどのオプティカル ドライブ ディスク、ブート可能なフロッピーディスク、NICなどがあります。



USBデバイスやNICなど一部のデバイスは、ブート シーケンスに含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。詳しくは、この付録の「[\[Computer Setup\]でのブート可能なデバイスの設定](#)」を参照してください。

デフォルトのブート シーケンス

デフォルトでは、システムにブート可能なデバイスが複数ある場合、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスとその場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

ブートのたびに、まずブート可能なAドライブのデバイスが検索されます。検出されない場合は、ブート可能なCドライブのデバイスが検索されます。Aドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやフロッピーディスク ドライブが含まれます。Cドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやメイン ハードドライブが含まれます。

メイン ハードドライブはCドライブとしてのみブート可能です。NICにはドライブ名が割り当てられていません。



オプティカル ドライブ デバイス (CD-ROMドライブなど) はCDの形式により、AドライブまたはCドライブとしてブートできます。ほとんどのブート可能なCDは、Aドライブとしてブートします。CDがCドライブとしてブートする場合は、CDより先にフロッピーディスクドライブがブートします。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスまたは場所を特定の順番で検索することによって起動デバイスを選択します。

マルチブートを有効にして新しいブート シーケンス (「ブート順序」とも呼ばれます) を入力すれば、ブートするメディアまたはデバイスの検索順序を変更することができます。また、MultiBoot Expressを使用すれば、ノートブック コンピュータを起動または再起動するたびにブート場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

以下に、デフォルトでドライブ番号が割り当てられる順序の一覧を示します。実際のブートシーケンスは、コンフィギュレーションによって異なります。

- Aドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブートシーケンスは次のとおりです。
 - a. Aドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 - b. 別売のドッキング デバイスまたは外付けマルチベイ内のフロッピーディスク ドライブ
- Cドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブートシーケンスは次のとおりです。
 - a. Cドライブとして起動するディスクが挿入された、別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 - b. ノートブック コンピュータのメイン ハードドライブ ベイ内のハードドライブ
 - c. 別売のドッキング デバイスのマルチベイまたは外付けマルチベイ内のハードドライブ



NICにはドライブ名が関連付けられていないため、NICのブート順序を変更しても他のデバイスのドライブ名には影響しません。

[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの設定

デバイスがマルチブートに含まれるように指定されている場合にのみ、USBデバイスまたはNICからノートブック コンピュータを起動できます。

デバイスまたは場所をマルチブートに含めるには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. USBドライブ内または別売のドッキング デバイスに取り付けられたドライブ内のブート可能なメディアを有効にするには、矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）→[Device options]（デバイス オプション）の順に選択し、[USB legacy support]（USBレガシー サポート機能）を[Enable]（有効）に設定します。

または

NICを有効にするには、[Security]（セキュリティ設定）→[Device security]（デバイス セキュリティ）の順に選択して、[Internal Network adapter boot]（内蔵ネットワーク アダプタ ブート）を[Enable]（有効）に設定します。

3. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。



マルチブートを使用せずに起動時にPXE (Preboot eXecution Environment) サーバまたはRPL (Remote Program Load) サーバにNICを接続するには、画面の右下隅に[Network Service Boot] (ネットワーク サービス ブート) メッセージが表示されている間に、すばやく[F12]キーを押します。

マルチブートの結果

ブート順序を変更する際には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後にノートブック コンピュータを再起動すると、オプティカルデバイスを除く、同じ種類のドライブの最初のデバイスのみが起動デバイスとして検索されます。

たとえば、オプティカル ドライブおよびフロッピーディスク ドライブが取り付けられている別売のドッキングデバイスがコンピュータに接続されている場合、デフォルトのブート シーケンスではオプティカル ドライブの方が、フロッピーディスク ドライブより先にブートされます。ディスクが挿入されていないかブート可能でないためにオプティカル ドライブからブートされない場合は、フロッピーディスク ドライブではなく、システムに存在する最初のハードドライブ デバイスのブートが試されます。ただし、オプティカル デバイスが2つあり、最初のオプティカル デバイスからブートされない場合は、他のオプティカル デバイスからのブートが試されます。

- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、Cドライブとしてブートするディスクが挿入されたCD-ROM ドライブから起動する場合、このCD-ROMドライブがCドライブになり、ハードドライブ ベイ内のハードドライブがDドライブになります。
- NICから起動しても、論理ドライブの指定には影響しません。NICにドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のドッキング デバイス内のドライブのブート シーケンスは、外付けUSBデバイスのブート シーケンスと同様に扱われ、[Computer Setup]で有効にする必要があります。

マルチブート 設定

マルチブートの順序を設定する方法には、次の2種類があります。

- ノートブック コンピュータを起動するたびに使用されるデフォルトのブート シーケンスを新しく設定する
- MultiBoot Expressを使って可変ブート シーケンスを使用する
この機能により、ノートブック コンピュータの起動または再起動のたびに起動デバイスの確認メッセージが表示されます。

新しいデフォルトのブート シーケンスの設定

起動または再起動するたびに使用されるブート シーケンスを[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）→[Boot options]（ブート オプション）の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [MultiBoot]（マルチブート）フィールドを有効にします。
4. [Boot Order]（ブート順序）フィールドで、ブート シーケンスを変更します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

MultiBoot Express画面の設定

起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - ☐ 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ☐ ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）→[Boot options]（ブート オプション）の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [Express Boot Popup Delay (Sec)]（高速ブート ポップアップ遅延（秒））フィールドで、ノートブック コンピュータが起動場所の選択メニューを表示する時間を秒単位で選択します。この秒数を超えると、マルチブートの現在の設定値がデフォルトとして使用されます（0を選択すると、Express Bootの起動場所の選択メニューは表示されません）。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save changes and exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

MultiBoot Express設定の入力

起動時に[Express Boot]（高速ブート）メニューが表示された場合は、次の操作を行います。

- [Express Boot]メニューから起動場所を指定する場合は、指定時間内に希望の場所を選択し、[enter]キーを押します。
- 現在のマルチブートの設定値をデフォルトとして起動しないようにする場合は、指定時間内に任意のキーを押します。起動場所を選択して[enter]キーを押すまで、ノートブック コンピュータは起動されません。
- 現在のマルチブートの設定値に従ってノートブック コンピュータが起動するようにする場合は、指定時間が過ぎるまで待ちます。

Client Management

Client Management Solutionsでは、ネットワーク環境にあるデスクトップ、ワークステーション、およびノートブック コンピュータの管理の分野で、標準のソリューションを提供しています。

Client Managementの主要な機能と特長は以下のとおりです。

- 出荷時のソフトウェア イメージの展開
- リモートシステム ソフトウェア インストール
- ソフトウェア マネジメントおよびアップデート機能
- ROMの更新
- コンピュータの資産情報の管理機能およびセキュリティ機能（コンピュータの資産とは、取り付けられているハードウェアやインストールされているソフトウェアのことです）
- 一部のシステム ソフトウェアおよびハードウェア コンポーネントの障害通知および復旧機能



この章で説明される機能のサポートは、ノートブック コンピュータ モデルまたはインストールされているマネジメント ソフトウェアのバージョンにより異なることがあります。

出荷時設定の変更

HPのコンピュータには、システム ソフトウェア イメージがプリインストールされています。出荷時のソフトウェア イメージは、コンピュータの初期設定を行うときに設定されます。ソフトウェアの設定手順を簡単に済ませると、すぐにコンピュータを使用できます。

以下の方法で、カスタマイズされたソフトウェア イメージを展開できます。

- プリインストールされたソフトウェアを展開した後、追加するアプリケーションをインストールする
- Altiris Deployment Solutionsなどのソフトウェアの導入用ツールを使用して、プリインストール ソフトウェアの代わりにカスタマイズされたソフトウェア イメージを使用する
- ディスク複製手順を使用して、ハードドライブの内容を別のハードディスクにコピーする

最適なコンピュータ環境の構築方法は、所属する企業の情報技術内容や作業内容によって異なります。所属する企業に最適なコンピュータ環境の構築方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/solutions>（英語サイト）を参照してください。



システム リカバリ ディスク、[Computer Setup]ユーティリティ、およびその他のシステム機能により、システム ソフトウェアのリストア、コンフィギュレーション マネジメント機能、トラブルシューティング、および省電力機能を利用することができます。

ソフトウェアの管理とアップデート

HPでは、クライアントPCのソフトウェアを管理し、アップデートするためのツール（Altiris eXpressのソリューションであるHP Client Manager Software、Altiris Local Recovery、Altiris PC Transplant Pro、およびSystem Software Manager）を提供しています。

HP Client Manager Software

HP Client Manager Software（HP CMS）はAltirisソフトウェア内でHPのインテリジェント マネジメント機能を統合します。HP CMSは、HPのデバイスに以下のような優れたハードウェア管理機能を提供します。

- 資産管理用のハードウェア インベントリの詳細表示
- コンピュータの状態検査の監視および診断
- マシン温度についての警告、メモリ異常の警告など、企業活動における重大な状況についての、Webサイトを利用した報告
- システム ソフトウェア（デバイス ドライバやROM BIOSなど）のリモート アップデート



HP CMSを別売のAltiris Solutionsソフトウェアとともに使用すると、機能を追加できます。詳しくは、「[Altiris Local Recovery](#)」を参照してください。

HP Client Managerについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

クライアント コンピュータにインストールされているHP Client Manager Softwareを、管理用コンピュータにインストールされているAltiris Solutionソフトウェアとともに使用すると、HP CMSから提供される管理機能が向上します。HP Client Managerでは、HPクライアント デバイスのハードウェアの中央管理機能が、以下のITライフサイクル分野に提供されます。

■ 資産管理

- ソフトウェア ライセンスの準拠
- コンピュータの管理および報告
- コンピュータのリース契約情報および固定資産の管理

■ システム ソフトウェアの展開と移行

- Windows 2000/XPへの移行
- システムの展開
- 個人設定の移行

■ ヘルプデスクと問題解決

- ヘルプデスク チケットの管理
- リモートでのトラブルシューティング
- リモートでの問題解決
- クライアントでの問題修復

■ ソフトウェアおよび操作の管理

- クライアント管理の実行
- HPシステム ソフトウェアの展開
- アプリケーションの自己修復（アプリケーションの一部の問題を検出し、修復する機能）

Altiris Solutions ソフトウェアには、使いやすいソフトウェア配布機能も含まれています。一部のデスクトップおよびノートブック コンピュータには、プリロード ソフトウェアの1つとしてAltiris マネジメント エージェントが含まれています。このエージェントにより Altiris Solutions ソフトウェアとの通信が可能になります。Altiris Solutions ソフトウェアを使用すると、簡単なウィザードに従って、新しいハードウェアの展開や新しいオペレーティング システムへの個人設定の移行を完了することができます。

Altiris Solutions ソフトウェアを System Software Manager または HP Client Manager と組み合わせて使用すると、管理者は ROM BIOS とデバイス ドライバのソフトウェアを中央管理コンソールからアップデートすることもできます。

詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

Altiris PC Transplant Pro

Altiris PC Transplant Pro を使用すると、既存の設定、ユーザ設定、およびデータを保存し、新しい環境に迅速かつ簡単に移行することができます。

詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

System Software Manager

System Software Manager (SSM) を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピュータでSSMを実行すると、SSMはハードウェアとソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバから適切なソフトウェアを更新します。SSMでサポートされるドライバのバージョンは、HPのドライバのダウンロード サイトおよびサポート ソフトウェアCDに、独自のアイコンで示されています。ユーティリティのダウンロードまたはSSMについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/ssm> (英語サイト) を参照してください。

索引

A

ACアダプタ、切断 2-16

B

BIOS Configuration for ProtectTools 12-23

Bluetoothデバイス 11-1

Bluetoothモジュール 1-6

C

Caps Lockランプ 1-1

CDおよびDVDソフトウェアのインストール 4-9

[Computer Setup]

 [Advanced]メニュー 13-7

 [File]メニュー 13-4

 ROMの情報の表示 14-2

 [Security]メニュー 13-5

 [Tools]メニュー 13-6

 USBレガシー サポート 9-3, 13-1

 アクセス 13-1

 移動 9-3

 言語の変更 13-2

 セキュリティの設定 12-3

 手順 13-1

 デフォルト設定の復元 13-3

 ノートブック コンピュータの情報 14-2

Credential Manager for ProtectTools 12-23

D

DriveLock 12-10

DVD

 Application and Driver Recovery DVD 14-5

 オペレーティング システムDVD 14-5

DVDの地域設定 4-10

E

Embedded Security for ProtectTools 12-22

ESD（静電気） 5-2

F

[fn]キー 1-5, 3-8, 3-19

H

HP ProtectToolsセキュリティ マネージャ 12-21

HP管理者パスワード 12-6

HPパスワード 12-4

HPパスワードに関するガイドライン 12-5

I

IDEドライブ ランプ 1-1

Info Center Button 1-10, 3-18

N

[num lock]キー 3-20

Num Lockランプ 1-2, 3-20

P

PCMCIAカード 6-1

PCカード
 イネーブラ、カード、およびソケット サービス 6-1

種類	6-1
挿入	6-1, 6-2
停止	6-3
取り出し	6-3
PCカードイジェクト ボタン	1-8, 6-3
PCカードスロット	1-8
Presentation Mode Button	1-4, 3-12

R

RAM (ランダム アクセス メモリ)	8-12
RJ-11 (モデム) コネクタ	1-7
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	1-7

S

SD (Secure Digital) メモリ カード	7-1, 7-3
Sビデオ	
ケーブルの接続	4-5
Sビデオ出力コネクタ	1-7, 4-5

U

USBコネクタ	9-2
USBデバイス	9-1, 9-2
USBハブ	9-2
USBポート	1-8, 1-10
USB、レガシー サポート	9-3, 13-1

W

Windows XPの緊急セキュリティ アップデート	12-20
Windowsアプリケーション キー	1-5
Windowsのパスワードに関するガイドライン	12-5
Windowsファイアウォール	12-2, 12-18
Windowsロゴ キー	1-5

あ

アダプタ、モデム	10-3
アナログ回線とデジタル回線	10-1
アプリケーション	
「ソフトウェア」を参照	
アンテナ	1-12
キー	
ショートカット	3-8

イーネブラ、PCカード	6-1
インターネット接続ファイアウォール	12-18
エッジ モーション	3-4
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	1-8, 4-2
オーディオ入力 (マイク) コネクタ	1-8, 4-2

オーバーヘッド プロジェクタ	
接続	5-9
ディスプレイの切り替え	3-5
オペレーティング システム	12-18
セキュリティ	12-1
パスワード	12-4

温度	
仕様	A-1
保管、バッテリー パック	2-30

音量	
消音	4-1
調節	1-4, 4-1, 4-3
音量の調整	4-3

か

カード サービスとソケット サービス、PCカード	6-1
拡張メモリ モジュール、追加	8-2
各国仕様のモデム ケーブル アダプタ	10-3

環境の仕様	A-1
完全なローバッテリー状態	
識別	2-23
ハイバネーションからの復帰	2-24
外部電源	2-16
キー	

[fn]	1-5, 3-8, 3-19, 3-20
[num lk]	3-19, 3-20
Windowsアプリケーション	1-5
Windowsロゴ	1-5
内蔵キーボード	3-20
ファンクション	1-5, 3-8
ホットキー	3-8
キーボード	
USB	9-2
外付け	3-8

-
- キャップ、ポインティング スティックの交換 3-3
 切り替え、ディスプレイ、設定 3-15
 空港のセキュリティ装置 5-2
 空港のセキュリティによるドライブメディアへの影響 5-2
 ケーブル
 ネットワーク 10-9
 モデム 10-1
 ケーブル ロック、セキュリティ 12-24
 交換
 メイン ハードドライブ 5-4
 メイン メモリ モジュール 8-6
 コネクタ
 RJ-11 (モデム) 1-7, 10-1
 RJ-45 (ネットワーク) 10-9
 Sビデオ出力 1-7, 4-4
 オーディオ出力 (ヘッドフォン) 4-3
 オーディオ出力 (ヘッドフォン)、位置 1-8
 オーディオ入力 (マイク) 1-8
 電源 1-7
 トラベル バッテリ 1-11
 ドッキング 1-11
 ドライブ 5-2
 マイク入力 4-3
さ
 作業環境の仕様 A-1
 システムROM (Read Only Memory)
 現在のバージョンの確認 14-2
 定義 14-1
 システム情報、表示 3-5, 12-17
 システムの復元ポイント 14-7
 湿度の仕様 A-1
 周辺機器、接続と取り外し 5-9
 周辺光センサ 3-15
 ショートカット キー、外付けキーボード 3-8
 仕様
 作業環境 A-1
 定格入力電源 A-2
 磁石 1-13
 自動再生 4-10
 自動実行 4-10
 スタンバイ
 完全なローバッテリー状態での起動 2-23
 起動 2-10
 終了 1-10, 2-2
 赤外線転送中の防止 11-17
 復帰 2-10
 ホットキーによる起動 3-5
 スタンバイからの復帰 2-10
 スタンバイの起動 2-10
 スピーカ 1-10, 4-1, 4-2
 スロット
 PCカード 1-8
 デジタル メディア 1-8
 メモリ モジュール 8-9
 静電気 (ESD) 5-2, 8-1
 赤外線 11-16, 11-17
 赤外線ポート 1-6
 セキュリティ ロック ケーブル、接続 12-24
 セキュリティ ロック ケーブル用スロット 1-9
 セットアップ ユーティリティ
 セキュリティの設定 12-3
 ソケット サービス、PCカード 6-1
 外付けテンキー 3-21
 外付けデバイス 5-9
 外付けモニタ
 接続 4-6
 表示画面の切り替え 3-6
 外付けモニタ ポート 1-7
 ソフトウェア
 更新 14-1
 システムROMの現在のバージョンの確認 14-2
 ファイアウォール 12-18
 ソフトウェアの更新 14-1
 ソフトウェア、ファイアウォール 12-2
-

た

タッチパッド	
タップ	3-4
タッチパッドのスクロール ゾーン	1-3
タッチパッド ボタン	1-3
タップ、タッチパッド	3-4
ダウンロード	
システムROM	14-3
ソフトウェア	14-4
地域設定、DVD	4-10
調整、バッテリー ゲージ	2-25
著作権に関する警告	4-8
通気孔	1-9, 1-11
定格入力電源の仕様	A-2
テレビ	
Sビデオ出力コネクタ	4-5
オーディオの接続	4-5
画面の切り替え	3-5
ビデオの接続	4-5
テンキー	3-20
外付け	3-21
内蔵	3-19
有効化/無効化	3-20
ディスク、オプティカル	
「CD」、「DVD」を参照	
ディスプレイ	
画面の切り替え	3-5
設定	3-15
表示画面の切り替え	3-6
ディスプレイ リリース ボタン	1-6
データの保護	14-5
デジタル回線とアナログ回線	10-1
デジタル メディア スロット	1-8
デジタル メモリ カード	7-1
挿入	7-2
取り出し	7-3
デバイス ドライバ	
PCカード	6-1
外付けデバイス	5-9
デバイスの無効化	12-16
電源	
「バッテリー電源」も参照	

外部電源とバッテリー電源の切り替

え	2-16
電源コネクタ	1-7
電源スイッチ	1-10
電源/スタンバイ ランプ	1-2
電源設定	3-14
トラベル バッテリー コネクタ	1-11
ドッキング コネクタ	1-11
ドライブ	
空港のセキュリティによる影響	5-2
送付	5-2
取り扱い上の注意	5-1

な

内蔵テンキー	1-5, 3-20
ネットワーク	
接続	10-10
ノイズ抑制コア	10-9
ネットワーク (RJ-45) コネクタ	1-7
ネットワーク ケーブル	10-9
ネットワーク コネクタ	1-7
ノートブック コンピュータ情報への	
アクセス	14-2
ノートブック コンピュータのオンま	
たはオフ	2-8
ノートブック コンピュータのシャッ	
トダウン	2-8
ノートブック コンピュータの情報	
環境の仕様	A-2
外部電源	2-24
バッテリー パックの温度	2-30
ノートブック コンピュータのセキュ	
リティ機能	
[Computer Setup]	12-3
クイック リファレンス	12-1
ノートブック コンピュータの持ち運	
び	
ハードウェア コネクタの保護	7-2

は

ハードドライブ	
DriveLock	12-10
交換、メイン	5-4

取り扱い上の注意	5-1	パスワード	
取り外し、メイン	5-4	DriveLock	12-11
取り付け、メイン	5-6	HP	12-4
ハードドライブ動作ランプ	5-3	HP管理者	12-6
ハードドライブ ベイ	1-11	HPパスワードに関するガイドライ	
ハイバネーション		ン	12-5
完全なローバッテリー状態での起動		Windows	12-4
	2-23	Windowsのパスワードに関するガ	
起動	2-9	イドライン	12-5
終了	1-10, 2-2, 2-24	使用	12-3
ファイルに必要な空き領域	8-12	電源投入時	12-8
復帰	2-9	忘れた場合	12-3
ハイバネーションからの復帰	2-9	パスワード、組み合わせ	12-5
ハイバネーションの起動	2-9	左のタッチパッド ボタン	1-3
ハイバネーション ファイル	8-12	左のポインティング スティック ボタ	
ハブ、USB	9-2	ン	1-3
バッテリー		標高の仕様	A-1
節電	2-28	表示画面の切り替え	3-5
バッテリー情報の表示		ビデオ機器	
ホットキー	3-5	Sビデオ出力コネクタ	4-5
バッテリー電源		画面の切り替え	3-5
「バッテリー パック」も参照		ビデオデッキ	
ノートブック コンピュータの実行		オーディオの接続	4-5
	2-16	画面の切り替え	3-5
ローバッテリー状態	2-23	ビデオの接続	4-4
バッテリーの充電情報の表示		ファイアウォール ソフトウェア	12-18
正確な表示	2-21	ファンクション キー	1-5
読み方	2-22	プロジェクタ	
バッテリー パック		接続	4-6, 5-9
「バッテリー電源」も参照		表示画面の切り替え	3-6
処理	2-31	ヘッドフォン	4-3
充電の監視	2-21	ヘッドフォン コネクタ	1-8, 4-2
トラベル バッテリー コネクタ	1-11	ホットキー	
バッテリー ゲージの調整	2-25	コマンドへのショートカット リ	
保管	2-16, 2-30	ファレンス	3-5
メイン	2-18	外付けキーボードのキー	3-8
メイン バッテリー ベイ	1-11	表示画面の切り替え	3-6
リサイクル	2-31	ボタン	
バッテリー パック リリース ラッチ	1-11	Info Center	1-10, 3-18
バッテリー ベイ、メイン		PCカード イジェクト	1-8, 6-3
バッテリー パックの取り付け	2-18	Presentation Mode	1-4, 3-12
バッテリー パックの取り外し	2-18	音量	1-4, 4-3
バッテリー ランプ	1-2	左のタッチパッド	1-3

- 左のポインティング スティック 1-3
 - 右のタッチパッド 1-3
 - 右のポインティング スティック 1-3
 - 無線 1-10
- ポインティング スティック
 - 位置 1-3
 - 使用 3-3
- ポインティング スティックのキャップ、交換 3-3
- ポインティング スティック ボタン 1-3
- ポインティング デバイスの設定 3-4
- ポート、赤外線 11-16
- ポート リプリケータ (別売)
 - USBレガシー サポートの有効化 13-7
- 識別情報 13-4
- ま**
- マイク コネクタ 1-8, 4-2
- マイク、内蔵 4-2
- マルチベイII、外付け 5-10
- マルチメディア カード 1-8, 7-1
- 右のタッチパッド ボタン 1-3
- 右のポインティング スティック ボタン 1-3
- ミュート ボタン 1-4
- ミュート ランプ 1-1
- 無効化
 - [num lock] 3-21
 - 内蔵テンキー 3-20
- 無線
 - 無線LANアダプタの種類 11-8
 - 無線LANソフトウェア 11-9
- 無線LAN (無線ローカル エリア ネットワーク)
 - 種類 11-8
 - ソフトウェア 11-9
 - デバイスの確認 11-7
 - トラブルシューティング 11-9
- 無線デバイス アンテナ 1-12
- 無線ボタン 1-10, 11-12
- 無線ランブ 1-2
- メイン ハードドライブの取り付け 5-6
- メイン メモリ モジュール、アップグレード 8-2
- メディア ドライブ、空港のセキュリティによる影響 5-2
- メモリ
 - RAMの増設 8-12
 - アップグレード 8-2
 - 拡張メモリ モジュールの追加 8-2
 - メイン メモリ モジュール、交換 8-6
- メモリの増設 8-12
- モデム
 - 各国仕様のアダプタ 10-3
 - 接続 10-2
- モデム (RJ-11) コネクタ、モデム ケーブル 10-1
- モデム ケーブル 10-1
- モデム コネクタ 1-7, 10-1
- モニタ
 - 画面の切り替え 3-15
 - 接続 5-9
 - 外付け 4-6
 - 表示画面の切り替え 3-6
- や**
- 有効化
 - [num lock] 3-21
 - 内蔵テンキー 3-20
- ら**
- ランブ
 - Caps Lock 1-1
 - IDE ドライブ 1-1, 5-3
 - Num Lock 1-2, 3-19
 - 電源/スタンバイ 1-2
 - バッテリー 1-2
 - ミュート 1-1
 - 無線 1-2
- ローバッテリー状態
 - 解決 2-24
 - 識別 2-23
- ロック、セキュリティ ケーブル 12-24